伊達家文書目録

（一枚物の部）

1980. 2. 28 整理済

伊達文書目録

No. 1

No	年月日	事項	宛先	差出人
1	慶長9年(1604)正月8日	家康 信 印 台徳院定		
	元和3年(2月17日	(1617) 将軍印		
	寛文4年4月5日	(1664) 将軍印		
		以上壱ツ通 一包紙入		
2	寛政8年辰1,9月	金20両也 借用証書 大奉書1 (1796)	伊達屋林右エ門殿 上田忠四郎 宿 阿部屋茂左エ門殿 両名宛 須田喜助次郎	
3	寛政8年	屋敷証文 包紙共	上田忠四郎殿	
4	(1797)	印と表書した包紙 以下3通入って居る		
	巳12月22日	金89両1/200文 米200俵代受取覚 可返手形也、ウラ書アリ	X 将 印	印
5	寛政10年午5月10日	金100両 預り覚 (17×31cm)	伊達林右エ門殿	外屋吉右エ門 請人 柏屋善左衛
	午6月10日	金125両也 手次御永金壱ヶ所分借用覚	X 将 印	印
6	寛政11年未8月3日	家蔵屋舗売渡申証文之事	伊達林右エ門殿	本人 外屋吉右エ門
		但津内所 建家. 土蔵. 板蔵. 門長屋. 山蔵.	佐渡屋大郎右エ門殿	請人 ニヒ 共左エ
		代300両 奥書 弐ツ折 墨引エ門	同	親類 外屋傳右エ門
		天保7申改続き (31×21.6cm)	阿部屋茂左エ殿	代 吉左エ
7	寛政12年申12月26日	金30両 引当借用証文之事 (28.5×43.2(cm))	桶口甚左衛門殿	上田三郎治
		脇書ニ脚地係老捌 引当目録書入		
		左ニ引当品預り覚書 (128×41.7(cm))	上田三郎治殿	桶口甚左衛門
		包紙入り 表書(十数文壱通 伊喜)		
8	享和元年酉12月 9日	金10両也 借用証書 (24.6×29.5)	張口甚右エ門殿	
		包紙入	金 清左エ殿	大黒屋角右エ門
		以下三通一束(No.4. No19. No 22)		
9	享和元酉年12月24日	金14両也 預り申金子之事 利3ヶ月1ヶ月1歩也 (29.5×32.3) 包紙入(可相返証文)表書アリ.	伊達林右エ門殿 ・元左エ殿	上田三郎治
10	享和2壬戌年10月17日	当寅年(文化3年(1806))より向将丁年内名前・ まじけ地場清算方継続願書 (28×52.7)	町 御役所	伊達屋林右エ門 宿 阿部屋茂左エ
11	享和2年戌12月27日	金50両也 西鎌町地面引当借用証文之事 包紙入(可相返証文 伊喜) (33×36.7)	伊達元左エ殿	上田三郎治
12	享和3亥年 4月	乍恐以書附、決まじけ 桶屋彦左衛門請負手業 切後の後請負私共に仰付被下度訳書 (24×39.3)	町御役所	宿 阿部屋茂左エ 伊達屋林右エ門
13	亥7月12日	金85両 借用証書 (15.5×22.6)	伊達元左エ殿	高橋作造

		800両屋久納仕候他証拠人勿相違の條件両記、文化10年迄の請戻請書	所御奉行所	宿 阿部屋茂左衛門 伊達屋林右衛門
14	亥7月10日	金8両 借用証書（15.5×22.6） 内20両 当前遣用に付云々	伊達元左衛殿	高杉 保造
15	文化元子年 9月	金2両也 借用證文之事（25.7×31cm）	伊達林右衛門殿	借用人 本間文慶 証人 蘭地泰安
16	文化2年丑正月14日	小判5両 借用證文之事（21.7×41.2） 湯殿沢町大屋惣二郎返済書入）	伊達林右衛門殿	借主 高森久右衛門 請人 高橋友右衛門 〃 木下政七
17	丑7月11日	為替銭（丁銭50両也）約定書覚（16.4×26）包紙入	越中 稲見屋保右衛門	松前 伊達元兵衛
18	文化4年丁卯7月12日	金200両 秋味預ケ証 宮嶋市右衛門殿ヘ被遣候覚（21.7×35.6）包紙入	伊達林右衛門殿	（江差） 岸田三九衛門 〃 四平
19	文化5年辰4月	金5両也 借用証書（29×38） 包紙入	伊達屋元左衛殿	中村与五右衛門 〃 甚吾
20	文化5年辰7月10日	金10両也 但文金 借用証手形 28.7×39.2 包紙入	伊達林右衛門殿 柏原屋半助殿 阿部屋喜右衛門殿	畑 駒右衛門
21	文化5辰年 9月	金10両也 但小判借用証書（32.4×36）	伊達林右衛門殿	遠藤□右衛門
22	文化6巳年12月26日 （1809）	正金15両也 借用証文之事 包紙一ト枚	伊達林右衛門殿 〃 元左衛殿	高森久右衛門
23	文化6巳年 12月	金100両也 借文證文（美奉33.5×32.3） 同包紙 宮本源次郎様ヨリ上書ノ（30.1×32）	伊達林右衛門殿	宮本源次郎 （小判） 権当治之助
24	文化7午年7月5日	金25両也 唐津内家屋敷引宛借用 証文 包紙入（33×46.3）	伊達元左衛殿	本人 阿部屋半四郎 請人 西館町名代 友右衛門
25	文化9壬申年12月24日	金13両 借用申覚（32.2×19.6） 包紙共	伊達屋元次衛殿	本人 泊り村 江岡屋藤五郎代 茂右衛門 請人 辻江屋三郎治
26	文化10酉年 6月	金15両也 借用證文之事（27.5×38.7） 小札2枚付	伊達精左衛様	法 源 寺

法源寺関連一束の内 以降（法）1.（朱字）

27 文化10酉歳 12月 金2両借用申證文之事 佐野屋清次郎殿 差上野清左衛
包紙 共 (28.2×43.2) 清人 田中源八

28 文化11年戌6月16日 金20両借用申金子の事 (26.5×38.5) 伊達元左衛殿 能登屋園吉
包紙 上書 仁之政右仁門殿トアリ?

29 文化11戌年 6月 金800両 借用申金子之事 (ケヒリ迄之書) 越前屋治左衛殿 越前屋喜三郎
右ハ常盤丸(千石目)妙栄丸(九百石目)の荷物 伊達屋善三郎
登らせ候而 本両替町松山指治殿と相談の上
売掛之内引残金は松山方へ御渡し被下候様 (33.2×48.2)

30 文化11戌年7月晦日 金20両也 文字小判 借用証文 (31.1×43.3) 伊達善之助 椋鳥屋保吉

31 文化12年6月29日 金200両也 綱代内拵ニ受取候覚 伊達善三郎殿 仙台水沢
包紙共 (31.3×42.8) 〃 定八殿 殿田屋七平
越前屋喜三郎殿 山形屋平助

32 文化12亥年12月 金10両也 借用證文之事 坪田作平次殿 仙台塩町 松木屋又七郎
包紙共 (33×43) 伊達善三郎殿 請人 中嶋屋元右衛門
証人 河内屋市右衛門

33 子正月25日 金15両也 借用覚 伊達地便中 柴田与右衛門
文化13丑ノ一(文化13年頃の文書束)

34 文化13子年3月 金50両也 借用證書 包紙共 (33.3×48) 伊達林右衛門殿 蛎崎左兵衛
文化13丑ノ㊀ 松前大黒屋茂右衛門 向屋林蔵代500両 本町屋善助殿
遣未候節者引可申候事 (大奉書)

35 子年8月5日 現金1両2歩銭田長吉への用立金3両2歩(道)
〃 ㊁ 入合せ之覚書する書面 一括 紙片3包紙入
手紙代(113.4cm)と当 一束 伊達左兵衛殿 柴田与右衛門

36 子9月2日 金20両也 證一札之事 包紙入 (22×46.5) 伊達屋治兵衛殿 蛎崎左兵衛

37 文化13年東の一㊃ 7枚
9月11日 金15両也 利足金請取覚 (淡赤色) 地便中 古館清蔵
子12月23日 〃 惣ニ請取覚 伊達地便中 〃
丑7月10日 〃 〃 (淡赤色) 乂地便中 〃
寅9月11日 〃 利金請取覚 伊達地便中 〃
12月25日 〃 惣ニ請取覚 〃
辰7月10日 〃 〃 地便中 〃
巳12月23日 〃 〃 〃 〃

38 文政元年寅9月 金百両也 添え賀入持参金請取証 松山指治殿 伊七屋善次郎
〃 包紙共 地便中 高木徳蔵殿 親類 要左衛

39	文政3年 8月	積荷物並=書引帳 半紙横長=つ折 6丁綴	X侍印	妙宗丸 直八
40	卯 8月 (文政2乙卯、1819) 清太①	妙宗丸 勘定留 横長6丁綴 剪紙ノ帳掛入 松前行老番運賃 蝦夷地渡海行掉量保用共	伊達林右エ門殿	介 井上 日向屋喜右エ門.
41	十七 清太②	妙宗丸. 松久丸. 宜徳丸. 徳宝丸. 伊七丸. 吉祥丸. 住吉丸 雪時代 金銭預り借用等 覚帳	(横長10丁綴)	
42	文政3卯年 8月	兵庫より松前迄並=再度蝦夷地行 諸雑用 覚帳 7丁横長綴り	X市治郎	妙宗丸 直八
43		=印柏.白子.身欠鰊.出荷覚	三之丈殿	ハママレケ X 右
44	辰6月 (文政3庚辰年)	アレケ海詰合松前住居積入用品並 作料調書 横長3丁綴		
45		巳年漕中取荷物車引別 調書 横長1丁綴		アレケ
46		通帳 下書覚共 横長 5丁綴		
47		御陣屋より薬頂戴 控 (横長3丁綴)		マレケ.トママイ. 伊達
48	文政4巳年 2月	金10両也 借用申金子之事 小封筒入(22.7×8.7)	伊達林右エ門殿	内孫 大吉 〃 関蔵
49	文政4辛巳年 7月	金3両也 借用始末之事 包紙入(24.2×3.4)	伊達林右エ門様 広瀬団右エ門	
50	閏正月 4日 (文政5壬午年)	殿様御入部御迎に御在の人々入帯品有之 周蔵多四郎に依頼致置候も同人に遣し差若 不足なれば立替貸付被下度 依頼状 包紙入(20cm)	伊達林右エ門様	吉九エ門 改 近藤魚毛
51	文政5午年閏正月 11日 文化13年-(5)	金20両也 借用申金子證文之事 包紙共二枚 (31×39.5)	伊達屋左エ門殿 高橋元成 松村傳之部	
52	文政5午年 7月	金10両也 文金借用証文 (22.6×29.5)	伊達林右エ門様 上田善蔵	

No. 5

53	午11月	法主指替御取締向被仰出候ニ付申立兼候意味我有之手書ヲ以申上奉候 （存じ寄リ5ヶ条ニ付）（14.4cm）		
54	五午12月朔日	酒樽洗し及預り樽数覚（38cm）	伊達屋注左衛殿	青森 奥村新助
55	未10月	酒5ヵ樽代欵収覚（33cm） 新助殿ヶ相済すの記入あり NO54と同じに置まれ二ツ在。		
56	文政6未午 4月	金9分5厘3毛2弗ノ覚 包紙入り（15.5×27cm）	伊達清左衛殿	松前 司 新谷
57	未11月25日	昨午申請の為恩借の白金何分の見込違ニ難応気の毒ニ存申午より返済に延期の願 （27.3cm）	伊達林右衛門様	櫛崎将監.
58	文政6未午12月	金10両也 借用書 包紙入（33.3×29cm）	伊達治左衛殿	証人 阿部啓吉郎 本人 桜井玄仙
59	申5月20日 文化13午来の⑥	金3両也 借用証文（包紙入15.5×27cm）伊達屋善五郎殿 小片ツキ 3両本人請取 宮村宗蔵		請人 阿部屋茂左衛 借人 宮村宗蔵
60	文政7申午6月朔日	金3両也 借用一札之事（包紙入16×40cm）伊達左左衛様		浅野敬右衛門
61	文政7酉午7月 （酉18年7午なれバ申）	金10両也 9月御紅行取戻の上返済ニ返済ニ可及証心覚	伊達林右衛門殿	酒井伊佐エ門 単雫付（16.5×27.2cm）
62	文政7申午閏8月	9月13日改 根森村・大沢村・発機沢村 閏8月 魚鳥 集荷 牧数調 （横皮ニ牧俵ヶ）		
63	文政7申11月4日 の	金5両也 皮代前金拝借証文	伊達林右衛門様	大坂屋吉左衛
64	文政7申11月4日 ②	文政8酉3月29日付 皮代精算覚 （30.1cm）		七戸町 伊達林右衛門様 大塚屋市兵衛
65	文政7申11月11日 （1804）	金3両也 革類買入前金受取覚 （30.3cm）	伊達林右衛門様	近谷新平
66	文政8年酉12月吉日	上町・下町 申年借家地賃引帳 文政8酉年12月迄 横ニつ折 6丁綴り	②・X物印様	大阪屋源太夫
67	文政8年酉極月	酉7月借家地賃取集 扣 実濃ニつ折 横皮11丁綴り	佐兵衛様	大阪屋源右夫

68 去9月4日 金12両也 西蝦夷地米与相場借受仕候覚 伊達林右エ門殿 法源寺
文化13年来、⑥

69 文政10年亥極月 金30両也 借用証書 包紙共(28×40.8) 山本久蔵殿 新井田周治
文化13年来、⑦

70 子正月 金3両2分也 借用証文×3.4(m) 伊達屋庄兵衛殿 北見伝次

71 文政11年子3月 金15両 借用證文一札之事 伊達左エ殿 新井田 周治
文化13年来、⑧ (16.4×29.3) 包紙入

72 文政11年子5月 金2両也 借用申金子ノ事(包紙入×3.3) 伊達林右衛門様 鈴木能三郎

73 文政3年8月 金2両也 借用證文 包紙共×3.6) 伊達左兵衛殿 鈴木能三郎

74 文政13年 10月 金100両也 相続金依願ニて預り証文 盛岡川内
壱ヶ月40両に壱分の利足也 吉田屋松右エ門殿 伊達治
已9月27日惣ニ致収済のうら書あり (22.3×44.2)

75 文政12丑年12月8日 金20両3分ト銭306文 包紙共(16×27) 伊達在左衛殿 堀越
許十郎殿差御登申候間御請納候覚 御使 許十郎殿 笹木孫左衛

76 寅10月11日 (文政元午又ハ天保元午) 振宿
沖の口役所 出切手 甚右郎

77 天保元午寅2月-9月 1包紙入3枚 (預ケ金額明記) ① 関啓司借用記(1)
-① 2月 10両 借用覚
5月4日 10両也 借用證文 伊達久蔵殿 関 啓司
9月8日 10両也 預ケ金より請取覚

78 天保二卯年分 手形及借用証文 数枚 関啓司借用記(2)
-② ㋐ 正月 25日 金10両也 借用覚 伊達左兵衛殿 関啓司
㋑ 天保2卯年4月24日 金10両也 松前への為替手形
請取方 伊達林右衛門殿 差之渡方 関八十吉殿 関啓司
㋒ 7月6日 金10両也 借用証文 伊達久蔵殿 関啓司
㋓ 包紙共 ハ ㋐もこの中に包まれて有り

79 天保3辰(1832) 場所請負人又ハ商人への達書 (16.2×99.5cm)
7月 飢饉年を救ふ為に商売の方を以て多方に不限5ヶ年間来春を
河原町土蔵へ可納事違犯の者は当国の商売不相成早速渡
海可申付候事。

80 天保3辰年10月 金10両也 借用書(幅31.8×38.5cm) 伊達林右エ門殿 函館より
小林回、① 包紙(上書有)及小より共 小林三托紅内

80	閏11月7日	金子10両也 借用証文 (16.5×31.5cm)	伊達左兵衛殿	杉村傳五郎
81	天保4癸巳年 3月	金25両也 3月松前表より帰国次第返済証文 (大奉書 33×44.8cm)	伊達林右衛門殿	鈴木紀三郎
82	天保4巳年 4月	金出入帳 紙信 紙半截二つ折綴り		
83	癸巳4年 19日	金15両也 永別状 (16.7×52.5) 伊達屋庄五衛去荷物買入控		長崎 荷物買入処
84	天保4癸巳年 午10月	金札鑓のはなし 手紙1通	伊達林右衛門	智信 述
85	天保5年7月20日(甲午) 天保4年正月10日 差引勘定覚 (×28.2) 天保4年正月10日 文化13年1⑨	栖原より私宛持参差引 (×30.8cm)		治
86	3月8日 文化13年卯1⑩	金5借用方歎願書面 (16.3×80.3)	伊達左兵衛様	北村団七
87	文化13年卯1⑪	古証印形譲 切取つゝ包紙入り.		
88	天保5年午11月	金貳分貳朱 通用金借用覚 包紙入り (24×32.5)	伊達左兵衛殿	牧村幸治
89	午12月	金3両也 借用証書 包紙付 (31×39.4)	伊達左兵衛殿	益次郎吉
90	天保6未年閏7月	金20両2分壱ノ225文也(元金5両) 右相続才行居兼候ヶ金の内より返弁申候事 (包紙入 34×42.3)	伊達御方	親類惣代 吉郎左衛 重吉 三国屋治兵衛門次 幸助
91		松前藩及び中への貸金小単票 (3枚) 金500両 御借上		林右衛門
	天保7年申 正月	金 50両	相手主不明	
	安政6未年 3月	金 50両	松前右京殿	
92	天保7申年 3月	金25両也 年賦返金約定添證文 (32×44cm)	調地屋清蔵殿 仁波屋季吉殿	證人 小川鉄次郎 〃 小川近右郎 本人 小川西是治郎
93	天保7申年 5月	金170両也 借用証書 (2冊1冊割) (2枚つゞき 32.5×66.3cm)	木村屋甚左衛殿	関康屋善四郎 中村屋新三郎 代 孝左衛 借主 中村屋伴六事 代 新左衛

94	天保7丙申年 9月	金5両也 借用證文 包紙入（48.4×40.2cm）	伊達林右仁門殿 竹内儀蔵 竹内儀左仁 証人 樫野新吾
95	天保8丁酉年 正月	金百両也 年利7両2歩ニて契り證文（万延元年1860迄） 裏面237年間利子八通 書付 包紙付（33×44.2cm）	越中屋八右仁門 殿 伊達佑 〃 おさと 殿
96	酉 2月	北蝦夷地残り居代小川九兵仁より受取方柚原と相談せるも紀助候 よりの書面を口実に仁柚原故障申立、新井田権取扱にて、村山重 左仁門・藤野志兵仁・岡田半兵仁・西川準左衛等4人に扱方 被仰出候口上書覚（半紙4丁綴り）	伊達林右仁門
97	天保8酉年 11月	金銭出入覚 半紙4折横80丁綴	猪 信
98	天保9戌年8月26日	金3両也 借用申一札之事 包紙入（16.6×32.2cm）	伊達林右仁門殿 和田九郎八
99	天保9戌年 8月	金100両ヲ以より仰ヲ5ヶ年間ヨリ20両づつ返済 ム利子借用証文 包紙入 33×37）	伊達屋元左仁殿 町 民部 〃 左左仁殿
100	天保10年 12月	金7両也 借用證文 包紙共	伊達元左仁殿 長崎屋宇吉
101	亥2月4日	金350両也（灰色書簡紙31cm） 木村西川準左衛殿より借用金返済せず証人として甚だ迷惑 至急返却方飛脚直ヒを便ニ申入候覚	北村半助様 伊達林右仁門
102	天保10亥年 9月 亥 6月	の上書「半助分請取一札」内 3枚入 ㋑ 直七殿渡金覚（16.5×34.2）ノ札ツキ ㋺ 去ル5月証文一戊年ヨリ4月迄之金516両1分及当亥年1月迄 利64両3分1朱ノ惣元利金581両1朱覚（16.2×23.4） ㋩ 北村半助と七多角介及菜地右仁門・柚原角左仁関連覚（16.5×11.5）	伊達林右仁門殿 北村半助
103	天保10亥年 9月	天保4巳3月陳蝦夷地エトロフ亜ヤムクシナイ請負ニ付木村嘉左衛より 金1千両借用ノ処返済相滞ニ付上訴和解の上伊達家より証人 調印ノ節書入候一札之事（包紙入33.6×64.7） 伊達林右仁門殿 中村屋三右仁門・関康屋喜四郎	
104	天保10亥年10月8日	金5両也 伊達林右仁門方ニ考詰取組 返済可申証文 包紙入（31.8×32）	木村新七殿 半田久蔵殿 吉田邑右郎

No. 9

105 天保10亥12月28日 金45両也 年賦證文之事 伊達元五位殿 本人 長崎屋 宇吉
(31×36.7) 代人 安東屋豊次郎

106 天保11子年2月6日 金2両也 借用申金子之事 伊達左五位殿 吉田 色木郎
包紙入(20×27.7cm)

107 天保11子年5月朔日 金3両也 借用證文之事 伊達元五位殿 本人 倉内喜太右衛門
包紙入(31.2×34.7cm) 証人 和泉屋久藏

108 子5月 金10両也 借用証文 伊達元五位殿 法 隆 寺
法隆寺文庫－② 必阿弥(法) 包紙共(18×39.5cm)

109 天保11子年8月 5日 金744両也 但し30両=壱分証文 木村屋甚五位殿 関隊屋喜四郎
天保6年乙未借用分(高33×46cm) 中村屋三右衛門
証人 伊達林右衛門

110 天保11年子12月 年中甚力定調子帳 仁丁和紙 [illegible] 右

111 天保12寅年2月 年賀未上件に屋支因1/3敵15当入笑5ケ年賦にて 伊達林右衛門平宗 いいなお思入人 金五衛
金7両拝借仕候 村名主多二郎 爲印 (32.8×62cm) 組頭惣代 民次郎
村5人組惣代 庸次郎

112 天保14卯年9月27日 小松前土蔵(67番蔵か)焼落ち 形付證 伊・且那衆 松前右五位

113 天保14卯年 7月 金60両也借用申金子の事 (33×48) 伊達元五位殿 法隆寺
(法)－③ 仝奉納下私生の方立替10月迄猶納證書 請人 相馬屋傳吉
包紙入(上書アリ) 〃 笹川屋栄吉
〃 笹川半右衛門

114 天保15辰年3月8日 銅笠鯛5枚 松尾丸太郎助船にて送遣 伊達元五位殿 (女)宮 近江屋利右衛門
(14.4×26.8cm)
3月20日 当国脇川甚右衛門船にて漆障子他贈状 伊達元五位殿 近江屋利右衛門
(28.7×50.4cm)

115 天保15甲辰6月5日 海苔仕切(袋424俵)(29×25.5) 富樫虎蔵殿 近江屋利右衛門
弘化元年(1844)

116 辰6月7日(別)新苔買仕切 (×30.5) 猶次郎様 和田屋久四郎

117 辰7月1日 金100両也 北波場渡り手形にて粮代領収覚 八幡丸 虎蔵
(15.7×19.2) 又右衛 代 右

118 天保15辰年10月 金30両也 借用証書 伊達林右衛門殿 新井田嘉兵衛
包紙共(44cm)

119	弘化2年乙巳3月4日	(潜津内町建家之件) 治借証文之事 包紙共(28×40.2cm)	伊達林右仁門殿 請人	大森屋喜右仁門 松葉屋鉄蔵
120	弘化2乙巳年(1845)	巳年金銭通(包紙共) ・頂立図書館伊達文書 No69を中心に参考とする。	〆治右	北帳場
121	弘化3午年(1846)	午年金銭通	〆治右	北帳場
122	弘化4丁未年正月	金3両也 借用証 包紙入(24×34cm)	伊達林右仁門殿	里見甚吉
123	未後2月3日 (法) — (七)	金3両也 拝借覚 (15.7×32.5cm)	達内定八郎	法輪寺
124	弘化4丁未年9月	金15両也 借用証文 貸付小軍票 共包紙入(16.5×24.5cm)	伊達精十郎殿	吉田竜右仁門 証人 菊地元吉
125	弘化4丁未年 9月 (1847)	金5両也 假表地勤番仕度登 之節返済可申借用書 包紙入(16.8×24.5cm)	伊達林右仁門殿	佐々木和之助 請人 米田源左衛門
126	弘化4丁未年12月2日	金60両也 借用証文 貸付小軍票共 包紙入(31.3×45cm)	伊達格之助様	吉田竜右仁門
127	嘉永元申年4月12日	金29両1分2朱ト544文他金500疋手前貸 首白髪性質、他形補、洗濯り、永代基地料当 包紙入 美大(27.7×39.7)他小札1共 頂立図書館蔵伊達文書408に対応する。	伊達格助治 持支配源平作	田伺慶 下座敷(掌)
128	嘉永元申年 5月 (法) — (五)	金20両也 位牌堂建替残下足借用 奉願半紙包紙入(32.8×47.7cm)小票付	伊達松之助様 世話人	法源寺 横田屋儀八 若井屋藤之仁、伊七屋手七 山口屋宗七、笹川屋久五仁
129	嘉永元申年7月吉日 法 — (六)	金2両2分也 羅漢尊者画像御寄附料 包紙入 (24×32cm)	伊達林右仁門様	法源寺
130	法 — (八)	佛像修復立替金別紙の通り上申候 別紙ヲ以明 (28.2cm)	伊達御右御帳場中	法源寺
131	嘉永元戌申年 6月	金30両也 借用証文 小軍票共 包紙共(16×42cm)	伊達林右仁門様	新井田手治 新井田
132	嘉永元申年	申年金銭通	〆御方	北帳場

133	嘉永2酉年7月	金30両也　借用証文 包紙入（32.5×31.4cm）	伊達林右衛門殿	菅原直治 請人 佐渡屋季吉
134	嘉永2酉年8月	金50両也 通用金 成年迄10ヶ年賦証書 （32.6×47.7cm）他屋貸付小冊帳1冊	伊達林右衛門殿	飯崎三弥
135	酉9月3日	金20両 3ヶ年賦金、内当年分受取置 （15.4×20.5cm）	佐渡屋六左衛門殿 松屋兵左衛門殿	田名部 山本理左衛門
136	嘉永2酉年10月2日 小林包の㋑	金100両也 借用証文（幸36×44.3cm） 包紙及貸付小冊帳1冊	伊達林右衛門殿	小林三左衛門
137	酉年	介工屋庄左衛他八名上納附金覚（1.5cm）嘉永3年猪山築堤費用カー （嘉永2己酉10月9日より嘉永3年正月22日まで）の万		

138	嘉永2年己酉	酉年 金銭通	X 佐右	北惣場
139	嘉永3戌年 正月 （1850）	金100両也 借用金子之事 30両1ヶ月1歩の割合12月迄金のニヒ 包紙共（33×37cm）	伊達林右衛門殿	伊七屋善五郎
140	嘉永3庚戌年 1月	松前藩士移動 内報のお（7.5cm）		
141	嘉永3戌年 2月	金15両也 岡本時蔵改代金受領覚 （包紙入24×34cm）	伊達林右衛門殿	
142	嘉永3戌年 3月	金15両也 岡本時蔵松陣羽織代 嶋田興松右衛門借候分 小冊帳1（44.4×16.3cm）		
143	戌7月 30日	金50両也 善傳寺普請料歩の 覚	伊達林右衛門 代 清吉殿 立山	
144	嘉永3戌年 8月	金6両也 内3両通済に付書入申一札 之事 弥三松と両人に場所勘番 122通済の定（17.7×40.3cm） 他小冊帳1、包紙入	伊達林右衛門殿 毛利彦六	
146	戌年	此酉年拝借金当戌6月半方返済の方 病身之者合 悪く延期不及傳票 No137と歩か	大崎屋久作 古河屋伝右衛門	
146	嘉永4年辛亥 4月	金1両弐歩 借用証文（22.7×25.4）	伊達林右衛門殿	松本新七郎 請人 国阿部屋傳六
147	嘉永4年亥 5月	金165両也 お作金子借用證文 包紙入（32.7×47.6）御用達久兵殿		岡本時蔵

内訳 33両づゝ 原野喜左衛・梅原大右衛門・伊達林右衛門。22両 西川徳左衛。
岡田半左衛 11両づゝ 岩田金作・宮川源蔵。

148 嘉永4亥年 11月 小松前町屋敷壱ヶ所25両に2商売等カ件ニ付 村山傳之丞殿 (名義)主 伊達林右衛門
永譲申上候 仲書付 桜庭文右衛門殿 親類
波江兵五郎殿 阿部屋茂左衛
冨永兵三兵衛殿 町下代 吉蔵
村山金八郎殿 宮川半右衛門
桜庭善右衛門屋敷

149 子1閏 2月 15日 金6両1歩1朱ト770文 白紙共(16×20) 火防祈祷 經堂寺
(子12月閏ハ嘉永5年也) (上亮入用ニ付来丑迄4ヶ年分地代請取置)

150 嘉永5子年9月16日 金10両也 借用証文 包紙共(25×33) 伊達林右衛門殿 下国主□

151 丑 2月 金15両也 借用証文包紙共(12.7×35) 伊達林右衛門殿 預金内

152 嘉永6丑年5月26日 (1853)	書簡 包紙共(22.5×5cm) 手法の為ニ100カ	伊達大旦那様	越後宮川 前妻弘手剛拙
153 嘉永6癸丑年 10月下旬-11月上旬	御認ニて下し(主殿)御かゝれニて番請大評判の事、久太右門へ露文上陸ニて松前藩より一番隊(竹田利七右衛門一分部が)二番隊(酒井善)出立、米州カノ之包の出候、御手紙云々の言葉等より 藩庁又は旨筆ニ人よりの諜報であろう 書状3包 子11月(10.8×56cm)	伊達大蔵宮大人 膝下	
154 丑10月25日	金3両2朱ト800文 庚午分地代前借覚 包紙ハ(24.2×28.3cm)	伊達林右衛	經堂寺
155 嘉永6癸丑年11月16日	金1分1両 借用証文(包紙ハ16.7×30.8cm)	伊達林右衛門殿	下国貞勇美
156 嘉永7寅年6月13日	嘉永3戌年より午ニ至5ヶ年賦上納通 上納仕候		川原町里ノ沢屋 安右衛門
157 嘉永7寅 6月 13日	上納仕候 3戌年より申ニ至5ヶ年賦 上納仕通		港津中町 松代屋市作
158 〃	〃 〃 上納仕通		西誓寺町 佐本屋佐七
159 〃	〃 上納仕通	濱マレケ支配人	重代屋直右衛門
160 〃	〃 〃		西誓町 松本屋庄七
161 〃	〃 〃		泊り川町 作五衛

162	嘉永7甲寅年	特詰合状 諸届金上納通 天満橋4折8丁綴		伊達林右衛門
163	嘉永7年寅 9月 安政元(甲寅)	丑3月よりの熊木郡との公事合決着には 清蔵け)郎状へ御願之通私領主ニて土地 貰受領上候 封印紙入(24.6×13.4cm)	松前伊達林右衛門 御陣屋御中状	伊達郡 崎村 百人 庄助
164	嘉永7年寅 10月25日 (安政元年)	御用金150両上納方 包紙 包紙のみ外ニ枚		今戸町 精十郎
165	安政2卯年正月7日	金250両 頭字丸助右衛門殿より寅12月 7日頂り 松前御治行賞(24.4×22.5cm)	伊達林右衛門様	日本橋安針町 (竹)西宮平右衛門
166	安政2卯年正月7日	金150両 松前御治め為替 宗兵衛八殿 より預り賞 (24.4×22.5cm)	伊達林右衛門様	(竹) 西宮平右衛門
167	卯5月28日	先便積残り荷物壱箇越中杉生沢 牧野屋 八助船へ自手ぶり通積込送状申上候 書箇	伊達林右衛門様 (60cm)	板屋忠左衛
168	卯5月	松前より箱館まで旅行仕掛賞 (16.5×68.6cm)	上	箱館治主藤右
169	7辰年(安政3年) 4月16日	穐田(秋田)佐竹中御賄賃銭帳(半紙22丁綴) 剪紙賞	御陣屋	弘長丁
170	安政3辰年10月11日	川津(三郎か)松前板舘入用帳 横廿5丁綴り (11/10~14日)		伊達
171	安政3辰年10月	御板舘通 10月10日より仕込 横4折 6丁 1帳 〃 4丁 1帳		X
172	3月6日~閏8日 安政4巳年?	北蝦夷外往来人数賞 1 (半紙1枚横二ツ折)		
173	安政4年巳5月	金5両也 拝借御米之証(30×30.3cm) 伊達林右衛門様 南部田名部 ひう書 閏5月26日 ゆう両也受取賞 原蔵 母 田名部 自四郎		親類 竹鼻屋友右衛門
174	巳5月	金5両也 御用方様より恩借仕候賞 谷御治様 能登屋新吉 ひう書 閏5月26日 表書の内ニ両請取 申候 (19.2×15.7cm)		代 田名部治四郎
175	巳5月	合金7両3分3朱と166文 (50cm) 御役宅作料御拝ニ付書付差上ル		マシケ運上家

176　　1月　板倉内匠仕切役宅に造作替お申には役宅＝　マルケ御詰所
採用状　　マルケ請負人　伊達林右衛門　代　前右衛門㊞
前差の断り書であろうか
イセガ　水野忠邦お出役にて相関野松右衛門落掛の筆に相成り無之候
前書の通書上仕候　云々

177（安政4丁巳年）6月、弁樫外諸品箱根地へ積下り運送方及帰帆之節場所荷物
積登りの仕法等々仰依頼書面（15.2×117.5cm）
佐竹右京大夫家来　北條順治

178　　2月　山道工事棟梁外治料覚（二ロ38cm）　ハママルケ運上家
奈古にて持参

179　　2月10日　金4分西老分老朱（23.5cm）
山道掛方取り治料他見積覚　マルケ

180　山道々法左＝申上候　アッタ、ハママルケ境コキヒルより ハマ運上家まで 4里15丁
マルケ、ハマルケ境より ハマ運上家まで 4里30丁
ハママルケ迄 9里22丁也

181　安政4巳年　10月　私共20人濱マルケ之離出稼の罷越候ニ付
差入申候　包紙共（24×86.8cm）　伊達地方　吉岡村　善蔵

182　安政4年午6月9日　去5月24日箱大山鳥久佐衛門殿9人乗
徳寿丸（船頭）彦五郎判頭遣出　大地方　右衛門代　徳右郎
物言支につき頼り証文（包紙入33×106cm）　仙北屋仁左衛門
奥印　田中屋武左衛門　代　末次郎

183　安政4　午6月　濱マルケ領生木つゐに而末年春売場所通
商売（回船）御許可には売上申一札之事
包紙共（27.4×40）　伊達地方　塩吹村　御屋敷村右衛門

184　　午8月2日　金100両也　当座借用覚　大地方　笑作渡屋

185　安政4丁巳年9月吉日　金33両之朱也　奉納金請取書　伊達支配人　工藤市作殿　戸隠山宿坊
（27×38cm）　神道取扱役人衆中　正智院

午年9月21日　No1〜7の捷状（27×70.5cm）　伊達精十郎様　正智院代　樹量院

子供を世話せられた謝状　伊達精十郎様　尾崎屋利右衛門
横山町　小嶋屋武兵衛

以上3通包紙入（No1〜7迄）

186　　午10月　金100両也別荘建築金子借用證文　伊達右治殿　中所　謙益
連印添より子年10月迄＝午賦返金可致証文　伊達一作殿　浜屋安三郎㊞

(但紙共 27.7×64.4cm)　　加賀屋新右衛門
仙北屋仁左エ門

187 安政5年午10月　金500両也 為替取組証札之事　伊達一作殿 照木松宇八郎
包紙入 (29.2×37.4cm)　宿 筑紀利左衛門

188　午11月19日 銀2朱也 借用覚　伊達御内 松之郎様 牧村新治

189 安政5戊午年12月　乂金565両也 引当地所目録付年賦證文　伊達乙治殿　本人 仙北屋仁左衛門
所年寄 扇永栄左衛行 集書他二面共年　〃市作殿　請人 阿武屋利左衛門
(12.5cm)　〃 蓬来屋 忠左衛

190 安政6未年2月25日 納内 金1分也 地乗出ニ付為恐悦献上 小算片　角屋三郎左衛
2月26日 金2朱也 〃　鞆屋三郎左衛
2月25日 金2分也 〃　上野屋房次郎
2月27日 金2歩也 〃　川村屋喜右衛門
〃 金2両也 〃　山田屋久左衛
2月29日 金5両也 〃　川次田マシテ支配人
3月8日 金2分也 〃　直右衛門
3月10日 金1分也 〃　谷森屋作兵衛
下ノ丁番人　安右衛門

191 安政6己未年2月　6月より当湊(箱館)に南港につき国産品売用ニ差出可有之。大概商之目力より
(1859) 南港(ニ) 内々の話もあり同人より太斉様(井上元七郎)?作兵衛様(調役並 村上郎)?
宛名、署名共なし　への口談頼定候事 (16.6×166cm)
2月入港のアメリカ船薬種類3万両も積来れるも交易品なし最初。
大豆に2倍に小ニ5百両弁支払せるに、1200両余もの利益を得たる
事他交易への期待を込めて云々　南港③NO200 より菜品子足参照

192 安政6年未 3月　80070積廻船名ノ通見届 差船渡　松前　大坂 赤穂屋八左衛門
代 942両ト銭1メ100文ニ而永懸證文　伊達又左衛殿 受取
包紙入 (28.3×46)　讃岐屋作七

193　未6月6日 弁財船未込荷代金942両ト銭1貫120文　神ノ口　伊達屋市作
ニて買入仕居　地役所　〃仲船頭又左衛

194　未11月　乂金165両ト分 石垣積石支見積覚　江戸 寺吉
4月21日　金3メ825文　請約束金覚　小細工師 荘七郎

195 安政7年申2月13日　金120両 地栄丸造船金請取覚　伊達地店 林　正徳丸作左衛
(万延元年) 1860-　勘部大畑(大)印 声右衛門殿便り正徳丸善次郎方届ケ　能ト屋長十郎
包紙入
万延2年申二月　三上小机 老技共
文化13年年一(12)　後年ノ書入であろう。

196 3月 彦根候一件後一軟店員中への達書
万延元年3月 井伊掃部頭直弼 潰書一件)

197 萬延元申年6月23日 千歳丸 積荷物送状 (半紙4丁綴り) 伊達屋源左衛門殿 ハマヽヒケ請取人 (平野屋林兵衛内 支配人 久左衛門
(江戸藩邸西エゾ地 ハマヽヒケ請、西原利左衛より 沖ノ口出役への廻書・印有。

198 万延元庚申年 6月 永代譲渡地面證文之事 別家□吉殿 親 勘左衛門
其許別家に付親教熊 譲渡 印
奥印 佐久木伝右衛門 村山傳左衛、 与金八郎
包紙共入 大幸書 上田万右衛門、林坂左衛門

199 万延元庚申年9月22日— 大野屋し・柴田矢太郎等々大阪蔵屋敷送り 御殿東産物出来書留
11月21日迄 綴り 4丁

200 萬延元庚申年11月13日 6月18日北京陥落 唐薬来らず医師病人大難渋の様子及清国敗戦
南滝(3) 北京條約締結 つづいて日本への外夷船来浸に怒った日本朝野の
狼狽振りと急拵の武備を揶揄と嘲笑と狂句を交えた書簡
(64cm) 東武散人夢遊。

201 萬延元申11月(1860) 金50両也 建家譲渡證書 明石治右衛門殿 親類
替地は後日請取申すべき内容 西田吉左衛
包紙共 (27.3×38.4cm) 証人 熊谷幸之助

202 万延2酉年 2月より 諸用留 伊翁
(1861 文久元年) (半紙4折横 36丁綴)

203 文久元年酉3月12日 金20両也 借用証書 (包紙入) 伊達備中殿様 下國 左近

204 文久元酉年9月より 諸用留 伊翁
(半紙4折横 20丁綴)

205 文久元酉 9月13日 金239両1歩永930文也 大坂治様 茂辺地村
松山様より山人大納料面借受取覚 細屋 喜左衛 印

206 文久2壬戌年正月より同年8月迄 手留 伊達翁記
(半紙4截横 35丁綴)

207 文久2年壬戌正月 金600円也 為替取組手形 為替取組主 竹屋九兵衛 金吉
包紙共 (幸32×28.8) 両波主 大坂 讃岐屋佐七
伊達藩造酢。

208 文久2戌年5月 金3両也 品川傳次郎殿無尽親掛金預り金覚 伊達御治 竹屋
包紙共 (16.2×24cm)

209 閏8月13日 翁記勘定奉行昇進の祝詞及長泉寺の山林田地寄進への謝辞並に
8月閏八文久2壬戌年 世上風聞をとりまぜ、アイヌ侮蔑の言あり（24.7×34.7cm） 奥山崎
(1862) 他包紙及今戸清十郎宛の九断片あり 伊達翁記拝 八崎桂八郎

210 文久3亥 12月 金50両也 鐘楼堂残不足借用証文 伊達林右衛門殿 法泉寺
(法) 一(1) 包紙共（32.7×47.5） 世話人連名

211 元治元年子12月 鐘楼乃建立無量設之礼状 伊達林右衛門様 法泉寺
(法) 一(8) 和紙2枚継り包紙入り 告川 堰造様 地檀家一同

212 子12月18日 金160両也 無尽金内金預り覚 伊達様 法泉寺
(法) 一(9) 告川様

213 元治2丑年 4月 安政4巳年6月未引当500両ノ借用返却相滞り 伊達林右衛門殿 代用人 仙崎屋布右衛門
午歳迄延年ニ付借用証文之通返却候処 平蔵引請代 仙北屋仁右衛門
太次郎
立会人 張江利右衛門
〃 蓬来屋 忠兵衛

214 慶應元年丑閏5月25日 金50両也 請取覚 〆御治 上田 忠右衛門

215 慶應元辰年11月9日より 北地行 諸用留 半紙和綴 30丁（6丁記入 22枚白紙他表裏紙）

216 慶應2年寅 3月 金5両也 借用仕金子證文之事 伊達翁記様 請人 鈴木織太郎
(24.5×34(m) 本人 鈴木文五郎

217 慶應2年寅 12月 金50両也 借用証文包紙共（33×47.5） 〆御治様 本人 田中屋治右衛門
我国藩人致通行指留候造作賃思借年賦返済証文 請人 松川屋政治郎

218 慶應3卯年3月5日 一冊 諸用留
一7月9日迄 一通手紙 〆2折横綴 34丁表裏紙共 写信

219 慶應3丁卯 6月 金20両也 證文之事（包紙共） 伊達翁記様 今井奥之助

220 卯7月29日 金6両也 山繁中主請取覚 伊達林右衛門様 白荷様
他に7月22日付 名主 善右衛門
主毛両に薪売敷の小紙片あり（高すぎる）

221 慶應3丁卯歳 山崎長助 治男繁松 伊達翁記宛 繁松 の
信方へ養子仰渡組の記（32×40.5(m)
（包紙上書きと思われるも中味なし 予明）

222 繁松養子に入りたる後に生母より書簡 〃 ②
（120(m) 伊達繁松殿 母より

223　6月29日　繁松伊達家の養子となりし後種々の注意事項他故郷よりの便り書簡
（103.3cm）　伊達繁松殿　山崎亮助

224　5月29日　表人屋敷諸物見物の御事と喜び居り候　仰忘れの風呂敷包みお用いの事と封印してお送り致し候には云々
（62.5cm）　繁松殿　母より

225　2月27日　気候伺いへの返翰　（38cm）　伊達繁松殿　山崎良助　〃　〃の

以上222-225の四通はいずれも嘉永午下半年なるも No.226 に近きものと思い此処に集録して置く。

226　5月26日-8月12日　ハマにて場度物取扱い清分ける積送船　伊達龍蔵様　黒沢至直右衛門　順便伊達行への報告書簡4通　及山田屋久左衛

227　7月2日　引印出帳に相違し漕中貸付帳差上候最早盆前余日も無之前後難儀斗には勢徳丸よりも書付差上申候
（30cm）　伊達龍蔵様　黒沢屋直右衛門

228　嘉永3年7月9日～　武蔵屋治用留　智信
11月16日．　半紙4折　横表裏共　53丁綴

229　9月8日　司丸出帆＝付き荷積込報告他運上等及び漕
仰伊達龍蔵文書の以降（仰伊滝文書）と略す。　中建3通調（包紙共半紙2枚綴）
添一件のまつて運上家建前覚）及追記2信（18cm）合4通他1通1束まとめ

230　9月8日　司丸他3艘出帆の情況報告．仁助は土用迄に相成り
仰伊滝文書 乗三　天ノ川や登の外競争相手と喜び居る々他（×32.8cm）
添一件より司丸積込荷物覚（包紙共46cm）　丁伊達滝蔵様　奈佐右衛門本清吉

231　9月10日　船酌取大阪又は越後辺への注文御下渡．処々荒天続にて通行能な
仰伊滝文書-③．3月秋味300束600両に定め秋田船本丸に積込候旨々（107cm）
添正徳丸に関し順徳丸の破船を例として云々の書簡
（25cm）　包紙共3メ　今村印　奈

232　9月11日　司丸へ荷積込後5日迄720石余漕獲あり．後両3日のうちに好漕の
仰伊滝文書-④　見込等申述　封入（44.5cm）　滝蔵様　清吉

233　9月16日　清吉松右衛門丸に乗組候＝付委細お南取被下度．司丸に積込み等のぶどう
仰伊滝文書-⑤　度は半午は下度にて言上不申候．荷物請取証文及請証何も請入申候（半紙2枚綴-包紙共）　伊達滝蔵様　山田屋久左衛

234 4P10月10日 東北風ニ吹流され落船ノ為新潟港入港吉本千助陸ヨリ注進申上候 片船
仰伊滝文書 -⑧ 御不動丸西船ヨリ後より人を遣し御判返状添状差遣申べく之ニ(52cm)
10月10日付 敦賀屋吉左衛門内相渡表ヲ添えて 39cm 包紙入
伊達滝造様 司丸彦右衛門

235 10月10日 御下動丸9月17日帰帆の処落船ニ付為積荷、重畑日乃吉より可申上、司丸ハ佐渡太田浦
仰伊滝文書 -⑨ へ落船、荷左衛門ヲ為替ニ入候、而ニ付御告好便の上ニ高俵122俵ノ下両ニ成
可相成(手取ノ下両位)他船人造迄の件等(5ML35)及御書一ヲ下両預置
へ為替取組仕方両位可能には為替取組可被申出云々(包紙共)
上野滝藏様 佐久本清吉

236 10月10日 マヒテ当帆9月17日几順ニ佐渡小木津落船ニ、又司丸の模様等船御申立御届
仰伊滝文書 -⑫ 申上候也(和半紙3枚継 包紙共) 伊達滝藏様
御下動丸 万吉

237 嘉應3年仰 11月6日 大阪木屋市郎左衛門商品相庭表(16ヶ)ハ 伊達滝造様 未又左衛門
仰伊滝文書 ⑦ 末相場及、砂糖、掃毒下向他情況報告 清吉様
及造船方ニ之売船見付次第御知申上候
(16×214cm) 添書(22ヶ)

238 仰11月14日 御不動丸水主多七指立報告仕候 司丸も佐渡太田湊ニ於テ積取・
仰伊滝文書 -⑨ 荷物は不残寺泊・新潟ニ之売却ニ之(16ヶ×122)①秋の末仕切高
(88cm) ②売上金ノ下ヲ下両仕込為引ヨリ下両位 数賀屋宿司丸彦右
衛門宛ニ之為替取組れなく、尚マヒテ 詰役人相残り候分 別紙(仁方
ヨリ)通りニ之 添状共 (48.4cm)
包紙入り以上3通 伊達滝藏様 佐久本清吉

239 11月14日 落船ニつき委細は清吉様より御聞取被下度尚送り状・添状
仰伊滝文書 -⑬ 御判等別封多ニ仕置ニ申候 御不動丸
包紙入(41.5cm)-他事ハより略ス 伊達滝藏様 万吉

240 11月15日 先便御船ニ之申上候通り秋の末仕切金切配ヲ清吉様より申上候通りニ
仰伊滝文書 -⑩ 仕可然ニ之他越後米の作柄他人気等ヲ相場表ヲ相添(不明)
包紙共(80ヶ) 伊達滝藏様 敦賀屋右司丸彦右衛門

241 嘉應3仰午 11月 御不動丸(秋の末)売仕切帳 美濃紙二つ折10丁綴り
仰伊滝文書 -⑪

242 仰 11月15日 米他諸品相庭表と「書簡」包紙入 38cm 伊達滝藏様 敦賀屋吉左衛門
仰伊滝文書 -⑭ 御不動丸司丸にて秋の末頃への積越と、積作
の次第から来仰下り元の末の報告他 (100cm)

243 11月17日 今回の大幸御同志へ御注進事は誠に頼母敷き限りに候 然れ
共お話の金子は当方にて調達仕候か御入用の義は万端ヶ御
相談可申上候 等ニ包紙入(61cm) 伊藤林右衛門殿 岡藤順太郎

244	慶應4年辰5月	鮪網掛引証上納通	6丁綴横	伊達
245	5月	金3500両也 荷物取組約定書 鮭〆粕2千石時相庭にてお引中相渡候内 証金領収却（33.3×47cm）	出羽子武兵衛殿（伊達林右衛門） 宿 代 清吉 佐野嘉左衛門殿	
246	慶應4或辰5月吉日	覚書	半紙4ッ折横20丁綴／枚のみ記入	上野勇太郎
247	辰年9月9日	吉川栄治郎賄料書上	半紙4枚綴	吉川栄治用人栄
248	慶應4年辰9月20日	鮪中鮭〆粕約定通小造＝受取申候、金3543 両3方也 手促処御請取覚	×拾弐	箱館 蛯子武兵衛 代 喜市
249	慶應辰巳	貸借差引却紙片	明治6年次迄～明治8年次年迄 能登屋佐十郎	西蔵ニて 山本又三郎
250	巳11月27日	米仕切覚（16.4×38.2cm）	×拾弐	能登屋佐十郎
251	（明治2年）3月5日	大阪大手通にて和船売物引継覚も繋れある栄吉及山口縣マシケ支配 前後と伊達家の内情等の白紙入（32.4cm） 追書1（4.0cm） 合2（6.2cm）	伊達瀧蔵称	伊達精十郎
252	明治3年7月吉日	萬覚帖	6横折 16丁	伊達繁松
253	明治3巳年9月	添書（24.1×12.2cm） 兼この刀身 本江200両と申上候も170両にて不苦候間御入配願度く 候 云々（4通入と白紙に表記あるもこの1通のみ）		進藤勘左衛門
254	明治3年10月朔日	南部盛岡藩家老東久世秀弘9月25日御入国10月朔日市中御見廻り無滞相済候も 天下の形勢不安定ゝつゝ数日滞留と思われ候云々 他 白紙入（16.6×7.9cm）		伊達林右衛門称 伊倉屋多三郎
255	巳12月5日	金289両1朱ト銭245文 民政局上納金 御下米代金書引写	×拾弐	平（鹿野）
256	午4月10日	孫屋喜左衛門殿相頼300両手形取組候間宜敷く御頼上候 白紙入（16.6×65.5cm）		伊達瀧蔵称 伊達精十郎
257	午12月2日	金450両（金5000両の利足当午年11月分迄分造＝受取申候覚 （20×29.2）	×御弐	函館松前藩士 代 孫吉
258	明治4年4月15日	湯山一戸久蔵称への用立金150円取立依頼		菅原
259	未7月5日	佐々木久吉称行書状ノ受取記	×御弐	永井町 後藤金蔵

260　未12月25日　金1両1歩3朱　銭125文　預社倉所藏地　預加毛内潰　伊達林右衛門殿　ホーロ　別戸改

261　明治4未年中　白紙入　欽收證　古州物方　3通入
①　申1月23日　金千両也　　山口県下　大野　新吉
②　申2月4日　金542両永60文4分　　〃
③　未11月11日　金2千9百両也　　〃　　〃

262　4月朔日
（明治5申年）　昨秋手代儀作殿又佐治尾儀十郎を以て御志被下候上京商取引の件御頼ありしも不能　又清十郎殿の儀も不在尾にて引続き勞力中の処御記帳突然の御死去にて誠に残念に存候云々
白紙入（210cm）　伊達林右衛門様　三井　松山栄吉郎

263　明治5申年8月2日　預金おの両　預り證　（白紙半）
山本文三郎より取替金引ニテ預ル　　入御方　　出雲屋治十郎

264　明治5壬申年9月10日～10月13日出立　東京滞在用書（空白半紙なし）　伊達

265　明治5申年9月　金×××千両也　借用証書　南拓使物貸附方借用証　（伊達林右衛門
證人　栃倉小右衛門
〃　南野作兵衛

266　明治5年未9月　利尻郡引継諸代差渡一通（16.7×24）横10丁綴　伊達治
水漏引継　稚野治引渡印あり。

267　明治5壬申年10月　202貫375文　但借子年（明治10年）より10ヶ年目賦にて1ヶ年209貫文づつ
返済証文（28.2×27.6）及び202貫　　加賀屋勘兵衛
申10月　375文の引合印（15.4×27.4）　伊達治右衛　獻　駒越半四郎
白紙入　表3行　　酒田屋善兵衛

268　発酉　3月13日　盛岡両家よりの土産その内にお尼ケ可申　青森須田快留守にて、土産品申村屋
豊治方預ケ心配を掛ケたる商売の様子等報知書面　封筒入（11.7）
（消印明治5便ハスツ発酉　亜限使用取扱所　箱館ハ郵便役所）
（郵券ナシ）　伊達林右衛門様　山崎亮助

269　明治6年6月29日　金五両三ツ組　旧藩債一の調達金出切に付ての大蔵省よりの
償却目論見（19.3×11.6cm）白紙共　林右衛門　代五兵衛　受取

270　明治6年6月30日　金1600両也　預り手形（18×31）　（本両）御治　（伊達治
表書ハ内金1,000両払

271　明治6年6月　青森詰より兵隊76名上陸の節御船差出候賃銭及弁明丸へ
呑水運び賃　　ホロ　　（16.3×15.2cm）

272 明治6年7月　才223番 課税證 印劃雖 120通　福山
第一区法津4町　戸長　伊達林右仁門　租税掛

273 明治6酉年11月　火防道廻請書、寒天備成、替大黒天、柄子替 他
他 2枚　（請 写片）

274 明治6年5月調、　当代回漕商本町 山崎宜助
繁松 ③　家族年齢調　手紙一枚

275　消25日　昨冬雪悪不通ニて渡辺氏跡遺候請取金不納、不況にて我当に取り置し納合不売、未蔵西館ニ筆策に参り居り帰村まで御待被上候云々 他
封筒入（手紙2枚添り）　伊達御支人衆　川岸利三郎

276 明治7戌年　5月　法隆寺普請用書数入（袋のみ）　大治

277 明治6年6月　招魂祭新築慰労として清酒被下候事　正徳丸船中　南招便
大奉書1（37.7×49.2cm）　西徳岡出張所

278　8月8日　吉田末蔵、借付金抵当ニ入置たる船売却の見込相立候ては申訳無之候ては抵当証書数御返却下され度、証書着次第10月又ハ9月中45円残り45円は他の所持品売却御送金可申急ぎ書御送り申候ニ付云々
封筒入（9cm）　伊達御支人衆　川岸利三郎

279 明治7年8月9日　金100円也借用依頼（11.2cm）　上野滝造殿 出塚高機
〃 8月10日　金50円也 借用証 包紙入2枚　〃　〃
申戌8月11日　金50円也 借用依頼書（7.8cm）　上野衆 石井直蔵
〃 8月12日　金50円也 借用証　上野衆 石井
以上メ4通5束入 包紙共6束

280　戌8月20日　永文房昆布百石目ニ付250円以上直段取極記
契約印紙貼収入印紙一通）　伊達御印　佐渡屋長十郎

281　8月21日　行違ひ為遅遠致候ニは吉田末蔵津高売向高ノ御合を来す ニ付、小生保
（戌、40）　証改すに付、手証戻しとして左の書付々書簡　封筒入、9cm）
伊達御支人衆　川岸利三郎

282　9月29日　壊れたれど証書引替に50円請取残金11月請取る積りに候云々
（戌、46）　書簡　封筒入（5.8cm）　伊達林右仁門殿 脇弥次 加藤清吉
吉田末蔵

283 明治7年10月　金1,500円 為替金借文　請取主 江州大橋仁左衛殿
渡主 天社丸乃吉殿　福山
常盤丸宗吉殿　伊達林右仁門

284　戌11月8日　金50両也　拝登道中入用金借用申候也　金沢八三郎殿　訓九　彦右エ門

285　明治8年1月14日　法海寺地租残金皆済証書　久地治村　亀四郎左エ門
代　勇吉
赤穂屋忠左エ

286　明治4年より　来午迄　宗谷・枝幸両郡収穫には左図書附を以奉願上候　書付
草稿及　及故手紙ノ枚

287　明治8年1月21日　手紙を包紙仕立て宛名他を記入し封筒代　勇蔵
の用　郵便を貼り正規の局印あり　伊達滝蔵様　大田一郎

(2)　8年12月3日は　封筒のみ　伊達林右エ門様　日様御手来所
〃　滝蔵様　西宮平左エ門

288　2月6日　金沢八三郎様より壇もにて御注文の干鰯詰　三ノ目入ノ箱左内　鯨つり船
着孫八郎支配殿　船に託し差し送候　伊達御治御奥行
手紙包紙　壱枚　羽後国由利郡塩越　須田金助母より

289　明治8乙亥4月2日　干鳴万吉幼年にて拙者後理代人の処更＝貴殿を後理代人と
定　建物地所等一切を貴殿名儀となし　借財諸返済方一切を
委任致候也　(実印一枚)　伊達林右エ門様
干鳴万吉　後理代人
渡辺藤又
証人　上原孫十郎

290　明治8年亥4月25日　金150円也　玉造借用証文之事　藤原弥吉殿　本戸久蔵
(33.3×22.2(m))　包紙共　証人
瀧部清吉

291　明治8年6月7日～明治9年1月迄
音信料及貸借等金受収証　33枚綴　庵信局
明治10年丑　〃　2枚　〃

292　明治8年6月25日　金650円也　月利20円＝は25銭　預り証文　(包紙入 2尺6×4寸0)
枝幸鮭塩引4000ヶ目　約定内金　8月中直段取究(之利益方定の定め)
志谷伝四郎殿　伊達吉

293　明治8年6月26日　金2,000円　拝借申金子証文之事　十七ヶ月迄中　拝借人　伊達林右エ門
代　上野龍蔵
証人　栖原小右エ門
〃　孫野伊左衛

伊達・梅園婚姻紀要

No. 24

294	梅園家伊達家婚姻紀要（1）	綴紙通し　目録　大奉書（35.7×47.7cm）
295	亥（明治8年5亥）2月 略婚姻紀要（2）	婚姻 持参品（衣類・調度目録）覚　奉書（20.8×16.9cm） 〃（髪かざり　）　〃（13.5cm） 梅園家より伏
296	明治8年亥年 2月 婚姻紀要（3）	梅園紀姫 許類書（大奉書2つ折） 〃　メモ片1.
297	婚姻紀要（4）	婚礼儀　メモ 輿入れの土産か、祝儀という事婚礼式祝儀か）
298	明治8年3月18日 婚姻紀要（5）	庚紀娘紀子 縁組御届　東都府知事 松谷信篤殿　正二位 梅園庚紀
299	明治9年7月8日 婚姻紀要（6）	梅園紀子送籍之事（到達罫紙2枚綴り）　京都下梨、木町 福山藩津内 副使 中村式 佐牛　戸長 濱城基命.
300	明治9年亥年8月17日以降 婚姻紀要（7）	西京要用帳（美濃横二つ折和綴ケ）　伊達 梅園紀子、伊達林右衛門婚姻までの手続き並葬式等項目周辺の注意事項と心得或は日記形式かで書き始めたと思われるのだが
301	明治11年4月8日 婚姻紀要（8）	納戸頭之ノ娘は出生 繁松　（大奉書2枚重うす手） おなつ　（俗に言へその緒書か）
302	婚姻紀要（9）	加兄出生祝目録（初眉売屋）繁松殿　（大奉書1枚）
303	婚姻紀要（10）	原記　伊達林右衛門 梅園實紀　長女 紀姫 伊達繁松　明治11年4月8日生 〃　4月25日 死去
304	婚姻紀要（11）	春明天皇御遺物御拝領之覚　包紙入（19×51cm）
305	明治31年9月7日 婚姻紀要（12）	梅園永宗族並親類書（大奉書横二つ折）
306	婚姻紀要（13）	以上12通はこの絹裂地にくるまれまたこの紙にと二重に包まれて居た。（No.294～No.306まで13通）

307 6月29日 明治8年樺太引揚報知の（判紙2枚）
女子部松今般樺太州境引揚ニ付云々（極）寿之部殿 帰松ニ於ル
樺太楠浜（クシュンコタン）よりの包裏 玄武丸積込 小樽ニ積直し 箱
館丸積荷1,500石也 辺着見込 ソチラ 川奈辺之部.

308 明治8年7月10日 届出通金の件ニ付 左京 逗留上野氏上京延待受可申他送信を乞う書簡
小封筒入（12.4×18.8cm） 伊達林右衛門様 山崎良助

309 9月7日 渡辺告訴一件ニつき金円不請取手形の借用証書の内都合向の為ニ書入
れ取りとの情状ニ付証認書簡（360） 樋口儀作様 林右衛門

310 明治8年9月付 約定書写 2通 渡辺勝十郎殿 伊達林右衛門
（同じ文面 草稿か） 木村万平殿 支配人 樋口儀作

311 9月7日 渡辺告訴一件ニより林右衛門よりの問ひ合せについての答
（263） 儀作 印.

312 明治8年9月16日 拙者儀ニ柏蔵出ニ付後為持金不足ニ付之れ
伊達林右衛門代 上野滝蔵

313 明治8年9月16日 金2,000円也 拙者借用証 両掛硬貨借方
（罫紙2枚綴り） 御用達中 証人 伊達林右衛門
〃 深野伊左衛

314 明治8年9月30日 書入申証書之事 貸付方当番 伊達林右衛門
貸付所持借金10月10日返済猶予ニ付 深野作左衛門 代 上野滝蔵

315 明治8年10月23日 明治8年10月10日一同月17日返ニ借入金2,000円を伊達家の保証ニ
誰ニ渡したかの問ひ合せ状（20cm） 樋口儀作殿 伊達林右衛門

316 明治8年亥11月18 金2,000円也 借モ春荷物900石売渡ニ付定
証文 西出孫右衛門殿 伊達林右衛門 代
代 小田小次郎
産部清吉

317 明治8年11月17日 本年4月中為換ノ家納貢典禄委任取消
ニ付委任状 依頼状返却の通受取書方より返却
可致き書類は東京より届書可申証 包紙共 松前藩用

318 亥11月21日 引札（13.6×37cm）辺積廻船模様案内状 11月22日ナルベク48.7）
伊達林右衛門様 陸中国宮古湊 辺廻船問屋
分橋屋権之 改横坂権之.

319	明治8年12月14日	瀧藏伊達北海道治取締を被命たる時俱に4冊郡を推したる書筒 草稿数共 7通	御主君様 上野瀧藏
320	明治8年12月15日	為取換條約書 干鳴沓吉借財伊達林右衛門肩替りの件	松前九郎殿 証人 上原孫十郎 今井直殿 干鳴万吉代 栃原小右衛門殿 桶口儀作 代理人 伊達林右衛門
321	明治8年12月15日	干鳴万吉借財整理に関し渡辺巍との引継により為取換條約證栃原より借用して写ス. 罫紙2枚	松前九郎殿 証人 上原孫十郎 今井直殿 代理 桶口儀作 栃原小右衛門殿 干鳴万吉代理人 伊達林右衛門 委任状 1枚
322	明治8年12月15日	金3,635-19也 干鳴万吉より借入証明及同人財産の移転に付家紋貫典より引去るべき事 松前修蔵家扶 明治10年12月6日(ス)栃原より借用写之 栃原小右衛門殿	家令 所崎廣甫 松前廣甫
323	明治8年12月25日	華族乃皮相当領証文(私式ノ下綴)	元大名四方ヒ総国周准郡 青木邦 伊達林右衛門殿 用係 森田善十郎 〃 宮〃吉八 年寄本治 伊達成之助殿 〃 鹿嶋元治郎
324	明治8年 は 明治6年	通場稟金覚 茶色紙(23.3cm) 収稟票包紙 1 小片 2	
325	明治8年12月 ～ 明治9子年12月終了	渡辺彰太郎殿受取借入2,270円也他帳面×高至3,144円89銭6厘ク毛 9年12月 ×切通常帳高至3,744円42銭8厘ク毛 (新紙ニ付記)	
326	明治9年2月19日	金130円也 松世利資金受取証(16×24)	岩田金藏
327	明治9年2月20日	金1,100円也 帳面預り引合記 ×帳冶	(栃) 冶
328	明治9年5月	場所場所注文書入 注文当却(帳面を外して袋に使ったもの)	伊達
329	明治9年7月20日	事務書筒及雛×相運出し約定書ヒナ形 他封筒共3枚	三井銀行 伊達林右衛門殿 桶口儀作郎 下郎正直郎
330	明治10年7月31日 (ははは不可解)	金50円也 金貨にて預り証文	伊達林右衛門殿 清水友久 代 滝藏

331	明治9年10月17日	金100円也 横浜にて200円の内金欠・横口儀作殿・清水友久収書 （以上2枚入 包紙一 共）		
332	明治9年8月21日 （10年）	金300円也 証書 年賦500円内金延滞分毛割利子にて談合済 9月20日限可相基四郎より御渡可申云々. 尾崎仲助殿	松前修蔵㊞ 家扶 布施泉㊞	
333	明治9(10)年8月21日	確(認)證 明治8年3月借入金18,420円 格別市談にて無利足 20年賦1ヶ月924円づつ伊達林右衛門より返済せしむべく云々 従五位 松前修蔵 家扶 布施泉㊞ 従五位＝郎殿		
334	明治9年8月25日	去ル6月中分戸・伊達吉也出訴に付 文助への謝礼金50両金収證書 （包紙入）	林右衛門 代 上野勇三郎殿	西京出張 佐々木文輔
335	明治9年8月	金39円14銭4厘 切り出し塩雲心当 （1ケ×23.3ℓ）	大坂ヲ店 （加州相当）	に西出孫右衛門 店 孫四郎
336	明治9年9月17日.	金3千円也 右ハ元松前・福山・江差・商会 債付金 去ル8月約定分 請取置	伊達林右衛門殿	従五位＝郎㊞
337	明治9年9月28日	金1500円也 借用証券之事	関 幸三殿	伊達林右衛門 代 上野勇右郎 請人 堀保新吉
338	明治9年10月11日	本證500円借用分 金利約定に就ての証書 （ケ3割6歩）	渡辺 彰右郎殿	伊達林右衛門
339	10月.23日	明治8年10月借用金1,000円他保テ1,000円也 10月10日ニ1ケ月の内に 上野滝蔵殿へ相渡可申候 也.	伊達ケ	堀と儀作
340	明治9年ナの10月	伊達方にて変殿え大阪為替金600円取組 候為替入申之書之事（つくね書筒）	大村藏右衛門殿	大敷丸 万吉
341	明治9年ス10月	伊達林右衛門 所持の地所（西宮・博知の両所）共依頼にて抽者名儀に致し置候分. 役所都合にて如何なる所分あるも苦しからずとの証書 千鳥万吉地面旧証書 売渡し証書の包紙に包まれて届し者 に包ま 伊達林右衛門殿	関村伊兵衛	
342	明治9年11月29日	金300円也 借証ホグレ1枚	（依田吉五右衛門にて請書一通差出、 と書けるも金策の為たて分差の証書）	

343 明治9子年12月1日 金300両也 銀七釜ノ枚引当他ニ借用証文 (22(m)
〃 右ノ引当足掛弓ノ箇 14ヲ尺 (20.4(m) 伊達林右仁門殿
山本右仁門殿 佐瀬七助右仁門

344 明治9年12月17日 金1000円也 金沢弥惣左衛門渡辺納定 伊達林右仁門殿 五保証人
(印紙貼用) 金1500円之内金ニ付請取証(裏書) 代上野勇太郎殿 塚原新吉

345 明治9年子12月19日 金1305円也 ソオヤ切開取組ニ付鎖収記 伊達御治代 本柱大右仁門
(印紙貼用) (18×20.6(m) 上野勇吉郎殿 代塚吉

346 明治10年1月8日 福山一戸久蔵殿先明治8年4月15日付用金150円取立方
依頼証書 (
明治9年8月20日付
念書書入候事(追ニ右勘定捺人連印)
伊達林右仁門殿 一戸久蔵

347 明治10年2月3日 金2円50銭 去る9年8月 松ノ皆松ノ ヲニノ
金 1円也 去ル月付無心分
松之木事件証書 写紙付 伊達林右仁門殿 石山盛治

348 明治10年2月17日 為取換約定書之事 二枚メ
撰捉ヶ郡通葉村及通貫一戸ノ万円ニ定② メ両家ニ付事
伊達方残リ8千円を担保ニ付②よりメへ入要書、米噸及ニ
書字各仕入年未詳開墾方定可致旨一書 本田原小右仁門
伊達林右仁門

349 2月24日 ㊦ 村山政助殿便り包紙共(40(m)
土産物二個添ニ取次 十四治 上野勇太郎

350 明治10年2月~3月 電信料金領収証 3
① 10年2月13日 9銭5厘 三井行居貸共
② 〃 〃 塚原行 〃
③ 3月16日 〃 川岸行 〃

351 明治10年3月17日 金二〇円也 4月迄ニ返済之証 渋谷重右郎殿 樋口儀作
上条庸十郎

352 明治10年3月 郵便1.37円10銭 9月迄滞不居、10年ニ延 渋谷重右郎殿 伊達林右仁門
期ノ預リ手形ノ証書 仁和寺脇住訓 代人
栗生仁殿 樋口儀作

353 明治10年3月 堤毛郎北見四郎殿用留 伊達
クエ殿 土佐久之郎 三上伊七
上野房治郎 西谷久治

松前伊達治独立一件

No. 29

354 明治10年2月22日 福山伊達支店目代伊達林右仁門及養母信女出京申付の件 及
（松前伊達治独立一件①） 主と目代之滞在並支店掛物（諸機）の件
（19通の内） 以上二件協議一件 岩橋・池田両名への委任状 (写)
東京府本材木町7丁目8番地 伊達家之目代印

355 明治10年2月27日 書面には旨意相違無之候 岩橋・池田の両便遣し候間下都
（松前伊達治独立一件②） 合無之様談合相進可被成候 [redacted] 伊達林右仁門殿 伊達家之目印

356 明治10年3月10日 東京本店より申入置候通我々両人御地へ可罷越・本日出発・来12日迄
松前伊達治独立一件③ 御治へ向出立可仕候 以々 封筒入（63㎝） 伊達林右仁門様 岩橋静彦
池田嘉吉

357 明治10年3月 放漫為回 福山（和紙ハト印） 伊達候之助部理代人
（松前伊達治独立一件④） 伊達家本支店改正商議一条 岩橋静彦
3月14日―25日約定書全副書差出し尚30年に3千円 池田嘉吉
年賦其外他一切精算商社決定の押印仕筆記 支店目代 伊達林右仁門
支店納取締 上野滝蔵
会計取締 上野雪右部

358 明治10年3月20日 岩橋・池田両人宛郵書の返差（書残し）
松前伊達治独立一件⑤ （13.6×32㎝）

359 明治10年3月24日 御請約定書之事（証券罫紙2枚） 伊達候之助殿 伊達林右仁門
松前伊達治独立一件⑥ 本店主候之助死去後商い方不埋業成候
候処により自今本支店の別と称し林右仁門名儀にて無益営業仕り旧来の件に
就ては一切の迷惑如掛申間敷候 仍為後日 伊達目代 岩橋・池田

360 〃 〃⑦ 右約定書副書 （証券罫紙1）
この件に就き屋井信婦の口出しは一切禁じ尚此後は両方より一切
致さざる事定ねる3人の名において約定
伊達候之助殿 上野雪右部
代 岩橋静彦殿 〃滝蔵
池田嘉吉殿 伊達林右仁門

361 明治10年3月24日 御請約定書の事（罫紙63㎝）
松前伊達治独立一件⑧ NO.359の第3項又は説かの約束である

362 明治10年3月24日 此9年3月迄借3千円当面支店改正は日延時迄返可申に相違候上方ての金筆
松前伊達治独立一件⑨ 里小に予任為 月まで延期の件・材木町本まで御納成候迄延期約定証
（証券罫紙1） 岩橋静彦殿 上野雪右部
池田嘉吉殿 上野滝蔵
伊達林右仁門

363 明治10年4月7日 金2500円也 北見州札文字トンナイにて畦漫場一ケ所・建物共・
永譲渡証書之事

No. 30

伊達精十郎殿　伊達林右仁門　代川岸利三郎
保証人 松本兵左仁

明治11年6月25日 裏書　大阪大区 副戸長 古崎忠正 印

364 明治10年五4月18日 売渡契約証（証書用紙1包紙1ト袋入）
松前伊達治独立件(10) 明治9年戌12月於大阪の約定書通り永世謝款に相違無之云々
伊達林右仁門殿　大阪七 松山壱十郎 烋
松山米三郎

365 5月25日 松本町寺治代理人 名村・池田両人罷出 寺治の別と称するの旨、事実調
松前伊達治独立一件(11) 歎と雖も御相談も可仕と急ニ要する為 その日限もなくとの言伏と雖とも松
前治独立の案内状 下書 (書簡紙) 伊達精十郎宛か
5月9日は一封筒は別物（伊達林右仁門様 ― 松山米三郎）

366 明治10年3月19日 扇屋南拓便士族伊達の分所有公債証券
125円売却に就き奥書と念書之事 (3orM)
伊達林右仁門
保証人 石崎与右仁門

367 3月29日 長州萩の於る及下関杵築町にて清水谷大納言家の250円用立の件及三井家
と懸り出来京都にて三井物産へ罷出、八郎右仁門他4族立会にて
後伊達精十郎取組の話合成立、手始の計画書（司丸の名もある云々）
(16.5×350cm)
伊達指 上野滝蔵様 伊達精十郎

368 明治10年 3月迄 地券状 及地券名儀書換依頼状 並ウラ之書面 下書 2枚
千山島 万吉 伊達林右仁門

369 3月29日 江戸三井店番頭 刀根長三郎京都より、横濱外国日本出入品勘定引請方
28日の処にては9分通り評定済、此各11月伊豆清商、八丈嶋三井一手引請、大阪
西京・兵庫・神戸にても商社頭取皆三井に有之、日本中一手に可致、小子より三
井家人へ話込み、8万両諸品積下の節又は渡辺氏上京に際しても取持方宜敷
くこれの書簡 (16.5×121.3cm) (上野)滝蔵様 (伊達)精十郎

370 明治10年五4月吉日 諸品買入帳 美濃横二つ折 3丁綴り
林右仁門 (筆記) 大阪を経て京都に登りた時

371 明治10年 4月5日 家屋質入(棟下更作分) 45円借用証書状
下女事務取扱所 原文
上野房次郎 女男富右郎
〃房次郎弟 上野滝蔵

372 明治10年4月6日 金45円也 建家並土蔵書入金子借用證
(半紙3枚綴)
棟下みさ殿 吉本孫太郎

373 明治10年4月9日 金50円也 地券書入金子借用證書

No. 31

	(実濃之救役り)	棚下みさ殿	成水清吉
374 明治10年 5月 1日	物計金 弐万弐千円也	松前屋敷並場毛外弐ヶ所担保ニ付の借用証書	
	三井銀行函館出張所扱中	本人 伊達林右エ門 支配人 伊達滝蔵 保証人 畑田船頭屋 太嶋久作 代 谷森作左エ	
375 明治9年9月22日より 〃 10年5月28日まで	金利支払 階屋賃 (借入金利子の伊達支払分か?)	山形末太郎	
376 明治10年5月以前	明治9年3月中恩借の3千両 来る5月中返済すべき手紙(写) 松前国宝治より来治元手紙の下書であろう(不備ありしん) 樋口儀作と改名前中及墨田と改中につき挿着まで云々の言葉あり。		
377 明治10年5月27日	万川駅下加藤・中川他連印の人達不足の人に12・面会等も改し居らざる等の通書 (16.4cm)	樋口儀作	
378 明治10年5月	明治9年3月中松前おもた衛門実取の節恩借の2000円 来る5月中返済可致についての委任状(草稿)	川越町1番地 松野松三 (1前拓便土方矣)	
379 明治10年6月 3日	大阪府下管原源吉・新宮和吉・井上治右エ門へ向う手船勘定向に付部理代人委任状 (証券紙)	伊達林右エ門	
380 6月3日	松田・木本両人上阪の禮をのべ樋口儀作部理代人の職を務め、樋口及吉田三右エ門の添力を仰ぎ改革を断行、船及回漕を大阪・兵庫の債主に引渡につき跡仕末願上候他前書きみ込難差年積水数持給入難済他事項 (156.6cm)	松山米三郎松田 伊達林右エ門	
381 明治10年 6月3日㊀ 〃 6月4日㊁	金八万七千円也 借用金年賦償却ノ数額相書メモ (手付2枚) 右上 郵便届出ノ数額表書 下書 (手付2枚) の 松山米三郎印紙 伊達林右エ門、木本成三 ㊁オ一回三銀行貸付渡中	伊達林右エ門	
382 明治10年 6月	福山地所建物調書(右絵図添共) (美濃半紙横二折18丁)		
383 明治10年 6月	金13,000円也 但無利子年賦金證書 (33.2×42.6cm×2) 明治8年借用通場仕込金中之内は4月中返済残金向10ヶ年賦ニて返済可申證書 (下書ニ枚添)	伊達林右エ門 (證人印如按)	
384 6月24日	堀毛郡戸塚村ニ於ル商治建物掛 (300円) 附属商品 (六694円ノ米9俵) 支配人被申付候ニは約定書 (草稿)		

No. 32

	(15.3×22.5cm)	伊達林 ○○
38	明治10年丑7月5日	雛箱33ヶ目取組手形預り証書入候事 (15.2×20.7cm) 当7月より辰6月迄4ヶ年賦にて165円づゝ納入 皆済までの 林右紅門 手形代理 重沢八十郎㊞ 恩崎萬吉㊞ △印ヘ雛取組證一通入と封筒に上書あり 伊達林右紅門殿 代 金沢仁郎殿 大槻敦右ヱ門
386	明治10年丑7月9日	豊昌丸船具一式代金212円に定め譲受候に付為取替証書 白紙入 伊達林右紅門様 林之丞㊞
387	明治10年7月	歎願書別書 更紙野紙打表裏表紙は綴 三井組より借入金13,000円を弐ヶ年ヘ17年迄9ヶ年賦返納への儀歎 書下書 伊達林右紅門代理 木本成之㊞
388	明治10年8月1日	金96円也 預り金証書(證券罫紙) 星野健三郎殿 伊達林右紅門
389	明治10年丑8月6日	金60円也 賂用ヒ収受之 白紙入 伊達林右紅門殿 上条孫十郎
390	明治10年8月28日	オー号 弐表5俵 電信料 屋賃共 電信局
391	明治10年 9月6日	鱒(ソウヤ)漬付取組仙定書 預り証(白紙一芒) 福山 ×助治 函右 徳宗丸
392	明治10年9月14日	九鬲佐右木権三郎殿下ノ関大里屋新之殿 雛油預り証文 各ノ通預り請取書(白紙入) ×助治 盛運丸 兵佐吉
393	明治9年8月31日	金40円 当借覚 櫛口勘左紅門
	〃 10年10月9日	金400円 23年迄30円延通済可申証書 伊達力ぶ殿 本人 櫛口勘平
	〃 10年10月13日	金17円22銭5厘の手預り証 伊達のぶ殿 本人 木櫛口勘左紅
		以上3通入白紙共 ×4葵
394	明治10年10月28日	松山仁ノ依頼により左之一書ヲ呈ス(万吉許 松岡任) 罫紙3丁綴り 清水万吉代 伊達林右紅門様 高杉孫右郎
395	明治10年10月30日	貴殿伊達林右紅門方へ明治10年5月迄名儀人として著力滞中の連印せし證書 数の件々は林右紅門に於て引請け迷惑相掛申間敷旨書 (證券罫紙1) 櫛口儀作殿 伊達林右紅門代 木本成之
396	明治10年10月30日	伊達吉也一件に付同商精十郎より払者の取扱方申入有之難皆には1切委 松前伊達独立一件㊞殿に依頼、調金は50円25円前金終了後25円仕拂ふ可き約定書 (半紙1枚) 八木大弐紅殿 代 伊達林右紅門 代 木本成之
397	明治10年10月	綱土帳 67綴 松知石町 木通 屋

398 明治10年　手形差通受取記　箱館㊞組濱店

399 明治10年丑10月14日　金216円94銭0厘也　封筒共
土地売渡ニ商法会所取立方及用施料共　伊達林右衛門殿
手当受取記　(1枚×20cm)　組頭　勘左衛

400 明治10年丑10月15日　大嶋久作廻船宿不為思明治9年迄の約束を廃棄して、久作事
年迄老母存命中年3人扶持相渡し営業継続すべき約定書
証券紙にて　包紙共　伊達林右衛門殿　証人上野滝蔵
大嶋まつ殿　〃　佐久本与五郎

401 明治10年11月3日　投章通場運搬品積出書(横ニつ折ニ)洋裁部入地店御中　投章部入出張所

402 明治10年11月〃日　所有物取調帳(ノート横ニつ折)

403 明治10年11月19日　明治8年中干鳥下吉名儀商会身代限リニ付整理致シ所有地他改正
年迄過納金御下ケ渡願書
(2枚流共)　松前御家
地所掛御中　伊達林右衛門

404 明治10年11月28日　表判の進行情況と取収書類他整備依頼書面
三井組行名入罫紙4枚及封筒共　伊達林右衛門様　松山米三郎

405 明治10年12月10日　阪栄丸常盤丸両艘之残金4千余円の請　伊達林右衛門殿
取替代(罫紙2枚封筒入リ)　大阪西区平野通ノ　新宮平吉

406 明治10年12月11日　委任状他書類引渡目録　ホロ　千島下吉商会　伊達林右衛門
取扱掛ル上野様御即殿　代　上野滝蔵

407 明治10年丑2月吉日より　金銭出入下帳　38丁横綴リ　伊　達

408　丑12月　納税報告書　横綴リ1冊　メ地印
宇治村弥　豆三郎

409 明治10年12月26日　久三一五　書留郵便　白紙のみ　伊達林右衛門様　八木六兵衛
中味なし(裏に宛林右衛門の書込は両便用これ時の後の書込であろう)

410 明治10年12月22日付　天叙丸、常盤丸の船数違と及せる証明、かくては3七せる等吉にも致何ならが
〃 11年1月13日着　是非一度御会いと話合いなし迄、尚書し御告3千余円利足共七月迄
延ばい度ニ付書状(11.2×1cm罫紙共)包紙ニ宛名記入郵便
切手共(2枚)　伊達林右衛門様　大阪平田町2丁目　菅屋ふじ

411 明治10年12月28日　呼出奥書写紙1枚代償(重分厘)払済記
明治10年未1118号　福山区裁判所支　刑事簿　津井安兵殿　上野勇七郎

412	明治10年12月28日	證券印紙規則第4則懲罰例第15條ニ依リ過料申付書 (23.9×48.2(m))	伊達林右エ門	福山區裁判所
413	明治11年寅1月5日	郵便相撲引札及百石以上船舶ヘ再勘捌取扱規則報知ノ書筒共 (封筒入)	伊達林右エ門殿	下関油屋文左エ
414	寅1月2日	年始詞及相撲表 引札 (15×39.4(m)) 伊達店舗9人宛各1枚宛封筒入9通 万吉・佐一郎・高七エ門・澤藏・仲三郎・福松・宗吉・英三吉・吉五郎・衛・林		加賀国金石港 本谷久右郎
416	寅1月2日	年始摺物相撲番附 本版 封筒入 (15×39.2(m))	伊達林右エ門殿	加賀金石港 本谷久右郎
416	正月5日	年始摺物及初相撲他引札 (東關大関ニつ折 折紙半紙ニ付)	伊達林右エ門殿	江戸深川 割烹尾花八
417	1月5日	年始引札 (中ニ東西段有、封筒入)	伊達林右エ門殿	九州 小倉 三郎吉エ
418	正月6日	年始状及大阪表ヨリ通表及新商値段表等引札 2枚 包紙共4枚	三井印 嶋屋庄右エ門殿	在生津 北風荘右エ門
419	正月6日	年始賀状及大阪表ヨリ通表及新商値段表等引札 包紙共4枚及 伊達林右エ門宛 封筒ノ	江差 鉄屋次右エ門殿	北風荘右エ門
420	明治11年1月14日 引札第①	大津出引札及年始状(ウラ) 木版 封筒入	福山 伊達林次郎殿	敦賀屋市次郎
421	〃 11年1月14日 引札第②	大津出引札及年始等 (16.4×26.2(m)) 上上 封筒入	伊達治左エ殿	敦賀屋市次郎
422	〃 11年1月14日 引札第③	新改賀状及引札 (〃〃) 三ヒ 封筒入	伊達儀作殿	敦賀屋市次郎
423	明治11年寅1月2日 引札第一④	引札 (封も切つて無い) 封筒入	伊達林右エ門殿	秋田港 鹽飽弥七エ門
424	1月17日 引札第⑤	賀状及相撲表 封筒入 (これも未開封であつた)	伊達林右エ門殿	新潟港大川前通陽町 石山寺 許手

この引札第には No 273 以下 285 までが1束になつて居たと思われるがくずれて居た。この3通が同一年のものであるか不明であるか同一束として採つて置く。又284, 285等の如き新と旧暦の両にらし両方の效果をねらつてわざと後く出したものかもしれない。

425 1月20日 引札袋 ⑥	年始状及引札 封筒入 (15.6×40.4cm)	伊達林右エ門殿	酒田港 大泉屋次郎
426 明治11年1月	三上伊七、柚原内屋治右エ吉と、滝蔵、繁々、留右郎、三四郎等ニて 当年ニて廃止之諸品其割永代人事之助及留吉外三ケ所ニ有之もの ニついての話旨い 覚 中断紙片 理由、話論 不明 (34cm)		
427 明治11年1月	柚原より伊達への取引定書 (17×23cm)	× 印治	(柚) 店
428 明治11年1月	伊達家改革に付年賦返却御請済證 (10丁袋入)	伊達林右エ門 支配人 渡辺繁々	
429 明治11年1月23日	年賀状及物価表 (引札) 封筒入(16.1×47cm)	伊達林右エ門殿	仮木港船問屋 瀬井能三
430 明治11年1月29日	番船長便丸入り場所出船何時にても 引渡可申、荷物には致す間敷事の差書 (包紙入証界紙)	× 印治	仮林伊右エ門 証人 三上伊七
431 明治11年2月22日	旅宿より帰りは福島村より山道深雪にて難渋を極め帰り午后4時に 当着止宿致し候	宿泊人 上野滝右衛門 福島村戸屋内抜村ヨリ若湯ノ原 旅人宿 能登屋重太郎	
432 明治11寅年 2月	川岸義十郎に関る綿屋治三郎への綿繰代旧債の件、上野滝蔵、 貸遣す手形400円の内200円未払に付当治ヨリ引合有、繁々支 払を断りつけたる事への一件書類 3 (1) 明治9子年1月 綿屋治三郎よりの請取記 (31cm) (2) 7仮、巳年 義十郎への商帳面風定 (60cm) (3) 明治11寅2月 内容理由表記 白紙ノ		
433 明治11年 3月11日 3月23日	山本久右エ門ヨリ旧債計算表(5丈2cm) 山本平三郎よりの電報通達表	伊達林右エ門 代 渡辺繁々	
434 明治11年4月5日	3月30日三光丸にて本帆・5日毒着届 日野林一行は途中時化にて高救浦 在機帆よし将基さしの様子、福浦船着之事、其他の消息、荷運丸はすでに陸 モ着の模様・滋南屋一件への書状 他こまごまと書状にて注意 封筒入(青仮罫紙書筒 5丈cm)		
435 5月2日	3月29日出財産調・通表調度取・福山酢模桝渡承外内記追記(2枚(ml) 酢造の委細相知不申事故ニ置きたる件、又日野林、塩もにておきサ本と上機帆にて 御廻生の様子等ニ報知の書筒 (5cm) 他通うら、 封筒ノ、 福山宿主所 上野滝造林 塩モ方 繁々		

436	明治11年5月22日	4月8日後の堤を雖不通通雖も勉力中一反男繁松殿牧方に警人堤を以て偖偖を招きニ至なれど奔流にて流舩を49日逆流引ニ七（148.7cm）2引ハ通り難渋仕ることと（24.5cm）	留主居所 上野滝蔵扨	堤を治（警々）
437	8月3日	定吉殿との話合にて175両受取堤毛治の請拂の事、秋味加直段の色々ある時又の名出ず）札幌一小樽内馬車直開通の見通し等に。 封筒入赤野便箋 3通 ①50cm ②65cm ③10.4cm		
438	明治11年8月23日	福山留主居所と堤毛治との情況打合せ及人物登用話合せ書筒（206.7cm）と 仝8月26日ハ漆断片（43.3cm）他二片 及包紙共（8月の堤毛の天候表あり）（以上は林右仁門堤を滞在中なり）	留主居所 上野滝蔵殿	堤毛治（警々）印
439	明治11年8月28日	鮭通準備仕入情況他報告書筒 包紙共（58.7cm）	留主居所治 上野滝蔵扨	手違堤毛治（警）
440	明治11年9月7日	林右仁門堤を滞在中の一切貸借、支払、商売等の指図を請ケ警々（芳丸）が代って書き送つたもの（封筒共 136.3cm）	上野滝蔵扨	X丁堤毛治
441	明治11年10月2日	一、堤毛鮭前模様より好通期待（38cm） 一、勇太郎殿彰太郎との話合につき秋中には警々参上治合い可仕云々 封筒入（54.3cm）	上野滝蔵扨	堤毛治（警々）
442	明治11年12月11日	金5円也 12年1月～12月分 新聞代 野積共 （朝野新聞 明治7年創刊 社長主幹 成島柳北）	堤毛郡堤毛社 手違林右仁門殿	朝野新聞社
443	明治12年1月より 〃 16年8月21日迄	調印扣	半紙60丁前後 表紙共	小樽山ノ上町 手違林右仁門
444	明治12年1月	明治8亥年6月31日付第ノ42806号の7号也 仝年約定金の内の3分代金許清吉證書に基き亡年より向20ケ年賦売入證文之事（48.7cm）	和田久太仁門殿	手違林右仁門 代渡辺藤々
445	12年3月31日	番船長運丸福山より堤毛迎取中滞入用覚（記入ニ枚）	立花官戸扣	
446	明治12年3月27日	① 金沢八三郎を相手取り大槻藤右仁門借財訴訟不可解ニ付此上は期日迄に午日賦50円宛持参の事（31cm） ② 堤毛への番船届不為思件、及風泊悪く旦那好屋船の比他（12.5cm） 〃 30日は ① 金沢一件証書金次宛書送候他ニ々（32.3cm） ② 金沢八三郎宛 共丸、上野連印 4957号の借受證書写（13.3cm） （以上々帳同封）	上野滝蔵扨	小樽問屋にて渡辺藤々
447	12年4月17日	証拠書類書出件名目録（記） 破損甚し淡青色便箋（33cm）	金沢八三郎様	

No. 37

44年 明治10年5月16日	小樽山上町3番地に於て渡辺勇次郎より商業店舗の儀林松江門譲受約定書 證書用紙3枚（印紙入）	伊達林松江門	渡辺勇次
45年 明治10年5月6月支払記	1束3枚		
3月27日	すだれ代 9枚 2円45銭 記	津軽三厩	○○
5月9日	1円68銭 観音例祭お酒代 記	北野啓二	
12年5月1日	35円93銭3厘 分賀売引金収納記	天堀場毛	伊藤清七衛門
5月19日	4円48銭 外割白味代支払 記	堀毛柳平次町	(と) 小林治
6月7日	40銭 線香代	上宮毛稲荷町	(イ) 治
6月13日	1円37銭 八百屋物代		〆治 大田
12年5月30日	109円53銭3厘 秋田白米 1俵 9円90銭記		(と) 小林治
6月	18円72銭 酢 上納書記 入		
45? ?	7月12日 五三郎殿 半にて待受られ候間至急川岸庄助出向秋落之書面 （15.5×9.3(in)	上野村	西村治三郎
45 明治12年7月22日	小樽事件計算書 明治11,12年 封筒入3枚 小紙片共		
45? 明治12年9月7日	岡田通表の中 半申送り 記 （半紙横二つ折 1枚）	堀毛	小樽
		大坪治	中村商治
45? 明治12年9月23日	古帳簿1本30円にて買入置候 （封筒入）	伊達伊治	岡田傳五郎 代 西田竹次郎(印) 保證人 マスヤ 弘瀬福吉
45? 明治12年9月23日	猶之助自前で商売したいので治を通めさせてほしいとの辞表 （半紙 1）	伊達伊治	木本成三
45? 明治12年9月-10月	古諸道具調帳 横1丁1枚		伊達
45? 明治12年11月19日	金96円也 祖父川岸左兵衛永勤仕別段手当残金受取證 （16×28.6(in) 収入証印付	林松江門代	菱屋殿 川岸利三郎
45? 明治12年12月17日	金120円也 三井為替手形 久田ニて書造候 (封筒入) （紅色書簡紙ニて26.3(in)	伊達旦那様	芳光菱屋
○ 45? 明治13年1月22日	金2,568円88銭9厘 (郡下さいたるもの) 通詞詰合所よりの預受代 明治9年より9ケ年賦上納方仕申候の処上納方目当相立ず更に15ケ年賦方若くハ他の方法方目途相立迄明まで證書上納延期願 堀毛柳平次 縣武雄 署印 南部大書記官 調所広丈殿 (猶稚記)		
45? 明治13年2月25日	堀毛場所(畑)と三井物産との関係如何を問合せ書簡草稿 ゟう書（横古事件手仕状半紙書ニて五々）	能登正吉様	開地

460	明治13年3月31日	金70銭 柿本香水 1本代	X印印紙 小樽 佐野治
461	明治13年4月中	書状入と記入の封筒の中の15通	
	末4月	金3銭	(上)
	〃	金7銭	柾ふさ代 本
	4月30日	金5円36銭	米代他 小樽
	〃	金40銭	太根他 区 笹谷川八百屋
	4月	金80銭	菓子パン (い) 千秋庵
		金26銭	竹たこヤク他 サ
	4月詰	金1円28銭1厘	判棒メリヤス他 个
	〃	金26銭	白砂糖他 (二)
	4月29日	金60銭	魁陽亭
	4月	金90銭	引治(赤色)
	〃	金26銭	画館新ぶん13枚 小樽港 十
	4月15日	金32銭	桐足駄他 太松吉太加工門
	4月	金1円29銭8厘	雑貨と称せられるもの取合 (30.5CM) (サ) 治
	4月29日	金1円22銭5厘	白足袋、羽織紐他 (32.5CM) 忠 治
462	13年5月8日	受取帳のホゴし 後で判取帳と呼ばれた形式	
463	明治13年 9月13日	金131円25銭	明治5年8月拝借金1,135円84年賦 皆済方の
		金75円	金702円52銭1厘方 〃 (二)
		上記に上納仕	目 証票 (2枚にて)
		内務大書記官 調所廣丈殿	伺 壱株右仁門
			代 20屋常治(印)
464	明治14年1月22日	金20円也	領収書 X印 佐治中村 垣 原
465	明治14年6月10日	壱株右仁門殿 小紙包1個一牙丸製之事	届り状之事
		(地券用紙1枚)	小樽勝内町 桂基四郎村 函館大町 山本和三郎
466	午(15) 2月28日	月末書出メ 一束封な	
	2月メ	金11円72銭9厘	化粧品他 (76CM) (コ) 治
	午2月	金319円38銭4厘	羊羹ヤラン?他 小 治
	〃	42銭	ようぎニま1他 个 二
	2月詰	1967銭5厘	腰元一腰他 (公) ヤロい?
	2月20日	36銭2厘	ボタン 食持治
	2月21日	34銭	手拭 ヤり紙 个
	2月26日	64銭	鳥、牛肉 刃
	3月末日	48銭	天笠他 場切 (二) 大掲屋
	2月28日	71銭5厘	(サ)
	2月	2円59銭5厘	香油、外 个 支治
	〃	85銭	白油 壱樽 (大)
	〃	17銭5厘	刃 治

南部杉山資料（No.461より）

No. 39

〃	24束 新聞306号迄	2ヶ所	十
2月28日	1048束 八百尾もつ払		五
2月28日	金1178束 白米 他		(本)
2月	1481束 小内物・綿 メリヤス他		弐
〃	97束5重 石油代		万 拾
〃	93束 菓子類パン他		(八)
〃	1149束 かつ節 白砂糖他		(二)
		×19通	

No.467 明治15年10月26日 留崩・増毛駅預受について 及水産伝覧会出品費用等至急には主管方
保証書商 及通信料5円送金の追伴
（封筒並 30.7cm 他） 伊達林右エ門作 増毛栖原治

No.468 明治15年12月13日 水産伝覧会出品物受取証 札幌縣水産博覧会
委員 内村鑑三 (印)

No.469 明治15年12月付袋 南部杉山資料入袋（以降南部杉山資料と記別No.なし）
南部杉山資料① 下北半島脇之沢杉山官林所有地下正書、依拠書、図面(4)山林
預り手入模帳 他始末書類等 一括

No.470 南部杉山資料② 享和癸亥三年5月山林譲渡證文写 松尾判治エ門殿 伊達林右エ門
之上 預り主山林之事 伊達林右エ門殿 松尾判治エ門
脇之沢人組連印證文 （二枚×106.7cm）

No.471 南部杉山資料は 渡り向杉山之絵図 彩色 No.327の附図①
②－1 （47.1×68.5cm）

No.472 南部杉山資料は 家之上杉山之絵図 〃 No.327の附図②
②－2 （47.1×68.5cm）

No.473 享和3年亥5月6日 松前旦那之林預り証文（5丁横） 松屋英治エ門
（1803） 明和6丑年～明治15年迄 殖林記録 宇藏
南部杉山資料③ （1769）－（1882）

No.474 南部杉山資料④ 下北郡脇野沢村南部渡り向杉山の図
和紙貼り合壹一包（54.5cm×77cm）

No.475 南部杉山資料⑤ 下北郡脇野沢村 南部渡り向杉山見取絵図
杉の大さ及樹木数調査頂と思われる（24.4×34cm）

No.476 明治15年11月27日 享和年中より預り居候之林山二ヶ所為代に取りし為不明目録にて自儘
南部杉山資料⑥ の振舞多かりし為の人を聞に立ての詫証書（3枚綴り）
（袋の内で更に包紙でくるまれて居る分） 詫間治作他5名組印 吉田未藏
吉田治作他5人組が連印で作達証に差入れた物

477	明治15年11月27日 南部杉山資料 ②	金850円也　借用年賦證書 脇之沢西杉立林預り証候処 教代前よりにて予明勝手よって自儘に売却こたる事相分の証拠写更証なく代金にて支払可仕云々の證書 手紙3枚3封	借用人 伊達林右仁門殿 〃 片桐市作殿	吉田未藏 吉田治作 川崎清次 黒沼豊吉
478	明治16年5月17日 南部杉山資料 ⑧	同一面にて2人に発せしもの（16.3×5.4cm） （前半）杉林代金年賦50両中村豊吉殿より手形受取 ㋐治山幸和三郎殿へ払込納下渡候 （後半）右吉田未藏よりの年賦金受取領収証書出置納下渡候	吉田未藏殿 山幸和三郎殿	伊達林右仁門 片桐市作 片桐市作
479	明治16年11月27日 南部杉山資料 ⑨	貴治の揚ケ金木品代片桐市作称完為替手形取組候ニ付宜敷御頼申上候 云々 （手紙1枚）室	中村豊吉殿	吉田未藏 ㊞
480	明治16年12月15日 南部杉山資料 ⑩	南部脇野沢吉田未藏よりの年賦金届分40円御届申候（5.5cm） 右正に40円入重引は猶預願書筒（7.6cm） （以上2通同一封筒入）	山幸和三郎殿 伊達林右仁門殿 吉田未藏	
481	9月14日 南部杉山資料 ⑪	證書面 證人下服も有之候人ハ云々他若し売船の話合不調に相成候ハバ啓運丸の儀は御引渡可申上 為に（封筒入 42cm）	伊達林右仁門様 吉田未藏	
482	11月27日	吉田未藏殿病気全癒不申候間 猶島豊吉殿 吉田との相證印不同意なる為め許の遣倍仕候 云々書筒（封書共 10.8cm）	伊達御隠居様 旦那殿	下北郡脇野沢村川岸大吉様方 渡辺勇吉
483	明治19年9月24日－25日 南部杉山資料 ⑫	加藤本人之證面を以れ書類皆送り返すとの電報 地	吉田未藏 宛	伊達林右仁門
484	明治19年9月29日 南部杉山資料 ⑬	① 借金念證 125円 借用中30円返済残金95円之内に分け返済可致には本証は所有船啓運丸返済には抵当書被渡候を以て手紙 伊達林右仁門殿 保証人 青森県下北郡脇ノ沢 川岸大吉 〃 〃 吉田未藏 （手紙1枚） 借用人 〃 加藤清吉 ② 覚書 金850円 古証文1通 同封内にあり 金95円 借用証書1 金125円 抵当は借用証の分1 ナシ 船具7個 1 ×4通		
485	11月29日 南部杉山資料 ⑭	吉田を通じて杉山立林取戻しの件相整候次第なれど此度の如き運びと相成り彼を潰となす共無益の事と被存、何とか書処の証を云々書筒。		

（No 487）に南部杉山資料終り

		封筒入（48cm）	佐隈居作	川岸利三郎
486	12月治21年2月12	吉田未蔵よりの年賦金借受勧解申請ニ付之書面		
	南部杉山資料(15)	代人下次　申込之枚数　〃		
		乗仕牧　〃	川岸利三郎殿	伊達林右衛門
487	3月30日	手船奨励丸に就イ之、兼之御願り申候 吉田未蔵分金吹二付		
	南部杉山資料(16)	仲金書類一先返却可申上候之処 他書箇（89cm）		
			伊達御出役	川岸利三郎

488 明治16年2月17日 函館県士族 飯塚清胖金銭公債 函館県書記官
500円券 内弐号4659番 写済の為印鑑届 有竹拓殿 伊達のぶ
（2通）

489 明治16年2月17日 金禄公債証書 売受の為 印鑑証明届（2枚綴2組）
函館県令代 属 木村殿 小川之承

490 明治16年2月17日 金禄公債証書 500円券1枚（250円ニ2）売渡証文1通
伊達のぶ殿 飯塚清胖

491 明治16年5月18日 金60束 志友会5月分会ニ収受
志友会幹事 藤井
19日 金9円00厘来ル12 ビール48本 札幌気車場持込 記
〆2枚 伊達林右 一まつ

492 明治16年7月17日 福島信夫習の模様、失火ニて全焼せりとの報告、当所ヨリ又は十勝へ出張の世話等依頼書（200cm）（封筒共）
林右衛門牧 山崎安三

493 明治17年12月24日 生家よりの書箇 封筒共
伊達林右衛門殿
きみとの 山崎虎助

494 明治17年1月より18年2月16日まで 金員収証 綴り順にて 10枚
1. 明治18年1月9日 金11円也 しボリ玉4分 〃 酢屋 香勝清兵衛
2. 18年2月16日 金15円也 米形繰出し手間 寫真新報本局 朝陽社
3. 18年1月4日 〆24円24束 15円受取 寫真部品他 本町二丁目 漆沼康吉
4. 17年8月24日 〆金8円15束 寫真材料 他 漆沼康吉
5. 2月16日 〆4円59束 部品材料 他 漆沼康吉
6. 17年2月17日 金1円83束 寫真機械、薬品他 朝陽社
7. 3月13日 2円95束 寫真代 万屋新造
8. 〃1月 金2円75束 寫真板代 万屋新造
9. 18年1月24日 金10円也 受収證 漆沼康吉
10. 2月5日 金5円01束5厘 〃 日丰校 白木屋

495 明治18年1月15日より2月金収證綴り 8枚

明治18年1月15日 経卅8部 定価金5束 金収書 } 柳原屋板元印
〃 〃 8冊代 1円88銭頂収証
明治18年1月28日 金7円40束 画箱代 金収証 佐久間
〃 77束 〃 田中屋
〃 1月31日 52束 1斗3合 〃 牧牛会社
〃 2月3日 16束 指輪他 〃 フクヤマ 竹岡屋
2月7日 金1円40束 筆代 〃 猪 店
18年2月 金1円20束 函館新聞 頂収証
1092号-1156号迄 刊

496 明治18年2月13日 増家総代館林和吉より右方下可能にな 売殿上京中上納金30円持之答商
御合好が芝陽封筒 住圓醗厳殿御同道ノ事回被下度
為御知状（封筒共 61.7cm） 伊達林右門殿
福島院 増家総代

497 明治18年4月12日 伊達寫真店（福山牧西館）新築見積書
（罫ラ1枚）

498 明治18年4月23日 推薦訪門後症気に取り附注文物未だ下調品物明日調達可致
他机上に設建を取急ぎたる件他 たみ(娘)をよろしく等々書商
青色書簡紙 45cm 封筒共 伊達旦那様 芳丸愛々

499 明治18年4月30日 時候挨拶と流行性感冒に罹りたる報告
（封筒入 129.5cm） 御国枝 小樽花園町 舎福多満

500 明治18年5月26日 建家代金（松西館）請取証、伊達物右 森金作

501 明治18年4.5 金収 領収 14通 文物右
〃 4月2日 金5円60束 菓子料代 頂収証 大森堂
4月19日 60束 木かん 〃 岩岡作助力
4月30日 1円40束 〃 ニ
明治18年 4月30日 2円69束 石膏酸銀 他 〃 鰯屋箱館支店
5月1日 金 80束5厘 手間賃 〃 酒井孝右衛
明治18年 5月7日 書状 壱通 〃 鰯屋函館支店
〃 1円68束 色硝子他 〃 （奥村様） 森洋品店 渡辺熊四郎
5月9日 40束 白洋紙 30枚 〃 松前清津内 田中屋
明治18年 5月9日 48束 〃 36枚 〃 〃 田中屋
5月9日 1円70束 頂収証 ハコダテ 分 酒栄
〃 1円70束の件取調差引勘定仕書 弁
〃 1円27束5厘 美濃石筆子15枚 〃 松前 刊 店
明治18年 5月12日 1円68束 色ガラス代 〃 小松前 奥村様太郎支店
5月 40束 運賃他 〃 函館 芦野屋
18年5月18日 60束 請取書 刊 店
5月15日 16束 〃 田中屋

No. 43

402	明治18年 西	領収書数	通		
	5月31	金1円70銭	羽前大山酒 泉州代	渡辺好	庖代 猪股治郎
	5月12日	金1円20銭	石炭子戸板戸代金収書	西宮官町 上林	風 旧
	5月21日	金 46銭	運賃	伊達林	能 杉
	○月 7日	金1円65銭	白蘭㊋ 清酒壱樽	〃	飯塚屋
	明治18年 7月	43銭	アルコール 〃	〃	奥村
	西 8月	金4円50銭	木下林 入用	〃	菱屋
	9月30日	金1円65銭	泉州壱樽	笹森乙五郎代	猪股治三郎
	18年12月5日	金2円35銭	金の弦印 大山酒 〃 樽	西宮官町 上林	小松前町 飯塚松右衛門
403	8月26日	(松)との約定改正の草稿の件他書面		封筒入 (26.2cm)	
		二信「沢村田之助」通誼興行主地		伊達旦那林	連判(芳丸)
404	〃	写真器及写真を陳列せる時の説明書			
		1通付、会場 7月 5枚			
405	8月20日	注文品積送書 (16×18.5cm)		松西誼林	通誼 いわしや支店
406	明治18年閏4月	一8月迄 伊達松西誼宛	欽収証綴	1冊	
		1〆5求	欽収記		芳丸印
	4月23日	金4円50銭	種板他	葛地行 嶋田隋時宛	朝陽社
	明治18年4月29日	75銭		嶋田宛	沈石輝吉
	〃	金1円25銭	写真器 500枚		酢屋清左衛
	18年4月30日	金3円75銭	㊎卵紙 50束	嶋田林	朝陽社
	4月30日	金7円25銭	硝子板大小 600枚也	〃	万屋新吉
	5月20日	56銭	葉書ニ〆 他	(芳丸宛)	玉島町 野田
	5月23日	〆金3円60銭	手代 カビ手 他		台紙会社
	5月30日	金6円也	雛仙人丈七尺代	西宮官大町 ㊆平塚支店	
	明治18年6月20日	金8円75銭	写真試脚外遂ノ芝代	嶋田林	芝琴平 木下源之助
	6月22日	金上入箱 壱枚	金13銭也		箱屋
	6月30日	金5円05銭	台紙150枚	嶋田林	薄紙会社
	18年7月13日	金4円也		(芳丸宛)	朝陽社
	7月21日	金6円35銭	台紙500枚	(〃)	薄紙会社
	18年7月26日	金7円75銭	㊎パセール	(〃)	朝陽社
	〃 8月27日	金36銭	画学紙他		西誼 駸々文社
	明治18年8月23日	金1円20銭	台紙EP刷代	(松西宮宛) 車夫	一新屋
		金21円也	乾板数	(〃芳丸宛)	麹町平川町
					周山堂 吉田栄之助
407		明治18年久8月分領収証綴		1〃枚	
	7月24日	8月8日領収 写真引伸台500枚金2円50銭也			岡田活版所
	7月30日	金1円58銭 大山酒代領収証			前川屋
	明治18年 8月12日	金 40銭	東京区内荷物運賃 領収証		大国薬店
	8月27日	金2円05銭	〃		大金滝店
	18年 8月29日	金1円25銭	地代金4ヶ月分 〃		下関

	8月30日	金1円70銭	木本桂園合計収証	サトウヤ支店
	8月30日	金1円18銭	〃	新鮮亭
	8月	38銭	手拭ノキセル 〃	〃
	同 8月	金3円40銭	料理代及芸妓3 〃	サトウヤ支店
	18年 8月	10銭	〃	奥村
	8月17日	電報案文及書留郵便	〃	
50号	西 8月	領収証	6枚	
	8月31日	金35銭	領収証	下原本
	8月30日	金80銭	〃	可庄内屋
	8月	6銭	〃	玉貝屋
	西 8月30日	37銭5厘	〃	森
	西 8月	24銭	〃	森
	西 11月14日	金3円35銭	大山酒ノ 〃	飯塚松右郎
51号	明治18年9.10月分	領収證	9枚	
	18年 9月30日	金41銭6厘	小間物代 領収證	松浦大治
	10月9日	金40銭	〃	金木屋
	10月21日	金12銭	〃	假治転 吉田
	〃	竹枝	20本	関東屋
	10月	30銭	〃	置屋
	11月26日	金1円30銭	シャツ1枚 〃	今 今井桃江門
	〃	金1円30銭	ゴム半省ノ 〃	今 〃
	11月10日	塩引3本	〃	高橋兵吉
	10月	郵便物請取証	2通	
52	明治18年10月19日	風呂釜と象牙のヒシヤクを買ひとること、日本にて写真と4枚取りたること、色黒く印度の国土の如く見ゆること、帰るまでに少しづゝ身体を丈夫に直すこと等に書簡（封筒入145㎜）		伊達紋平太 伊達領記
53	日付ナシ	明治18年10月19日附にて地券4枚松岡氏と読合せ封印して三井物産に預け預り證受取り御送り申上候旨の書簡 封筒名宛ナシ 前後不備		
54	明治18年12月10日	約束の150円郵便為替5枚にて御送申上候事、三井物産へ地券4枚の預り證書すでに御入手に有之べく候（64cm）	伊達旦那様	芳丸拝々
55	明治18.19年	松岡確 南治時の領収証取纏袋ノ中味は次の二通のみ。		
	戌1月	金3円30銭	一部入用記 領収の書有	菱屋
	19年8月8日	金1円25銭	させる2本代 領収記	岡本清三郎
56	明治19年1月18日	18日は封筒入の分 一の包紙入×5束		
	明治12年10月31日	金5.222円53銭7厘	通帳風呂金領収記	西谷久治
	12年11月6日	×48円50銭	領収書	八谷理兵衛
	明治12年11月13日	金75円15銭	場毛行雑費領収記	網野多助代 本多平三郎

No. 45

	明治12年11月14日 (金25円也) 大蔵省印刷局製造ノ収入印紙ヲ以テ納付 上野滝蔵・金沢八二郎 代 滝蔵 (この4葉5枚 No 509の封筒に同入)			
510	明治19年1月18日付 封筒入の分 (2)			
	(1) 明治13年より仝18年迄 金子渡 書引帳尻調(4枚便) 西鍵 栃原治 此ニ19年1月まで 挿入小片 入出メモ (16.3×9.5cm)			
	(2) 計算上證文書ト候間物一揃ノ上可然御頂上候 (5cm) 芽丸オヤ 林九郎印			
	(3) 18ヶ月17日付 芽丸 愛々滞在届 松前郡役所 小野寺喜一殿 伊達林九郎印			
511	明治19年2月18日 三井物産より地券取戻シ4枚書留便ニて差し遣り候(栃)ヒもの とか取ッ つくろい申候 委細は面談の上にて (実濃罫ノ他油小片 生雲)	伊達旦那様	芽丸 愛々	
512	明治19年3月12日 (1) 佐左衛門外2名他4名の受取判子(栃)より入金違約ニ付断ク入金の件及 御眞現像薬材取調ニ付証拠書類差出候書面 (63.3cm) (2) 小遣30円差遣り候 追信 (25cm) 封筒入	伊達旦那様	芽丸 愛々	
513	明治19年4月11日 堺毛船改所分割金1,000円(栃)ニ支払ニ支払ヒ、取引書取戻ス打合せ並ニ森 手代言人より証券100円ニて買戻シ書面 (封筒入 162.3cm 他断片)	伊達旦那様	生雄 冊	
514	明治19年5月7日 (栃)—(4)	(No 513、514、515の3通は1束)		
		5月5日 確定帆切手消先ニて6日仲等着の福望丸ニて行ク之時 堺毛着 直ちに(3)旦那ニ面会詰合進め8日新地参入手、他建物等ニても打合 書面 本罫薄葉紙 (108cm)	伊達旦那様	愛々
515	明治19年7月15日 (栃)—(1)	7月3日 福山出立後室蘭白老廻リ15日仲等着ノ待の川山高船ニて 10日ニて七重ヘ出立可致候云々 赤色書簡紙 (24.4cm) 封筒入 (三上為蔵ヲの上柿ニ)	上野滝蔵様	滝辺愛キ
516	明治19年7月20日 (栃)—(2)	北海道伊達家ヒ"偏願ニより郵書逓リ候との書書 已往出	伊達林九郎様	函売築地ノの上 芽丸キヤ
517	明治19年10月1日 (栃)—(3)	(栃)より60円ノ入金郵便為替ニて送金、尚何彼と段ゲヤリニて行後の程不安た 思われる事他 赤色書簡紙 (61cm)	伊達旦那様	愛キ
518	明治19年 8月20日	函売大阪ニテ流行の虎ト、又激暑を避ケ2神田明神山内掛茶屋の泊入 川情報告 8月11日登札後発船に伴い栃条との交渉或ハ又それぐの商法 の違い等他 (249cm) 追書 (12.5cm) 封筒入	伊達旦那様	芽丸 愛々
519	明治19年9月8日	早取室蘭板返品ノ件、東京ニテ日々増加、伊太利亜曲馬団珍敷く大ニ		

		ぎわいの杵子寺報知0（170.5cm、紅色書簡紙封筒入）		
		追伸 司牧状（12.4cm）	伊達林右仁内杵	芳丸 菱々
525	明治19年 9月22日	110産物会所拝借金3ヶ年据置22年より26年まで5ヶ年々賦にて上納決定の件他㊁との契約 報告（紅色141cm）封筒入		
			伊達林右仁内杵	芳丸 菱々
526	明治19年9月29日	㊁深家との年賦返金の件他紅色書簡紙（128cm）頃9月17日付芳丸宛片桐よりの書簡 封筒入（95cm）	伊達林右仁内杵	芳丸 菱々
527	11月15日	㊁屋右計算書①は抵当取調決算を入れたもの ②は㊁より被遣た2枚の仕切書（私の押印せるもの2通）大至急一此冊にて返却致候間此2枚は絶対他見無用に取扱候こと 封筒入（60cm木之杵に挟して）	伊達林右仁内杵子	芳丸 菱々
528	明治19年12月15日	13日玉浦丸にて肩通、宋湊町和田に投宿、㊁との交渉に這入り候情況 後日復郵便にて御報告云々 封筒共（紅色56.5cm）	伊達林右仁内殿	霧島屋 和田方 芳丸 キ々
529	明治19年12月20日	明21日便より高砂丸出帆＝付御隠居様・おぬい様 御預ケ金利子110円の内80円＝井銀ガ=て差送り、30円は私着京の上御返金可申上く、その金は㊁より私方へ支払せ可申候 云々（青色54.7cm）書留封筒入		
			伊達林右仁内杵	芳丸 菱々
530	明治19年戌	領収証綴り ① 18枚		笹森702番
	1月30日	金2円36銭 大山酒1樽代		代 猪股治三郎
	2月15日	20銭		山田屋
	明治19年戌3月24日	金2円50銭 上等古大山酒1樽		飯塚
	戌4月19日	金1円35銭 直シ酒 1ダル		飯塚
	5月分	30銭		金
	19年5月 7日	並1円35銭 坂の井直シ 1ダル		飯塚
	戌8月31日	金2円也		㊁
	戌8月31日	並1円65銭 白菊直シ 1ダル		飯塚
	9月4日	14銭5厘 紙代		㊐ 佐藤屋
	19年戌9月6日	並1円75銭 古直シ 1ダル		飯塚
	10月11日	金 50銭 仕立代		㊊ 仕立屋
		差2円81銭 全領収記		㊍ 板吉
	明治19年9月11日	東京芳丸より、行 書留郵便物請取證		
531	明治19年戌	領収証 綴り ② 16枚		
	戌1月	金40銭		森 金作
	〃	金1円75銭 障子代他		〃
	戌1月29日	金4円15銭	全領収證	〃
	19年2月17日	金2円50銭 大山酒1		飯塚屋
	4月2日	金1円24銭 他4枚 領収		森 森金

	6月30日 金3円86銭7厘 材料代領収証		森 印
	明治19年8月6日 書留郵便物請取証 いわしや宛		
	19年8月16日 金2円70銭 いわしや宛 郵便為替券		松迎誼
	10月 金2円33銭、材料代及細工代		森 印
	19年12月18日 金2円90銭 茶枝八付料理代（芽丸宛）		佐渡屋
	〃 金 領収証（〃）		〃
	戌7月14日 金1円60銭 岩の井酒八樽代		飯塚屋
35	明治20年1月10日 年始詞 他用ニ付31日付(極)ノ金子用取引不為思他(14.2cm)郵便ニ250円及奥状方ノ30円仕送リ申上ル注意ニ(3cm)（淡青色書簡紙他4枚）		
	（封筒入書留）	伊達林右エ門様	芽丸菱々
36	20年1月10日 昨年暮ノ参堂ニハ種々御世話頂キ乍ラ年末ノ忙ガラ御要件申上候他云々（年始奥同ナシ艶書簡紙 5.5×2cm、封筒入）		
		おさみ様 おぬい様	キヽ（菱々）
37	明治20年1月27日 年頭賀詞 代筆 貫蔵 封筒入	伊達林右エ門様	山崎良助
	年頭挨拶状 (二) ×紙片5	〃	山崎栄造より
38	明治20年2月5日 金68銭 宝塔用品代 領収証	松迎誼御中	亀吉 いわしや支店
	〃 2月20日 松迎誼ヨリ封書壱通領収ノ件	滝本様	〃
39	明治20年3月9日 扇面賜時、日本橋ニテ写真治衛業（4ツ折1枚同封）金庫運ビの件及(極)との文字の件ヲ（淡水色書簡紙 5.5×6cm 封筒入）		
		伊達旦那様	芽丸菱々
40	明治20年4月16日 4月10日薙蔵死去ニ対スル弔辞及芽丸風邪凌ノ快方ニ向イ5月上旬ハ北海道下向ノ事 後レテイル写真屋仮急ニテ出荷サレタル事、封筒入(3.4×6cm)（林右エ門潟山ニテ写真治衛業ノ状況及吉田屋より四ツ切拝写送リ出シタリとの端書同封ヨリ。	伊達林右エ門様	芽丸キヤ。
41	20年4月23日 気候伺ニ及商談言ニ他御伝言ノ書面封筒入 9.8cm）	伊達林右エ門様	芽丸菱々
42	明治20年 金領収書正		
	明治20年3月5日 金8円50銭 大阪干鮭酒ノ		分 山田
	3月30日 金1円69銭 板材他細工		森
	11月22日 金14円 大坂酒2樽		司
	20年11月19日 金1円50銭 原版書筆耕代		中畝 利作
43	明治20年7月5日 遣徳山長泉寺への永籍田地及宇節津山林の寄附年月御気の毒ニ存ズ古文書中には見当リ不申此段ハ悪悟了承下サレ度云々 書簡包紙共	芽丸菱々殿	三木卯右エ門
44	明治20年7月5日 長泉寺伊達家よりの寄附田地及山林調及壇家総代ト伊達家		

No. 48

	との契約書（大封紙3枚綴り） 封入 山崎喜助殿宛		山崎村 三木郎右エ門
543	明治20年7月23日	伊達林右エ門（加代）の出身地外及菅泉寺寄附地等々の報告	芳丸愛々拝 山崎喜助
543	10月28日	御来宅中は誠に疎略申上、申訳無之、高湯場よりの書面には未程の云迫りたる様子も無之故、壱中御心安く御帰宅の程欣い居申候（封筒入 5.3cm）	伊達林右エ門、壬沢八之助・吉田伊三郎 拝 山崎喜助
544	明治20年12月3日	注文の品々差送り候事 風郵永がりに手数の件 栃帰との情況他情勢報告（100.7cm）松西誼主人への添書（33.6cm）	封筒入 淡青色書簡紙 伊達旦那様 芳丸愛々
545	明治20年12月24日	伊達家立直しの義及伊達刻復暦の件他中尚保蔵に於る事由等々在状或は家令との懇情書簡（100cm）	伊達翁記様 芳丸愛々
546	明治21年1月17日	昨年度より両婦人予て利息の約定による場所売買(畑)より入金無之不埒=付病気屋生国復次大函館へ下向始末仕べき書面	封筒入（62.7cm） 伊達旦那様 芳丸愛々
547	明治21年1月17日	基礎進行改正伊決無之候ても来暮の御国やっと見はて=つき御送申上候云々	封筒入 紅色書簡紙（16.7×30.6cm） 伊達維善 芳丸愛々
548	明治21年旧正月29日	祖先菩提の為菅泉寺へ寄附致され候土地600坪を明治9年地租改正に際し金二小作人名儀に改められしを今回又小作人より申出菅泉寺名儀に書替致し候又同跡に買上げられたる土地代金（60円余）も又地所に添え菅泉寺へ致し遣されき所在云々（135cm）封筒共書簡.	松前 伊達御のぶ様 函館縣亀代国伊達邸山崎様ご諸公の書他吉田善吉紀伴 ご書作
549	明治21年3月10日	帰京途中汽七四日市回り大神宮参拝の様子及30円為替送金他書留	封筒入（56.7cm） 伊達翁記様 芳丸愛々
550	21年7月10日	中手代鈴木清此方帰府の節バター缶鑵二とづけ候件他分家林右エ門和喜子云々の古来の由来他指事打合せ書簡	封筒入（46.5cm） 伊達旦那様 函館にて 睦舟
551	明治21年7月11日	戸籍謄証明依頼並養子云々書直されしか如何御左ら世話下度件	宇朝 栃原辰蔵様 玉泉より下向の挨拶 伊達旦那様 睦舟 封筒入（26.6cm）
552		仕切書 半紙横二つ折	川下智

5/4	頁債調　手紙様ニつ封	3丁	
5/5	明治21年8月12日	本月9日福山発　昨日神戸着ニつ遺物頒箱黒水引ニてお着手紙落手上。枚田・細畳両共ニも遺物大々喜上。龍本上さまには初対面故お緘状御答子などサラリと申上置候。いずれ委細は再後御招待の上申上候積り又写真場は拙者知家、御自宅はおぬい様知儀故、御都合に依り貴手の知家に改ることと可然と御考候　他書面(56cm)中島俊澄氏ヨリ託ス	手達翁記捺　　鑿々
5/6	明治21年8月26日	因田中氏より書面預り置被下度書面 封筒入（5cm）	手達翁記捺　芳丸鑿々
5/7	明治21年9月20日	明21日後改回り帰京並に於維新ヶ丘本邸へ延期申込取調の件に就ての書簡　封筒入（22.7cm）	手達翁記捺　上示前後　芳丸鑿々
5/8	21年9月24日	此湯元にて帰京の報告及書簡下足筆100円送金及近情並事務報告と兼而身体屋生の為湯治の件その向の手当手続等書簡 封筒入 64cm	手達旦那様　芳丸藷々
5/8	明治21年9月27日	金40参　6月より9月迄今受4ヶ月分　領収證	小井手達林右仁門殿　相前敬育会　星野村　酉蔵
〃	〃		手達龍子殿　〃
〃	〃		手達方　芳鑿々殿　〃
5/9	明治21年9月30日	幻燈購入費ニつ5円也寄附領収	松前教育会
5/10	10月23日	父親病気の件他近況報告書面 封筒入1/30(11cm)	若代福島西1丁目 手達林右仁門殿　山崎　英蔵
5/11	明治21年10月より	×金40円05銭　諸支拂×覚記	神田　堺屋常吉
	10月27日	×3円75銭　桐大鉢他　領収証	朝陽社
	10月30日	金1円30銭　日本乾板　〃	小西六右仁門
	明治21年10月30日	金2円50銭　トーマスコロデオン　〃	高橋栄輔
	21年10月31日	金1円85銭　〃	白木屋洋服店　江戸町上野　堺利彦　鳥之助
	10月30日	金1円27銭　洋服代　〃	
	15年10月30日	金　36銭　止宿料　〃	
5/12		明治21年領収証　11枚	
	明治21年4月16日	5銭　オ1号　領収證	綱塚忠左仁
	明治21年9月5日	金37銭　東京より荷物1運賃　〃	(平)　田澤治
	11月14日	金1円20銭　地位名刺代　〃	荻野伊介
	21年11月16日	金2円80銭　差引共　〃	高橋末治
	11月20日	金10円16銭也　〃　島田氏	下岡蓮杖
		65銭　杉板他　〃	建具屋定次郎
	明治21年11月30日	金6円50銭　〃	小西六右衛門
	21年12月1日	金1円05銭　松前ヨリ運賃	天野松太郎

	12月22日 金5円60銭 手札10ダース 到着		佐藤昌蔵
	明治21年10月24日 金1円30銭 手数料 〃		小西大右エ門
	21年12月25日 差引5円07銭3厘 〃		鞘町 吉田
5-63	松前伊達邸出入一件 (13) 慶安5壬子年(1600)2月4日より 明治14年辛巳(1880)5月31迄 伊達家ご先祖(松前)代々記 (仮名、印日)		
5-64	明治21年11月3日 旦那様御帰京中の模様及帰途10日までの報告旁よろしくとの挨拶状	伊達邸子供	宮城県 芽丸愛々
	松前伊達邸出入件(14) 封筒入 (4.2cm)		
5-65	明治21年12月10日 母堂様お縫物 (物) 預り金利息110円及2万円電報為替送り候	伊達旦那様	芽丸 陸奥
	外 皆々 (封筒入、33.3cm)		
5-66	明治21年12月15日 官有林払下御入札 ×金1円29銭也	松島館御中	いわしや支店
5-67	21年12月21日 金210円銀行為替ニて差し送 他年内余日少ニ付く他近況報告	伊達旦那様	芽丸愛々
	封筒入 (18×44.4cm)		
5-68	明治22年1月8日 年賀状 封筒入	伊達翁記様	松島角左エ門 北村駒三郎 松島伊三
5-69	明治22年2月26日 病中見舞にかなする御礼状及其後の場所報告 并に家庭の窮状報告及今後の援助方依頼等々書簡 (大形美濃二枚 封筒共)		
		伊達翁記室殿 〃 おさま殿	山崎亮助
5-70	明治22年3月3日 芽丸愛々熱海旅行一件書類 領収7枚		
	金14円8銭3厘 旅宿小林屋勘定帳 (8ヶ月分)		
5-71	3月30日 松島園家(京都)の近況報告、貞次郎成長への喜。此度逝った大神丸の件。幼子病身への心配り、他両殿様今度北海道へ御いで下さるく云々等書簡 (33.4cm)	伊達翁記・おさま殿	浦野芽枝
5-72	明治22年4月9日 京都松島家病人見舞の為お縫物及奥様供方鹿谷為二郎殿同道二人上京 東海道汽車乗組にて西京へ向われ帰りは船にて私も船にて同道致し候積の手書簡 封筒入(洋罫紙)	伊達旦那様	陸奥
5-73	明治22年4月13日 金1円也 郵便為替送金仕候 岩代国福島9丁目		畑儀
	山崎良助殿		芽丸愛々
5-74	明治22年4月27日 マリオン制乾板手札形10ダース差送候 又その運賃為郵船会社に取替え便利致候 京兵服関係への書上等々書簡 (封筒入 紅色 8.2cm)	伊達旦那様	芽丸愛々
5-75	明治22年5月20日 薬価表	伊達於俊様	中塚舜英局

No. 41

476	明治22年5月20日	調合指表（水薬・散薬共2日分）	罫紙1	弓達あぬい様 中塚屏薬局
477		明治22年領収證綴	24枚	4人組取纏方他
	明治22年3月5日	金17円16銭	福山吉出張所充用引運金下渡	伊達納記殿
	3.30	金2円35銭		
	22.4.19	金5円04銭	手札傳造共	
	22.5.4	金30円15銭	い.08119為替証書	
	〃	〃	い.08120 〃	
	〃	金10円06銭	い.08121 〃	
	5.21	金6円33銭	手宮我利代	（高橋仁右衛門）
	22.5.22	金100円88銭	福山吉出張所廻送金下渡	
	5.27	金1円03銭	函館送運賃	
	〃	金3円26銭4厘5分		
	22.5.29	金1円也	ゴム上靴 壱足	
		5銭5厘	荷縄賃 1分代	
	明治22年5月31日	6月11日東京出発函館迄4人旅ヒ 6619.20粁予定書出	紅色書簡紙 16.7×40.6cm	
		之間々の領収證（芳丸藏ヒ取纏方）		
	5.31	金2円34銭	車四車両分 〃	宇都宮 染野新八
	5.30	金1円80銭	荷代領収記	日光稗石町 紙屋半平
	〃	金2円34銭	人力四車代	染野新八
	6.2	金1円40銭	旅籠料ヒル共 4人分	宇都宮 ビフカや五郎平
	〃	金40銭	茶代	〃
	22.6.7	金2円也	旅籠代 4人外昼共	塩屋俣市町 海老屋藏
	〃	金30銭	三茶代	〃
	〃	金1円36銭	4人油り八ヶ代共	萩・濱 大森安吉
	〃	金20銭	三茶代	〃
	6.11	〆金9円21銭	宿泊、福山行切符4枚（3円60銭）他	函館 勝田
			（15.3×54.8cm）	
478	明治22年6月20日	22年5月21日箱記東都出達中改敷を見物6月11日福山帰着の報知に接して梅園家よりの返翰（封筒14.5cm）		箱記殿 梅園 愛師
479	明治22年6月24日	今朝㊍も地券改方都合・先々も地券及金の事等・下三・駒三郎/石橋3名と話合の件 鹿島屋及利周忠方にて官吏林斗の話及筆紙300枚買入送付の件等々	紅色書簡紙 青封筒入（54.3cm）	旦那 林 芳丸藏々
480	明治22年7月1日	明治21年5月より時事新報講読料（藏々分）	13枚綴 〆金3円12銭也	
481	明治22年7月11日	長門丸にて出帆、萩濱より汽車に乗換え帰京改すぐく、奥様、お雛様に申上候通り相模丸不在にて長門丸に乗組候故、暇なく御約束の写し絵（日光画か）を見ることを得ず、残念至極に存じ候云々（封筒入 30.5cm）		侍旦那様 陸 拝

〆82	22年8月22日	御気婦、伺い旁近況御報告書筒(4枚5cm) 追而書(28cm) 封筒之ヲ〆	伊達鈎記様	芽丸 菱々
〆83	丑10月17日	金10円44銭 濱縮面他染代遣 (42.2cm)	松山様 (大)沢井常之助	
〆84	22年10月24日	川邨仙気にて少しく病臥のこと お維様柳原様ヶ至につき本人の随意に可被為 事云々 等の書筒(封筒入8.5cm)	伊達旦那様	芽丸 菱々
〆85	10月治23年1月 松前伊達治独之件 (15)	分離之際事あより御思借3千両拝載預度さと 財産の儀は末裔(御 懇篤を仰度き歎存候書(包紙ウラ2枚綴り)	伊達鈎記 伊達筑之助殿	総理代人 芽丸菱々
〆86	明治23年2月6日 松前伊達治独之一件 (16)	拙申村の金1,000円33銀行為替にて拙速金申上候 尚懸安の事ながら御殿より の3千両拝借証文の件 話片付候内 至急 訳状老面書上被下候 早い程 宜しくとの文面(封筒入赤線書筒紙 53cm)	伊達旦那様	菱 々
〆87	明治23年2月6日 松前伊達治独之 一件 (17)	伊達生家し宛カル状之事(草稿)(52.5cm) 水色書筒紙 封筒入	伊達鈎記様	芽丸 菱々
〆88	明治23年2月6日 松前(伊達)治独之 一件 (18)	本家筋之御名儀への拝借年賦金3千円済帳決定についての菱々よりの書筒 及伊達文書NO402より405に至る添及決定後の訳状写加 (和紙 6丁綴)	伊達旦那様	菱 々
〆89	明治23年 2月 松前伊達治独之一件 (19)	思借金3,000円明治14年より30ヶ年々賦にて拝受申上を今回御婚姻 に付前証書返戻皆私へ預置の上証書喪紛下賜の旨鈎記仕 候云々 訳状	伊達筑之助様	伊達林右衛門
〆90	2月8日 松前伊達治独之件 (20)	今回陳革運船町にて治舗開業につき資金として 此年6月20日は堺屋 源引〆400石代金2,500円の証書 日本橋石町1ノ1番地 山本三四郎へ 売渡申候につき 貴方より同人宛の證書に書改めて被下べく云々 青色書筒紙にて(25.5cm) 封筒入	伊達林右衛門殿、 浅草宇戸町	伊達吉也
〆91	明治23年6月28日	此日函館発汽船山行丸にて牛皮3ヶ荷ヲネ3ヶ荷差上候か味い如何に候 哉 伊達吉也よりの書筒の件 お維様の証書(極)にて書直し今年 11ノ6月 利足添てお返し申す筈 等にて 封筒入(12.1×46cm)	伊達旦那様	芽丸 菱々
〆92	23年7月1日	おぬい殿 証書たのせのく物事と取組下為のお手紙 封筒入(21.8cm) 伊達旦那様	函館弁天町代東平方 芽丸 菱々	

593	明治23年7月22日	暑中伺状（封入 86cm）	翁記殿	實紀
	7月22日	暑中伺並貴族院議員選挙についの便り（封入 56.2cm）	翁記殿 紀子殿	實紀
594	明治23年7月29日	福山3行銀行と三井銀行引継終了せるも未だ為替取引不開につき郵便為替にて30円宛幾口にも送送候間数々御捉行の節持参仕候旨他云に書面（封筒入 1.5cm）	伊達旦那様	菱々
595	明治23年8月17日	牙地事病気一件 福岡降度公授爵後始めて下向に就き数上5日にては不足15日は居とづつにと、降漢公宮更台紙至急に12/枚づつ5厘300枚注文せるも不足手札にて500枚 焼方1枚1厘8厘122引請られ度云々他書筒 封筒入（138.4cm）	伊達翁記様	芳丸 菱々
596	明治23年8月15日	教育会教育品展覧会務秀堂出品展示請状	伊達翁記様	松前教育会
597	明治23年8月17日	洋皿二ツ遠泉及雪般共深上り堅牢附合社相模丸にて御送り申上候尚洋服ケヨツキとズボン注文の件 ズボンの納高柄にて上着も御望みの由、上着とズボン別柄にて白ケヨツキ流行に候へ共御希望の何ラーな御手紙願上候他、亦汽車時々故障にて不便の趣き等（封筒入 64cm）	伊達翁記様	茅丸 菱々
598	明治23年9月11日	松前病院領収書 2枚		
599	明治23年9月22日	建白野に行はれた 郡衆議会にて伊達家持馬や常毛号他出走して1.2.3等を獲れる悦及東京へ上野あし娘女子牧入等は準備の件まで東京人口150万人に対し1日100人のコレラ病発生は大阪に比し余り目立ちぬ事等に報知書筒（封筒入 0.53cm）	伊達旦那様	芳丸 菱々
600	明治23年10月13日	福島行の都合報告及綱忠の写真材料注文書送るべきの書面 封筒入（63.8cm）	伊達旦那様	白峰 舟
601	明治23年10月25日	福島行地生家親戚訪問 新居と侍夫婦の様子及寛三逝去後の様子等補助金差出方次用訪問返見旨せの存意等々の書筒 封筒入（128cm）	伊達翁記様	芳丸 菱々
602	23年12月	松竹梅3枚2組金利 船舶組組中は同家の世話にて受取居候も同家離縁後は実家にて請取御下度云々 下書（菱々筆）	芳丸 宛	伊達ぬい㊞
603		明治21年以降23年迄 10枚		
	明治21年迄	書留郵便物請取証	4枚	
	22年迄	〃	5枚	
	23年迄	〃	1枚	

No. 54

604 明治24年 1月1日	明治23年12月30日より明治24年1月10日迄 時事新報 領収証 〆7枚		
605 明治22、23年度	諸領収証 〆9枚綴		
6月9日	金3円20銭 ヴェルモット2本 仮納税金領収証		金森洋品店
7月13日	62銭	〃	大森
明治22年6月28日	金1円20銭 赤裏台紙300枚代	〃	畑場忠兵衛
〃	金4円96銭5厘 コルセット両他納代	〃	㊞濱康誼
〃 7月11日	金1円50銭也	〃	〃
〃	金2円也 茶代	〃	〃
7月20日	金1円50銭 前ルニツ揃代	〃	白木屋洋服店
7月16日	金7円也 弾り手裏他組革	〃	白木屋久吉
〃	金3円40銭 友吉片側帯 〃	〃	㊞かずさ屋久兵衛
明治22年7月18日	洗濯包1個受取積込み証 7銭	〃	日本郵船会社 倫敦商屋組合事務所
7月23日	金8円90銭 帝国呉服代		かずさ屋
明治23年7月23日	洗濯包1個積込証 7銭	〃	倫敦組合事務所
〃 7月29日	金1000円也 電信送金受取証	伊達翁記殿	才33国立銀行
〃 7月10	26銭 7月分新聞代	〃	時事新報社
〃 8月21日	油単包1個積込証 7銭	〃	倫敦組合事務所
〃 8月27日	金1000円也 電信送金受取証	伊達翁記殿	才33国立銀行
〃 9月14日	1円50銭 8、9新聞代	〃	時事新報社
9月24日	98銭 しみぬき洗い張り代	〃	扇屋庫吉
明治22年10月 2日	金1014円08銭 電信送金	〃	伊達翁記殿 才33国立銀行
〃 10月6日	金1014円08銭	〃 〃 〃	〃 〃
〃 10月30日	金61円08銭	〃 〃 〃	〃 〃
明治23年1月25日	金101円08銭	〃 〃 〃	〃 〃
〃 3月18日	金101円08銭	〃 〃 〃	〃 〃
明治22年11月16日	金1円30銭 10、11月分	〃	時事新報社
明治23年4月22日	金1円95銭 葵々西南板ヒメ道		
	合上内訳 領収記 6枚 (宿泊料他不揃)		
明治23年5月23日	金1014円08銭 電信送金受取証	伊達翁記殿 葵々	才33国立銀行
6月1日	金2円55銭 白足袋10足代他	〃	馬喰町 大野商店
明治23年6月2日	金5円15銭 堺段通絨上織3枚	〃	南伝馬町 ㊞中山屋
〃 22年6月8日	金11円79銭3厘 東京アリー鋼山版ヒメ道		芳丸葵々
	合上内訳領収 2枚		
6月2日	金1円81銭 ハンザービール代他	〃	金森
6月8日	金1円93銭 3人連り宿泊賃		函館 岡 旅館
明治23年6月8日	金50銭 仕事代		〃
606 明治24年1月20日	金200円 電報送金ク口たして書と候通知 封筒共(18×22cm)	伊達翁記机	芳丸葵々
607 明治24年4月26日	北海道の末た時種々世話に成つた謝礼 手紙(封筒入10ツつにル)	伊達之上杯	山崎吉助

608 明治24年1月—4月迄 金2円60銭也 時事新報1—4月代 領収証 芳丸賜流方 4枚

609 明治24年6月迄 明治23年6月—24年6月迄 12枚綴 領収證 (芳丸方)
明治23年7月29日 書留郵便物請取証 No 90
〃 7月1日 〃 No 976
〃 6月30日 金30円15銭 為替金受取證 にい0685-9.
〃 〃 〃 〃 にい0685-5
〃 〃 〃 〃 にい0685-6
〃 〃 〃 〃 にい0685-7
〃 〃 〃 〃 にい0685-8
〃 7月1日 〃 〃 にい0694-3
〃 〃 金20円10銭 〃 にい0694-4
〃 7月4日 金7円87銭 旅宿及雇賃代 (66cm) 岡 旅館
〃 〃 金3円也 14ノ為五便中ノ為代 〃 納代精二
金5円34銭 豚肉2人ノ弁当賄迄旅ヒ付出シ
14

明治23年7月6日 金5銭 旅宿雇賃代 荻波 大森与吉
〃 7月5日 金20銭 之為代 〃
〃 7月7日 金65銭 俵物代 仙台 酎生久助
23年7月29日 金30円15銭 為替金受取証 いい02702
〃 〃 〃 〃 いい02703
〃 〃 〃 〃 いい02704
〃 〃 〃 〃 いい02705
〃 〃 〃 〃 いい02706
〃 〃 〃 〃 いい02707
〃 〃 金20円10銭 〃 いい02708
7月15日 金6円97銭 綿セルズボン他代 (46.5cm) 白木屋
8月10日 20銭 陳代領収証 扇屋庵吉
明治23年8月15日 金5円50銭 靴代 〃 南茅場町育薬 靴治
〃 〃 金35銭 洋傘他 修繕 〃 (潜内屋組詰い
23年9月29日 金30円15銭 為替金受取証 いい04858
〃 〃 〃 〃 いい04859
〃 〃 〃 〃 いい04860
〃 〃 金10円6銭 〃 いい04861
〃 〃 書留郵便請取証 No 77
23年10月2日 14日迄東京神山間往復入費共
金33円04銭 (22cm) 芳丸 蓑尺
10月6日 金40銭 止宿料 〃 育薬 支治
明治23年10月7日 金20銭 伊皿代 〃 荻波 かぎや忠次郎
10月8日 金20銭 金茶代 〃
10月8日 金3円45銭 止宿料代 〃 (30.5cm) 納代精二
10月13日 金14円20銭 止宿及切賃代 〃 (34cm) 納代精二
明治23年10月13日 金3円也 14/10日便ノ為代 〃 〃
10月12日 金6円90銭 洋傘材料代 〃 納岡 宮

明治23年10月16日	上野福島間往復旅費		
	人金5円85銭 書上心 (25.5cm)		
10月16日	金43銭 宿泊他	欽收証	白河 いさみや 幸
〃	金10銭	合 茶代	〃
8月18日	金40銭	宿泊、茶代共 〃	〃
10月18日	金1円96銭	宿泊及 切荷代 〃	福島 上野屋 宇次郎
〃	金1円也	〃 茶代	〃
23年11月11日	金30円15銭	為替金受取證	いい0645/
〃	〃	〃	いい0645-2
〃	〃	〃	いい0645-3
〃	金10円06銭	〃	いい0645-4
23年12月17日	金30円15銭	〃	いい07994
〃	〃	〃	いい07995
明治23年12月17日	書留郵便請取證	No49	
24年1月22日	金30円15銭	為替金受取証	いい09616
〃	〃	〃	いい09617
〃	〃	〃	いい09618
〃	〃	〃	いい09619
〃	〃	〃	いう09788
〃	〃	〃	いう09789
〃	金20円10銭	〃	いう09787
24年1月24日	書留郵便請取證	No201	
明治24年2月27日	金40銭	函館行荷木運賃 受領證	運送問屋組合事務所 鈴木 新蔵
3月12日	金1円29銭	〃	(24×32.4cm)
24年1月28日	金25円15銭	為替金受取証	いう00050
〃	書留郵便物請取証	No914	
24年3月28日	金30円15銭	為替金受取証	いい02465
〃	30円15銭	〃	いい02464
〃	〃	〃	いい02463
〃	10円06銭	〃	いい02466
明治 〃	書留郵便物請取証	No232	
明治24年11月11日	〃	No99	
24年5月1日	金30円15銭	為替金受領證	いい03972
〃	〃	〃	いい03973
〃	〃	〃	いい03974
〃	金10円06銭	〃	いい03975
24年1月28日	金1円37銭	岩門丸ニ2帰函荷ヒ記	
5月31日	金3円也	ベルモット6本 〃	金森洋物店 長 納代精二
6月1日	止宿他		

次のNo6.10ハ道立図書館蔵 伊達文書 No281, No282 との関連。

No281 翁記 改名願 (明治20.6.1)

No282 林右衛門 宗家相続願 (明治20年6月)

610	7月12	松前伊達治独立一件 ㉑	伊達吉也「事故名跡相続並改名につき書簡封筒入（水色紙 8.8cm）	伊達旦那様	嬰々
611	明治24年10月28日	松前伊達治独立一件 ㉒	伊達陳之助死後遺児幼方に親族川村はより相応の金と安田銀行の指当に入り居り、安田銀行との示談なしには安達事故の好き方は無之く、その努力をなすべき為の書簡 封筒入水色書簡紙（12.8cm）	伊達旦那様	臣生	冊
612	明治24年7月3日		長門丸にて6月24日函館出帆26日香港汽車にて肺病患者病死候との手傳金の件1ヶ月金5円に取極候事 裏二面は自分で出生すること 随て月々1円50銭の割で洪氏両親への入金は完になさざる事書 山崎家整理の件についての書簡（水色用紙 12.3.4cm）	伊達旦那様	芳丸	嬰々
613	明治24年12月18日		上海中の翁記12月4日上野発仙臺着大より船にて帰函の様子安着にて祝杯の後年末年始用の手紙「函」より引取られ当地迄参り、事治（孫之助 安田・川村）との示談と希待するの言あり 封筒入水色（9.2.2cm）	伊達旦那様	臣生	冊
614	12月24日		寅丈様肺病吉田竹方にて病死去の模様及葬儀の件他報告書面 包紙1共（14.2.4cm）	伊達翁記様	芳丸 嬰々 肺病町菊表11TO 松壽館にて	
615	明治25年1月2日		寅丈葬儀1條への謝辞並に其明の神式追悼の報告（10.3cm）「写（信夫郡の弘告ビラ（1）と好事物）封筒入	伊達翁記様	吉田 たけ	
616	〃		親父死去の様子と悔み及吉田多矢の身の振方につき了承、なほ今後の身の有方についての依頼書面 封筒入（11.3cm）	伊達翁記様	舘野 安吉江	
617	明治25年1月3日		父親死後の淋しさを訴え兄上の帰来迄を待ち兼ね候云々 書面並二冊と共に松前へ一旦帰り落くとの文面 封筒共	伊達翁記様	吉田 匁	
618	明治25年1月6日		父死亡後葬後高女のこと及京都梅園より辞を賜られたことに対しての謝辞他私用書簡 封筒共（10.1.5cm）	伊達翁記様	肺病町の 吉田 伴の・竹	
619	明治25年1月6日		1月1日年始賀状 封筒入	伊達旦那様	芳丸 嬰々	
620	明治25年1月16日		本日電報にて函京梅園去病母公様病死去の由承り驚愕の至りに堪えず云々の悔状 封入（6.0.5cm）	伊達翁記殿	吉田 竹	
621	明治25年1月24日		芳丸様病死去につき香典等御指図を仰ぐ件、当国医会、葬式を迎うことへの依頼他 正の位叙しの松前藩士）病院数にて新年宴会を催されたる趣の報告他（封筒入9.3cm）	伊達翁記様	芳丸 嬰々	

622 明治25年1月27日 芳子様 玉城殿御死去御悔見文
54.0cm / 46.0cm 封筒入 (2枚は別の物か) 伊達ニヒ子様 八条たつ子

623 明治25年1月29日 生生実文政之亟死去後哀傷の行状に敬之の言々 (1) (50.7cm)
〃 (2) (28.2×3つ 美濃紙 (1) 慶田イノより 封筒共3
伊達翁記称 加与町 仙台寺イノ

624 明治25年2月 父の死後寛蔵益々悪性を出し恐るに人一倍の事 並ニ芳丸娘聲は農商務省役人云々の聞い旨也 他書簡 (封筒入 16×11.2cm)
伊達翁記称 吉田竹代事 たか

625 明治25年2月26日 梅園家御5日被成御遺物分け 母も交に頂戴致し云々の礼状 封筒入 (65.5cm) 伊達ニヒ子様 八条たつ子

626 (この時の辞世の和歌であろうか!) (封筒入) 奉紙代
夢濃世と さとる人にも 法の恩 道引たもふ 杖を力に
十方信女 梅芽野

627 明治25年3月31日 繁枝 (二) 先代伊達翁記甚之定事行被仰付年月日及墓田信女事紀子入称日 仲繁枝出生之比は差通知書簡他
林和作内 手書知簡ノ封筒共 芳丸様ニ梅 (伊達翁記)

628 明治25年7月1日 200円入用との郵便なれど"先月も300円も差し上たれば"今月は100円のみ送金のこと 且生活費かさみ困るとの泣言 他
(水色書簡紙 封筒入 66.6cm) 伊達翁記殿 芳丸蓼々

629 明治25年7月22日 金3円36銭5厘 公證役場謄本 梅園手之助殿 公證人
原本2枚代領収証 芳丸蓼々殿 植木細三郎役場

伊達ー柿本係争一件ー

(柿) と記号するこの一連の物は柿本の"だんご"裏面に伺い永い間提携した伊達家との間にも障害がはいり又伊達私と柿本私の間にあつて辣腕をふるつて居た芳丸夔々ニ代目私前澤吉士文武両督事渡辺夔々(明治二四年九月以)も伊達林右衛門との間、折り合いからずとゝいう複雑な中での往復を一連として束になつて居た部分であり
(柿) 印のないものは束以外のものである、従つては日に多少の前後がある。
渡辺夔々 宝本No231 船内家文書及 による、

630 明治25年7月22日 通場に関スル契約書 正式謄本(東京地裁内公証用紙8枚附箋)
(柿) 本1810号 立会人 肥田國右衛門 公証人 植木鯛二郎
本柿原角兵衛
代人 本西原千之助力
伊達翁記代人
芳丸夔々
家族総代
伊達昌之助力
後見人 総代人ヲ兼又
伊達吉也

631 〃 本1810号 柿原、伊達両氏ニ於ル場ヲ通場ニ関スル契約書正式謄本生ノ
(柿) 明治25年3月7日ナル 改正前ノ契約書 写ノ

632 明治25年3月7日 明治13年1月10日ヨリ23年11月迄 通場権貸継契約書ヲ以柿原洋三.
(柿) 和歌山県有田郡田栖川村大字本柿originally 913番地 伊達翁記/
柿原角兵衛 代人 芳丸夔々

633 右通ノ上本柿原洋三ヨリ手紙収
(柿) 上書 包紙 封書雛形

634 北畑東場所 柿原・伊達両家取替約書ニテノ經営方契約ノ條書
(柿) 美濃紙 従ニつ折 5丁假 (伊達ふう筆か!)

635 4月13日 伊達吉也ノ内意により親戚の惣為と共ニ分割仕候ニ付書簡
封筒なし 洋紙色 11.5×42(m) 上野滝蔵様 市川[ ]大
(ニ入れのはーすか約旨か)

636 明治25年6月4日 柿家総理代人芳丸夔々ニ仕程々取沙汰あるも私と彼との間には何の出来
(柿) りもなく堺々吉人取務目的ニ違進致す旨につき何分宜敷との書簡 草
稿 下書 =通 伊達吉也様 伊達翁記

637 明治25年6月中 芳丸夔々思ひより不都合につき総理を解仕したき内密の相談書簡
(柿) 罫紙 3丁假り (写と2通) 柿原角兵衛殿 伊達翁記

638 明治20年ヘ 芳丸夔々計算表 青罫 15丁假
(柿) 24年6月5

639 明治24年7月ヘ 明治25年7月迄
(柿) 伊達家ニて芳丸?より受取たる金額 (3ポートル)

640 (松m)	明治25年7月11日	為替送金電信送達紙	伊達	芳丸
641 (松m)	7月9日	早急の御出通恐察仕候 足与拙宅にて御待申候 封筒入	伊達松	栖原淳三
642 (松m)	7月8日	急ぐ氏御出通の趣誠に御都合に存候 書刊の儀は承知仕候書簡 封筒入	伊達松	栖原淳三
643 (松m)	〃7日	御来宅の節は大変失礼申上候 挿見仕候書面至極宜敷候間御君為可然と存奉候 (封筒共 33cm)	伊達翁記松	栖原淳三
644 (松m)	8月	御来車ありしも別忙にて御迎え申上候明日より特に多忙を予期致し候に付本日中に御伝言御用致し難く御断の話筆を御待申候 封筒入 (洋傘 48.5cm)	玉子庄吉松	岡にて 淳三
645 (松m)	明治25年7月26日	出迎御来駕の節は誠に御相未申上候 御伸証の通芳丸仁御出の節は應分の御盡力申上べく候云々の書簡 (封筒入 61.5cm)	伊達浩太	閣下 栖原淳三
646 (松m)	29日	① 昨夜御拳書下さる処不在たく失礼仕候後刻御伺参上可仕候 封筒共 (洋青色 44.2cm)		北 淳
		② 只今御上御良例相撲候 当刑ハ未ダ芳丸へ支払不申 明日当上可申候 迄来 封筒入 (洋青 35.2cm)	伊達松	北 淳
		(北淳とは栖原淳三)		
647 (松m)	30日	昨日御申越の利子110円也加判御届上申候 封筒入 (洋青色 35cm)	伊達松	(松) 淳
648	明治25年8月2日	金10弐也 会と致収証	伊達翁記松	松前邸 (堂) 会事り所 (業)
649 (松m)	明治25年8月4日	今朝出立 福山へ行く 電文送達紙	伊達方 金子笵	芳丸 (5字)
650 (松m)	8月5日	差上置候書類 其他の件々 今朝の内に取引相済難く候には至急持仰上候也々 封筒入 (洋水色 33cm)	金子定吉松	北淳 (栖淳三)
651 (松m)	8月16日	明28日朝立上にて行冊出帆後8時頃御宅或は大阪方近所拳来待申上候 封筒入 (洋水色 43.8cm)	伊達松	栖原淳三
652	明治25年8月17日	旧松前藩主隆徳公出席ての懇親会の招状の謝状 (10月12日) 競馬に就ての馬方懇望の書簡 (封筒入 10.2cm)	伊達翁記松	笹地敬四郎 (伊達邸役所内)
653 (松m)	20日	(松m) 文書草中の書面断片 5枚		
		① 五位殿より時迄御出宜敷につき時刻見計い参上可仕候云々、		

(淡水色 30.1cm)　　小笠木和今介　陸生　冊

② 書面にて御伺いの200両御拂差支ノ候には是非共金子死ニ御都合被下度云々の書面。但先名認られ居るか爾記の文などあろう。(30.7cm)

③ 水墨館　1　(22cm)

④ 金子氏より手紙云々(明治17年)等なもあり　九明 断片 (13.3cm)

⑤ 金子氏通りにて五庫丸へ乗組午位ノ時次第記しの反古紙 (35cm)

654 (栃) ①-(2)　19日　本日御面会可仕筈の処主人立入ノ公用出発之候ニ付失礼ながら明朝迄御待被下度尚牙丸氏は手帖ニ上方止宿ニ御控候。(封筒入)
(淡水色 50cm)　伊達林　栃原洋三

655 (栃)　23日　竹伸込の100円持参為致候処御残額との謝辞。
(封筒入) 3.7cm　伊達林　栃原洋三

656 (栃)　明治25年10月14日 伊達氷を辞するに就ての書簡。封筒入　伊達紀子林、〃健子林　夔々

657 (栃)　明治25年10月15日 松城丸にて12日夜前1時函館着 15日正午出帆の五稜丸にて帰京到候 封筒入　伊達翁記林 牙丸夔々。

658 (栃)　明治25年10月18日 封筒のみ。　伊達翁記林　函館大町栃洋商会位

659 (栃)　明治25年11月1日 二九付書簡拝承本人帰函次第直ニ御知らせ申上候 封筒入 (36.3cm)　伊達翁記林　栃原洋三

660 (栃)　明治25年11月7日 牙丸夔々帰京之趣と、貸付金証書廃棄方に付ここの謝辞と 領収証　封筒入3枚　伊達翁記林　山崎宮助

661 (栃)　明治25年11月9日 本人帰函の通報 (封筒入 45cm)　伊達翁記林　栃原洋三

662 (栃)　明治10年度5月迄ニ 6月40日払　罫紙3枚つづり
栃口儀作を総理代人ニ1ヵ年間を借用せるも返済不能ニ付1ヶ年延期 11年より年賦返済の件及び抵当通場の件等 覚取書
本一国立銀行貸は別帳中 伊達林右位

663 (栃)　11月22日 御書来甚失礼仕候少ずれ本人と協うの上御回答可申上候 封筒共 (灰色 32.2cm)　伊達林 栃原洋三

664 (栃)　栃原関係、契約書等1束の内 包紙3枚他ばらばら。

665 (松)	22日	伊達より御手紙あり 情通事可申前に一度御面会願い上候（封筒入 36.6cm）	木本栃	北 洋
666 (松)	22日	わじまや迄車君上候間御支来御待上ゲ申候（封筒入） 30.7cm	伊達栃 木本栃	圓に2 北洋
667 (松)		明治13.4年伊達家負債表 半紙7枚位 帳本想願 39.967円49銭2厘3毛也		
668	明治25年11月24日	芳丸襲々伊達に乃宮に2(松)と結び三井銀行と15ヶ年間貸元契約を結びし件に付、松岡厚洋三、芳丸と話合の為にの上京には同道せず 尚記、青森より帰函、直に松前へ引返すべきの報知書簡、封筒入（13.8cm）	伊達紀一殿	圓に2 尚記
669 (松)	24日	芳丸精算方取調に付書類帳面不残東京に有之候間即時とは云い難きも必ず小生埒明可申云々書簡（封筒入 浅水色 49cm）	伊達栃・金子栃	土 洋
670 (松)	11月28日	松岡厚洋三氏上京の時の宿泊場所報告 封筒共（29.4cm）	伊達旦那栃	木本誠三
671	明治25年	土蔵売渡證書	雛形	
672	10月12日 (旧丁)	年始状及南部一条市作勢力にて終了250円集り200円引預け50市作骨折に辞退致し候も無理に請取せ居着、私60大の賀には来春服部鶴峯院栃方諸家より被誘頂き云々（15.1cm）	林与衛門殿	母より
673 (松)	明治26年1月2日	年始状 封筒入	伊達旦那栃	金巽栃 縫子栃 芳丸襲々
674 (松)	1月19日	拝借金8千円の内 昨年3千5百円入金 更に11月明治25年通ち高報酬4千円の内1千5百円 又御預ケ金175百円もの〆計3千円を入金致し残金を引て差計算にて証書書換御願申上候 雛形1枚(写)	木本栃 洋三栃	伊達尚記栃
675	明治26年1月19日	赤表紙日記帳内へ挟置たる芳丸解任却又び同人拙宅への寄留届 市作へ命じて写し取らせ至急送り届けられたし、用意必ず写取り持参すべし ㊁の年始帖次第直に帰宅予定等々（封筒入 22.3cm）	紀子へ	林与衛門
676	明治26年1月21日	2月年始ニ#より金受取24日に船の有次第帰宅の予定、湯の川への入湯は今は余りに寒き故4.5月の好き時節を見計い被致方可然云々（封筒入 88.5cm）	紀子殿	尚記
677	2月26日	土曜モー件に就き申越了承 木本栃へも咄置候 云々（封筒入 35.9cm）	伊達尚記栃	松岡厚三

678	明治26年3月24日	土産品を贈られられる御礼 並に高崎二午に進物仕た報知及何時頃福島に来るかの伺い旨せ手紙（封入ズミ1通）	伊達鈎記叔	吉田多ヲ
679 (松)	明治26年3月25日	電報	伊達鈎記殿	木本
	〃 5月15日	電報	〃	檜原洋二
680 (松)	明治26年5月17日	伊達家より預りたる福毛村に所在する不動産の年々限り地主と抜取り他人へ地主に言入れる為の公正證書取消契約書返済金證（金額共）	伊達鈎記叔	松本洋二
681 (松)	明治26年5月19日 ホクヲク号	抜当物権取戻期日契約証書 日誓本	約諾者	約束者
		福原角五郎 代理人	四日市次郎	伊達鈎記
682	明治26年5月17日	母及タカ同道にて渡辺の件打合書簡（封入ズミ1通）	伊達鈎記叔	福島 吉田竹
	〃	今5月28日迄の伺旨との件にて往復電報、郵便紙他共（4ヶ矢）		計6奥
683	明治26年6月19日	吉田多賀医籍の件他書簡（66ℓm）	伊達鈎記叔	福島 舘野久作功
	〃	函館滞在中の御もてなしの謝辞及帰土産の御礼（15.2ℓm）		吉田多計
	〃	多賀子を送って函館・福山まで周って歸った謝状（90ℓm）		吉田竹
		各別封筒入	〃	
684	8月 日	暑中伺い謝辞並競馬々に対しての礼しの手紙 未書筒紙（ ）	伊達鈎記殿	公紀子殿 栂園慶師
685 (松)	明治26年9月15日	伊達博覧場ホクヲク号契約にて松本角五郎抵当々使用の件承諾せしに手抵当の恐れを取のぞく為の指手続要仕状及依托書、草稿之枚	上野房治郎叔	伊達鈎記
686	9月17日	御乗馬小栗号46ℓ7円位にて御売渡相下げ書簡 封筒共（46ℓ7ℓm）	伊達鈎記叔	松前福山登船之 七尾吉七郎
687	明治 年 8月23日	今夜12時の青森行汽船に乗る。明暁の汽船にて直に帰函のつもり、松城丸便にて季甚倭・上等の角屋・柿壱箱の三品・模造り依条請取可被為候 封筒入追記又荷物入追記か（封筒入61.6ℓm）	紀子殿	鈎記
688 (松)	明治26年9月25日	明治25年9月11日 第九襲々辞任書数引継之際明治26年末にて博覧場契約切の筈の処更に15ヶ年間の契約書取交しの筈に御座候、その件に就き25年7月22日付の契約公証は取消取落せ請取書（写）共二通	松本角五郎殿	伊達鈎記

689 明治26年9月27日 三井組との15ヶ年契約不都合につき10ヶ年に改むべく相原主人と追加上京致せしに面会ごさず! 只支配人高木平の談にて芳丸の依頼に依るニヒ明白になりし為に、主人に面会話合いにて了解未だ得る見込. 吉田家の養子は見込あること 他種々家事向書面書簡.
(封筒入 16.6cm) 紀子殿 恒子殿 翁記

690 明治26年10月1日 福島より夜行列車に乗り此朝青森より汽船致し 今夕松城丸に乗組む筈の処、風邪にて休泊 明日以降 函和次大 北運丸にて帰国致すべき便り 封筒共 伊達紋子様 伊達翁記

691 明治26年10月3日 此ニ日和賀ノ浦出帆ス此朝8時着港 諸事好都合・東京運動方等報告 他函館司・(和)両家との交渉及8千円精算の件等に書簡. (小樽中川ニテ)
(本吻) 封筒入 24.3cm 伊達翁記様 上野房次郎

692 明治26年10月8日 翁記当代行に対する頌辞並に黒沢家より迎え入るべき聟養子の話不調となれる報告等々書簡 (封筒入 10.5cm)
伊達翁記様 吉田 竹

693 明治26年10月10日 函館にて伊三郎宛を小樽にて百十三銀行当地支配人への面談の次第報告. 仮差押裁判所にて・柚原家=秀治宛への有無取調等人への事. 司より借金仕戻す場合は当方より御返金可申云々 書面 封筒入 (5.5cm)
(本吻) 伊達旦那様 上野房次郎

694 10月18日 芳丸解転引継の件 吉田三郎右衛門氏会にて相談好都合に候. 場も追場貸の件 芳丸氏話にて了承仕候 100円は本日三井銀行為替手形にて差上申候、云々 封筒入 (優業ノ.) 伊達翁記様 柚原洋三
(柚)

695 明治26年11月12日 病気手懸相済並墓石依頼被下候日忌までには間に合ふことへの謝礼書簡 封筒入 (10.9.2cm) 伊達翁記様 吉田方ニ竹

696 明治26年11月15日 26年10月30日付柚原角左衛門より預り置きし場を追場・海産干場・宅地・建家・板蔵・通船外一切見設備一切田中正右衛門に2万円にて残金に差入候には以前契約書毎に報知方約書(写) 場を登記手続申 場を米天町ニテ上野房治郎ニ証書提出方及芳丸現住所 東京根津八重垣町神仙亭なる報告書簡
(柚) 封筒入 (7.7cm) 伊達旦那様 上野房次郎

697 明治26年11月25日 (柚)と芳丸間にて結ばれたる15ヶ年契約書取消困難にな和解の話合を進めるには場も(上)小林氏を必頼すか最善と被存候=付依頼状1本差上被下度云々書面 封筒入 (10.2cm) 伊達旦那様 上野房治郎
(和)

698 明治26年12月5日 病気見舞薬味差上より手紙の件及計算の上送金の書簡 封筒入 (4.7cm)
(柚) 伊達翁記様 柚原洋三

699 (27年) 2月9日 昨日12月限り元金500円すでに満期切れに付至急入金方依頼候 商売年賀
(梅) 永昌午よりの海苔把借入証個送付申上候には可然 書簡1枚
伊達林右衛門殿 函館三井銀行

700 梅原・伊達契約書件落手につき別紙手証取交し以後双方苦情
(梅) 一切なしとの取交し證書 (写) (手証不明) 徳尾1枚
午在名 菊永昌午 吉田三郎

701 2月16日 佐伊雄の200円手形山林厚次郎帰済=付持参為致候 書簡
(梅) 封筒共 伊達鶴記拝 梅原洋三

702 3月4日 函館にお住は佐伊雄かと存じ居り候処 昨日到着先にて佐伊帰済の由々方
(梅) 振に一緒差上げる手続の処殊之外仕り候 他便り (封筒入り)
伊達鶴記拝 梅原洋三

703 身体の事を聚られたる採掛状 (34×48.5cm)
(大幸書模二つ折にして) 伊達紀子拝 梅 栄子

704 梅園家大阪拝領写真大少二通り揃いたる通知 紀子拝 芳枝

705 明治37年3月3日 天皇・皇后両陛下御成婚25周年御盛典の模様及八条家にて姉上大病
の由承り驚き入候御見舞他御慰にと献詠歌の披露及「ニヒリヤンレサ
ほい」のざれ歌 (23cm) 添書簡 (24.3cm) 伊達紀子拝 梅園実師.

706 明治37年6月8日 借用金年賦返済延べくへの懇願状 芳丸総理代人解任 謝礼不当なる
請求の件につき 赤坂屋敷改築及び通場権利のいきさつ等をのべての
言い訳書簡 草稿 (54.5cm) 杉山御姉上様 伊達鶴記

707 明治37年 6月8日 梅原より手午一杯にて戻さるべき通場 芳丸の見計にて更に15年延びたる件. それ
を取戻すにつき梅原と交渉中につき その運動方等依頼書簡
(草稿 53cm) お竹どの 鶴 記

708 明治37年7月22日 近頃の暑一入激しく鴨川土堤の夕涼は紅灯花街連の賑さ盛に12日清事件と等
しく人の心ときめかしと病身の姉を見舞状 (96.4cm) 及7月24日付祇園会
の混雑振と病気見舞の詩 (120.1cm)
他姉上様 弟よりの哉迪 伊達鶴記拝 梅園実師

709 37年8月6日 主人事面会候には佐伊進の儀追々相達仕り御迷事可申上候.
(梅) 封筒入 (49cm) 伊達鶴記拝 梅原洋三

710 明治 午8月25日 昨日本本・金子等の手紙落手. 芳丸への手紙不届. 200円丈ケ入手. 尚
芳丸後理の儀 今日いよく解雇. 長尾小便にて赤皮敷物3枚
送る 等々送物に添つて (75.5cm)
(封筒入) 紀子殿 鶴 記

ク11 (柳)	明治27年9月30日	借用金8千円の返済金計算内訳書並ニ柳原あより返されれと思われる8千円の借用証書。
ク12	明治27年10月1日	去月13日大元帥陛下御帰還の途中7条駅に皇・華族拝ミ奉謁の称子・平壌陥落と軍事も順調に勝利し、他奉仕社入社等々の他、華族らしい口調の書簡 封筒入(15.5cm) 伊達姉上様 拙 策
ク13 (柳)	明治27年10月4日	堺屋抵当財産一切三井へ売渡方柳原より懇出 如何なるべきや返待つ 玉文
ク14		㊀明治26年9月15日付ク113銀行登記事項間違い訂正手仕牧
ク15		③10月17日付三井送り書簡の件・相手方語を認めざるに就き貴方より話し方依頼書面 (封筒入46cm) 伊達旦那様 木本誠二 以上3通 別包紙入 外に「柳原家に対す要用証」の書込あり メ4通
ク16 (柳)	明治27年10月16日	物申越の件何時にても可申上には心安く物申付被下度之書簡 封筒入(5.7cm) 伊達様 吉田三郎左衛門
ク17 (柳)	明治27年11月6日	函館物澤始中は甚大ル仕候物申遣の急書並㊁加判書と候由 御届手数上候 封筒共(40.6cm) 伊達翁記称 柳原淳二
ク18 (柳)	明治27年11月	明治13年1月1日より明治27年11月迄ハ十ヶ年間伊達家所有と雖も預ケ及土地・建物・網船漁具等有形物ハ悉柳原家為名義ニ而名儀替の上貸渡契約の処・本年ニ至り満期更に伊達と三井物産にて改新の契約書下書(半紙3枚 綴り)
ク19 (柳)	11月	柳原に対し預ケ置きたる諸物件の登記方 承諾請求の旨ハ一得 (心覚ヒか)
ク20	明治28年1月19日	唐中函館行船中にての唐さ、函館の称子・柳原との折衝、芳丸襲々の怨み言等々 (手紙1枚封筒入) 伊達紀子様 林右仁門
ク21	明治28年1月24日	三井組との話合甘くゆき(柳)過場三井ニて預る契約は10年なるも勘定相立ば本年より5・6年にても返還の約束出来、当方へも壱千弐千円宛出すことに相定たれば安心なさるべく候(11.5cm) 封筒入 紀子殿 筒記
ク22 (柳)	1月25日	柳原よりその殿へお渡しすべき200両別紙小切手にて書ヒ候間受収証お遣被下度 (封筒入 29.5cm) 伊達筒記様 三井物産会社
ク23	明治28年1月28日	三井との取組話合つき2月初帰福のつもり、買物その他申遣り書簡。 封筒入(9.7cm) 伊達紀子殿 同ニて 筒記

224 明治28年2月12日 日清役戦海衛陥落の喜び・又陣羽織・紐に故伯爵につき法文致し置き候件等々書簡（162.7cm）伊達鎗記様 実師.
2月14日は 姉の病身見舞のこと、自分も病弱にて云々等消息文（8.7cm）
以上2通同封にて 姉上様 さねもりより

225 明治28年3月11日 時の物を贈られたる御礼を兼て病気見舞と時候挨拶状
封筒入（165.5cm） 伊達御舎様 松山常三郎
？（宗子）

226 明治28年4月15日 福島の近況を知らせ併て寒衣を贈られた謝辞（毛糸書）
伊達鎗記様方 お多加様 阿田右馬之助

227 明治28年5月27日 気候挨拶を兼て病身見舞及博覧会には是非との招待状
封筒状（20.3cm） 御舎様 松山津ね

228 明治28年7月16日 時候見舞添て博覧会に諸国より人々入込のせいか1日40人以上もの虎列剌大流行にて困却姉上様方にて御憂心専一に云々
封筒入（150cm） 姉上様 正之位

229 明治28年8月8日 貸下ケ地払下ケ許可願書小林右三郎氏より手続き致され、子は許可に可相成旨の郡の払下ケ主願何方より御送金被下哉又弁当人の件等々礼状（封筒入23.4cm）
堺毛糸天町
伊達鎗記様 里伏安江門

230 明治28年8月16日 暑中見舞他消息及粢品進呈書簡 御姉上様 正之位・栄子
封筒入（11.2cm） 梅園実師（東国）

231 明治28年9月10日 梅園正之位が松前伊達家に逗んだ時蜷川様事伯爵よりの気遣伺いと近況報告書簡（封筒入14.4cm）
福山阿原町32番屋敷 伊達鎗記方
梅園実師殿 伯爵 板本実穎

232 明治28年9月18日 海上日和にて汽船かも位様（梅園実師）御安泰、無事着の上青森行貨客丸に乗組む旨の処、下り川様 且船も不宜にて明日の青龍丸（深蔵殿も承知の船）に取決候 尚書きは100円の処200円都合改め内30両は3位様に御使方也 他
1封筒入（11.6cm） 伊達御もと様 園にて鎗記

233 明治28年10月6日 青森より函館（北都）迄往復雑用
美濃判 横巻一つ枚 3枚綴り 深蔵

234 明治28年10月8日 絹地三幅に祖父の染筆を希望の由・私より申入よとの件承諾他に深蔵・松濤・松隆への言葉あり・姉病気への見舞の言葉他
（封筒入18.1cm） 伊達雅兄 実師

735	明治28年11月6日	寒冒宝樹院様当冬12月3日33回忌ニ付菩提の為田楽御手繰の御足御納方及應分の御納金の依頼手々 書簡. 封筒共(18.4cm)	伊達柱助上様	愛卿 拝
736	明治28年12月10日	金45円50銭	領収証	伊達翁記様 松前病院
737	明治28年12月16日	為替受領証書	電報報告紙	及び2枚 福山郵便局
738	明治28年12月25日	119小為替受取証書		
739	明治28年12月28日	金収書	伊達邦寿父君	神明町114 渡辺鈴治
740	明治28年12月	金45円50銭 28年11月分薬価請求書	伊達翁記様	松前病院
741 (極)	明治28年	明治17年一度御下取シ27.28と再度備セシ弁丸数々2万→3万の御下屋報酬を要求せるの件について極密内書簡草稿		3枚3枚
742	明治29年1月14日	金2円也 年賀放候送金証 京都市寺町通宮垣町	福山郵便局扱	福山 伊達翁記
743	明治29年6月13日	御注文の肉エキス手に入り御送り申上候書翰 郵便受取書	附屋敷収證及 封筒入(5.7cm) 4葉	伊達邦 木本茂
744	明治29年10月25日	17日はにて写真を贈られたることへの謝辞・姉上昨年よりの不豫への見舞. 自身も病弱昨今快方にて喜び居りし処 少し雨中外出つまづいて怪我せし事、梅園家の事子、農作物作況、新聞流行等々 (84cm)	伊達紀子様	(封筒入) 伊佐新次郎
745	明治29年11月28日	紀子病身へのいつかいと姫悦子への看病への入魂、感心、依頼書簡 (封筒入 144.5cm)	伊達悦子様	伊佐新次郎
746	明治29年12月	赤十字通支部総会盛会なりし謝辞並に慰労会永川17名4時より志摩楼にて開催に付出席方依頼状 (封筒入 39cm)	伊達翁記殿	日赤博愛社西支部 松前愛次 山内久内
747	明治30年2月11日	英照皇太后御大喪の御称子・大礼服にて参拝差許されたる次第、宮廷承諾の件等々 封筒入(13.7cm)	伊達紀子殿	梅谷の従二位
748	明治30年3月10日	為明天皇30年御霊祭遥拝式	編註書	伊達翁記様
			遥拝式松前奉行ら	山内久内
749	明治30年3月21日	正五位肺炎にて小為御典医の診断を仰ぎ居り老人なれば大事を取り居ること、領地係争の件、大礼服着用写真共に乳牛の件等 封筒入(9.5cm)	紀子殿	梅谷の従二位 (実紀)

ク50	明治30年3月22日	去明天皇3年御霊祭遥拝式挙行感謝状	伊達翁記杯 遥拝式松前奉行名originally 山内久内
ク51	4月4日	従五位殿急性肺炎重く紀子殿への御面会を厚信にて御願申上候処早速御出被下目下御介抱=御滞在中との謝辞他 (封筒入 134.5cm) (発名のサ 如きなし 他と同筆にてか)	
ク52	明治30年4月19日	病気全快を報じ病気中人つづけの謝辞並に聖上の御近況或ハ東都市内の近況報告 封筒入(180cm)	伊達紀子様 柚園実師
ク53	明治30年5月12日	時候見舞状 本春ハ寒さに霜害後れ蚕児の発育遅れ収穫に至り方く発生の模様及東郷にて正五位様3月中次より御発病の様子報知の書簡 (封筒入 99cm)	御姉上様 侍女
ク54	明治30年5月28日	黒焼漸く探し当て此度に御送り致し候、御願いしたサヒタ(煙草パイプにセン潜水)は十五位に12/10本程送られ度きこと、こちらにては一セ物しか入手出来ず人にも頼まれたので吸には不明、是非にとの書簡 封入(82.5cm)	伊達紀子殿 従二位
ク55	明治30年6月21日	金20円也 ろよ(42) 貯金登記済通知書	伊達悠殿 郵便貯金管理所
ク56	明治30年7月21日	両陛下御駐輦中第七病後隔日勤番交替ニ2人にて朝6時より夕6時交替下臈番相勤居候・御大礼中ニ1日1月御一周忌台御還幸の説も有之候、尚旭文本月10日を以正二位に被叙候節は早速御祝儀を頂き云々書簡 (132.2cm)	侍医 より
ク57	7月21日	暑中御伺之他見舞品送付の書面(114.2cm)	御姉上様 栄子
		正五位殿染筆、正二位殿染筆2枚 同僚人よりも家宝として各1枚宛に二枚を依頼の草稿 (林伯内筆か)	
		以上三通同一封筒入	メモ
ク58	明治30年9月7日	度々入院特に前より悪くもなきこと、明日は軍艦磐・イワクレヤ・金剛遠・扶桑・出雲等入港・金剛遠を縦覧に帰国の積りにつき20円為替送金されたきこと、宴会出席不能の件、吉田氏への伝言依頼の二条等々。 封筒入(136cm)	伊達紀子様 伊達翁記部
ク59	明治30年10月26日	9月上旬まで疑似赤痢症を患い引つづき咽喉カタルにて籠居致し候所漸く全治手紙書上候 其後の安否御尋ね被下度云々書簡。 (封筒入 162.2cm)	御姉上様 静子
ク60	1月3日	年賀詞 封筒入(113.2cm)	伊達紀子様 柚栄子

No. 70

761 明治31年1月5日 (梅)	年賀詞及挨拶状 封筒入	伊達鈎記様	梅屋角左仁
762 明治31年1月14日	岩田夏=郎 徴兵適齢届 却 松前郡福山松城町44番地 平民藍藁 岩田夏次郎 (明治11年8月8日 生)		
763 明治31年1月21日	英照皇太后陛下御喪中=付年賀欠礼申上候 との時候、寒中見舞状 (封筒入 10.5cm)	御姉上様	幹 友
764 明治31年1月 25日 (染) 一の	年賀詞に添て昨年蚕羽織裏地への謝辞及染物の件は芽枝よりすべて添入つ改すべき旨に付入り安く御申付可相と事々、(封筒入 8.7cm)	鈎記殿	梅園実紀
765 なし (入詩) (染) 一②	御依頼の染物3月15日迄に出来する様新七方へ申付出来次第小包にて差送らすべく云々 書簡、封筒なし (22.3cm)	伊達紀子様	御代筆芽枝
766 1月27日	又平殿御入来にて種々珍ら敷品御持参頂き各自喜び居りとの礼状 (10.1cm) 封筒なし	伊達紀子様	梅 芽子
767 明治31年1月31日 (染) 一③	封筒中に小荷物包紙切取1と下記の2通とが入つて居た。		
1月24日	自地縮緬縫模様着地注文之件他衣類報告書簡 (28cm)	伊達紀子様	浦野芽枝
768 令24日	今上注文流れに対しの言訳及再注文依頼状 (28.6cm)	伊達様	幸御 鏡田吳服店
769 なし (染) 一④	帯子殿御離縁話 高橋家へ申込まれ、之に他当年まつ首丈なれば明年は御通り可申上、他正之位牌御除つにて大殿様(正=位)は大元気 鈎記様 足し物仕立直し承知の件等 面白多し、日付なく、封筒もなし (45.2cm)		
770 明治31年3月4日	倹子殿 岩田氏との婚儀祝辞書翰 (封筒入 26cm)	伊達鈎記様	京都鳥光 梅園実師
771 明治31年 3月 4日	お悦殿御婚儀祝詞 (98.8cm)	鈎記殿	梅園実紀
〃	(102cm)	紀子殿お悦殿	浦野芽枝
〃	祝儀目録 (25cm)	封筒共3兵	
772 明治廿九年弥生7日	婚儀祝として市楽織売場賜り幾久敷寿仙仕候証	伊達鈎記様	辻定左衛門

773	4月14日	亡夫七郎一周忌ニは（忌中引）茶菓の印御送り申上候 尚云々 書簡 封筒ナシ（5.2×5.7cm）	伊達鈎記拝	〃御若拝 松〃事
774	明治31年4月19日	原籍在所南山城相楽郡綺田村 古川平七郎御内室大病ニて京都東山病院にて死去 葬儀には参列、御生家（梅園家）には父上は益々御壮健、兄上様は御子快なれど追々御快復の好子等々御報知文 封筒入（10.7cm）	御姉上様	梅園家内 新妹
775	4月23日	福島寮家（鈎記生家）吉田老母死去への悔見舞 並進物に添えて 封筒共（8.2.5cm）	伊達鈎記殿	梅園寮記
776	7月30日	時候挨拶の後 養生組への祝詞他 消息一文（18×8.7cm）	伊達紀子様	松山陣屋
777	明治31年7月28日	梅園家親類方の暇にて下鴨へ引越の様子、8月8・9日出立にて拳文（自筆の文）京都より御地へ御出遊候との事、他赤痢流行の知らせ等 封筒入（13.7cm）	御姉上様	埼玉県入間郡中川村柱下川向 伊佐新兵衛
778	明治31年8月17日	8月16日頃東都より父上御渡道との報知のよろしくと伯報書並に父への挨拶寸簡（封筒共2通中に入）	御姉上様	伊佐新兵衛拝
779	明治31年11月 7日	御父上様（正二位）渡道より御機嫌よく御帰京にとの礼状他 鈎記殿と同伴御上京の節は御立寄被下度云々並に正四位殿よりもの言辞あり（実師御昇進か？明） 書々 封筒入（14.2cm）	伊達紀子殿	梅園寮青年方 保子
780	明治31年12月17日	貴妻君様流産への見舞文（文中御両親様御揃にて云々の言葉あり。行幸とは誰をお指すか 封筒入（13.4cm）	伊達行幸殿	岩代福島町 吉田政治郎
781	明治32年2月15日	一別以来の挨拶と時候見舞文 封筒入（9.7.5cm）	吉田たか様 改伊達悦子様	能谷市 拝
782	明治32年7月12日	歯の治療に御画 園滞在100日より持参せざりし為郵便にて50日送り被置度云々他 金流芸妓 冊子1股（獣に） 封筒入（9.5cm）	紀子殿	鈎記
783	明治32年7月24日	梅園正二位殿御来画＝伺候し日課経一冊宝と仕り候に対し御内房様より御悪逆面を賜りたるの御礼簡 封筒入（9.5cm）	伊達御内房様	高龍寺 土肥洞観

No. 72

784	明治32年11月	地方華主門徒惣代 許状	波島 伴達行安殿	俗陽六角堂 地方専正
785	明治32年11月	地方華主執心許容番号(先鶴第)状 (大奉書 横二ツ折)	伴達行安殿	京都之角堂 地方専正
786	明治33年8月15日	染物代見積 並 及取付店変更のお知らせ文 封筒入(53.7cm)	能子様	よし枝
787	34年12月	請求書(小間物雑貨) 49.6cm	伴達様	伊井店
788	明治34年12月	支払 例習り ×21 矢		
		12.30 金21980未 受取た	伴達様	定吉店
		12月 25未	〃	〃 大田
		34年12月 70未 大山酒他	〃	手大 幸
		12月29日 1円80未 牛乳代	〃	岩田西勝店
		12月 2未 白突料	〃	松前倶生部都石
		〃 1円50未 石油1	〃	(壱) 店
		12月14日 13未5厘 割コーヒ、小豆他	〃	山口店
		〃 87未	〃	石波置屋
		34年12月 10円97未 強住出面賃他	〃	渡辺駒店
		12月 56未 ハウバ 壱双	〃	(定)一戸定吉
		〃 2円10未 屋根工作 3人工	〃	屋根脳 中村喜蔵
		48未3厘 八百や雑貨	〃	あんどう
		〃 4円5ん未ナ厘 訂他(1号)請求	〃	今 店
		〃 5円20未 簾紙 他	〃	刈商店
		12月9日 5円19未1厘 板他(2)至三五枚と2枚	〃	井川
		12月29日 8円54未(12号計) 受下正	〃	今 店
		〃 1円58未5厘 食品.雑貨払分	〃	松屋 大田
		12月 11円31未 木払運賃16他	〃	八右本店
		破 3円? 名刺.紙類他		不明(破)
		12月30日 94未	〃	田中
789	明治35年3月25日	山崎岩泉寺恒例大幅若干縮借れ12枚着上受書簡 (証木永智) 封筒入 伴達翁記様 当代岡山崎寺 岩泉寺		
790		大般若経宝牘 10枚		大乗山.岩泉寺
791		正眼砂子 金納入 扇能生片		
792	明治36年3月4日 甲発第122号	明治36年松前郡徴募已各徴兵署設置場所及検査抽籤日時通達書 函館聯隊区徴兵務事宛 伴達翁記殿	松前支庁扱	渡辺佳介
793	明治36年3月25日 乙第168号	吉岡村 総代人 中村弥三郎 徴兵務事宛 新任届 通知	伴達翁記殿	松前支庁扱 竹内吉吉

No. 93

794	〃 2ネ169号	仮仮定延期願出人の氏名通告書	伊達簿記殿 松前支行当 渡辺佳介
795	36年3月25日	上半期300両松前銀行宛払込通知	伊達簿記係 三井通業部
796	36年4月27日	当期借場料内金300両松前銀行払込通知	伊達簿記係 三井通業部
797	明治36年8月13日	別紙委任状、明記の土地4筆伊達名儀ニテ私ト相成居候分連ニ三井名儀ニ切替尚他ノ筆ノ敲当ル林右仁門殿名儀ナレバ書替ノ為下記証明他必要書類一切作速ニ御送附ニ候	伊達簿記係 増毛三井通業支部
798	明治36年9月15日	伊達簿記係猟区券 2種二等 56号 手数	北海道庁
799	明治36年10月7日	金300円送金為替 郵収書	福山 伊達簿記殿 三井物産倫敦通業部
800	明治36年12月7日	傳染病(腸窒扶斯)患者全治通知 12名連記 実濃武ノ	組合吏名印 (印) 東紀生組合長 伊達簿記
801	明治37年1月9日	御請求ノ借場料200円松前銀行宛払込候	封筒共 伊達簿記係 三井通業部
802	明治37年2月25日	樺太日本ノ復帰ノ暁ハ伊達氏ノ権益ハ三井ヘ委任スベキ契約書(草稿) 27.2×39.4(cm)	山田小慎殿 伊達簿記
803	明治37年4月12日	金300円 113銀ノ払込松前銀行ニテ受取為替 場毛通場借地料ノ一部送申候	伊達簿記係 三井物産倫敦通業部
804	明治37年4月12日	戒銃登録免許願	草稿ノ 警部長石栗鏡殿
805		福山警察署 オノクロ手ノ内 戒銃使用許可書	
806	明治38年4月16日付	(不備ノ警察ヨリ返戻セラレタ物ノ) 戒銃発射認許願 場所略図付 半紙ニ地図ノ(中央ニ切ラレテノ枚ニ見エル)綴リ入レタル1件.	
807	明治37年7月28日	36年度ホニ期所得割ノ4円ヲ当場分納付ヲ依頼書(封筒共)	伊達簿記係 三井通業部
808	37年4月 8日	場毛借場料300円銀行為替ニテ松前銀行ヘ振込ノ件並ニ山田商店支配人伊東小太郎来社助勢ヲ乞ヒタルヲ謝シタルコト、同人本店及松前原ヘハ行カズ"云々"樺太利権ニ付ノ書簡封筒入	伊達簿記係 三井通業部 平田初熊

#9	明治37年6月24日	樺太にての通業刑確定についての話合い書簡 伊達翁記称	封筒入	巡航 平田加能
#10	明治37年7月3日	本年4月樽本伯爵と共京都祇園新地に遊びたる情況を知らせる手紙（富兵衛中とあるも富兵衛名らず） 封筒入（61cm）	伊達舵子殿 梅園実師	
#11	37年8月12日	据え借場料上半期300円松前銀行為替にて送り申上候 封筒入	伊達翁記称	三井通業部
#12	明治37年9月20日	下半期借場料300円送金通知書簡 封筒(共)	伊達翁記称	三井通業部
#13	37年10月22日	下期借場料300円松前銀行支払小切手にて差上申候 封筒共	伊達翁記称	三井通業部
#14	明治37年12月22日	本年上半期借場料残500円松前銀行借造屋手形にて差上申候（封筒共）	伊達翁記称	三井通業部
#15	明治37年12月27日	本年上半期借場料300円松前銀行送金手形にて差上申候（封筒入）	伊達翁記称	三井通業部
#16	38年2月6日	据え通場借場料上半期分600円送金通知 加山	伊達翁記称	三井通業部
#17	38年3月17日	38年上半期300円送金通知及樺太出発後の通場対策についての平田の追書（封筒入）	伊達翁記称	三井通業部
#18	明治38年4月20日	金300円也 通場借場料送金通知 封筒共	伊達翁記称 三井物産合名会社、北海道通業部	
#19	明治38年5月11日	借場料内300円送金案内、尚毎年料金六200円の内2,200を6月、12月に区分して銀行預入に居たが 尚300円だけ欠けずに現金受入乎、平田の存意は後より申上べく云々 封筒共	伊達翁記称	三井通業部
#20	6月16日	据え頬通稼業外の好通報告及通救の子算概要と仕度等情況他 封筒共（47cm）	伊達翁記称 三井通業部 平田加能	
#21	38年7月10日	借場料300円貯蓄銀行支店宛に送金案内 封筒共	伊達翁記称	三井通業部
#22	明治38年9月22日	借場料内300円貯蓄銀行経送金手形を以、送金案内	伊達翁記称	三井通業部

No. 75

₱23	明治38年10月23日	下半期賃場料 300円（手形面299円76銭）	
		貯蓄銀行迄金葉内　封筒共　伊達鎗記拝	三井通葉部
₱24	明治38年11月20日	当年下半期借場料300円（299.26円）払前	
		銀行為替手形にて送金葉内（封筒共） 伊達鎗記拝	三井通葉部
₱25	明治38年12月24日	半年渡通場借用料2,500円の内500円現送2,000円は拓銀定期預金に	
		加証書送り候間受取証書右二枚封筒（封筒入）	
		伊達 拝 平田初熊	
₱26	38年12月27日	38年度環毛借場料 拓銀定期2,000円 鴻山貯蓄迄為替500円 右に付書	
		上候（納入の件その他に依頼致 伊達鎗記拝 三井通葉部 平田初熊	
		置候に付他言公用の事）	
₱27	明治39年2月14日	環毛通場借場料300円支払送金御通知の書 伊達鎗記拝	
		封筒共 三井物産会社 函館通葉部	
₱28	明治39年3月23日	借場料300円貯蓄銀行迄送金通知の書筒 伊達鎗記殿	三井通葉部
₱29	明治39年4月17日	臨時事件公債300円になりたる通知の及平田初熊環毛払方通知の	
		封筒共 伊達鎗記殿	函館三井通葉部
₱30	明治39年4月20日	上半期借場料215円貯蓄銀行迄送金通達 伊達鎗記拝	函館 三井通葉部
₱31	明治39年5月21日	通場借場料300円の内160円公債4枚台払込残金140円為替手形にて送金申上	
		候書筒 封筒共 伊達鎗記拝 函館三井通葉部	
₱32	明治39年6月22日	半上半期通場使用料の内120円利4債払込残180円為替差上申候、之に	
		公債四通300円也同封致し置候。 伊達鎗記拝 函館三井通葉部	
		便船迄右の端銭を摶御落掌候 封筒入	
₱33	39年7月21日	上半期借場料内300円払込 内160円を以国庫事債券払込通し残140	
		円貯蓄銀行に払込致送金候 伊達鎗記拝 函館三井通葉部	
₱34	明治39年8月21日	通場借用料下半季300円中160円国準債券6回分払込残140円為替にて送	
		金仕候（封筒共） 伊達鎗記拝 三井通葉部	
₱35	39年9月12日	39年度収入金及仲積額等取次金額報告書 2枚封筒入	
		伊達鎗記拝 三井通葉部	
₱36	明治39年9月13日・22日	豊平館にて須会開催出張方葉書 端書 伊達鎗記拝	
		北海道庁内 函館税関 野幸 龍岡信熊	
₱37	明治39年9月23日	下半期借場料300円貯蓄銀行迄送金葉内 伊達鎗記拝	三井通葉部
		封筒入	

38	明治39年10月26日	半年倉場料300円(299円64銭)貯蓄銀行預入ニ付通帳ヲ倉場ノ件ハ負次郎殿ト相談ノ上御越ト承知仕候	伊達翁記帳	三井倉庫部
		(封筒共)		
39	明治39年11月15日	国庫債券300円支払当節ニハ便還受取方依頼ニ付日銀ヨリ受取送金申上候 素々 関連書類3通及 封筒共	伊達翁記帳	三井物産部
40	明治39年11月21日	堀モ倉場倉場料本年分3200円ノ残額拓殖銀行ニ預ケおくか他ノ銀行ニ預るかニ付急ヨリ申越ス為至急御通知ノ程御書状	伊達翁記帳	三井倉庫部
		封筒共		
41	明治39年11月	堀モ三井倉庫支部 海産干場日録	4枚	
		〃 住宅倉庫他設備日録	3枚	
42	12月11日	三井との37年度契約ニハ松原との関り無之事、三井は記述(37年度契約)通り自経営の方針なること、赤石倉場は倉場を成功裡ニ結ぶの為ニ5000円ニテ話合成立の件他早急話合解決希望の件等々書		
		筒(160cm)	伊達様	中沢(三井の人か?明)

明治39年分 累積勘定調

43	明治39年	明治37、38、39年国庫債券番号他		反故罫紙3枚
44	明治39年1月1日より	金銭出入帳 横帳 86丁		伊達
45	明治45年3月31日	亡父母法会相済されたる上にて福山御引揚ニ付御通知有之是非御面会可申上候他御用繁ニ付不取敢失礼申上候云々(封筒入/30cm)	翁記帳	青森 岩田金右衛門
46		11月領収(函館新聞ニ依ると大正5年か?)	於松前	
	11月	24束 函館新聞62号~73号ニて(12枚台)		十
	11月8日	金3円束 ヒーふ他請取記		本間屋
	11月28日	金11円85銭	領収書	又 川治
	11月	〃	受取書	川屋
	11月30日	48束85俵	大山酒	秋本屋
	11月	金3円2束5俵	人夫賃	刈 西崎
47	12月26日	66束	領収書	古館 畳屋
	12月29日	金2円27束	受取ヤ	村畑
	12月31日	金88束	仮請取記	小ふじ 食古后川
	12月	36束	酒代請取ヤ	秋本や
48	12月	12月中人夫賃請取表(1人ニ33束)	伊達様	福山・西崎

伊達家文書 大正年間之部

849		大正6年11月 — 12月 領収証 3枚	
	大正6年11月6日	金1円84銭也 鮭火料3ヶ月分前納代	札幌水力電気株式会社
	6年 12月	12日頃より集金伺候 挨拶 御得意様	〃
	6年12月12日	金2円94銭 10/20 中止迄 領収証	〃
		〃 〃 5枚	
850	大正6年12月29日	株式名義書換手数料 65銭入手置	北海道炭礦汽船㈱
	〃	戸籍謄本証明 伊達鎗記分 2枚	
	6年1月1日	1000円也 通常為替受領証	札幌第一郵便局
	6年5月20日	電報	
	6年12月14日	郵便貯金通帳 ゝゝゞ 提出願	上野八十殿 小樽為替貯金局
851		〃 〃 16枚束	
	大正6年12月11日	金4円28銭 札幌北海建物割 2期	札幌区収役 佐々木忠太郎
	12月26日	金30銭 6年7月～12月分ニ領収証	札幌区教育会
	〃	〃 〃	伊達松方殿 〃
	12月20日	金60銭 608番 11月通話料	通信事務員 中村貞直
	12月22日	金48銭 特殊郵便物受領証	吉田於多叶 伊達鎗記
	12月16日	金5銭 12ヶ鉄道出荷物書出切荷	吉田お竹 〃
		塩鮭及筋子荷払 久太也 伊達鎗記殿	札幌北海道運送㈱
	大正6年12月21日	50銭 時事新報 12月分	
	12月	30銭 北門日報 12月分	
	〃	30銭 報知新聞 12月分	
	〃	25銭 道民 12月分	
	〃	20銭 北海報知 12月分	
	〃	金1円也 年賀広告代金	
	大正6年12月15日	金1円50銭也 新年号広告料 特別金	
	12月	40銭 国民新聞 12月分	福井新聞店
	12月	45銭 小樽新聞 12月分 ✓	森 新聞店
852	大正7年1月分	領収証類 6枚	
	〃 1月 9日	金1円02銭 書留料他	伊達鎗記殿 十二銀行 札幌支店
	1月 9日	金1円30銭 小為替証書 ちがは 6253	
	〃	10銭 書留郵便	石狩石炭株式会社
	〃	12銭 書留小包	車夫 吉川正忠
	〃 2月9日	金1円10銭也 小為替証書 ちがは 6783	
	〃 2月12日	金5円也 〃 ちがは 1416	
853		領収証 17枚	
	大正7年1月	金1円也 年賀広告料 領収ス	第2函3丁目13 北海商業銀行㈱
	〃	金2円也 年賀広告 〃	大通2函4丁目 北海タイムス社
	〃	50銭也 1月分 新聞代	北2函3 時事新報 安部幸吉
	〃	25銭也 〃 〃	北7函6 道民社
	〃	45銭也 〃 〃	北海タイムス社
	6年12月	25銭 12月 〃	北3条2函1丁目 北海道報社

6年12月22日	金1円也	年末寄附金	南7条2丁目 札幌育児院
7年1月	金4円50銭	北海道十勝之麦	南7条2丁目10 北海道十勝之麦発行所
		1部代 9円50銭 内金	倉本清尚
7年1月25日	金30銭	1月分新聞代	北8条4丁目 小樽日々販売所
7年1月	20銭	1月雑誌代	北海時報社
7年12月12日	金2円37銭	持物こうべし	㊐ 池内兵吉右
6年10月1日	北見富良野敷島書留郵便物受領証		
7年1月28日	横浜岡本外4人より札幌宛書留郵便物受領証		
7年2月2日	金3円12銭也	年賀ハガキ800 模野原職院振替貯金郵便払込受領証	
8月30日	57銭2厘	牛乳代金収	建石野 牧牛場
10月初	金2円40銭	畳代及荷車代	小川野
11月初	金2円50銭	内ワキ、マント仕立代	北一条西二丁目 蒲地洋服店

854

大正7年10月分	諸払書正 (1)	15枚16枚	
	金2円18銭	八白包物賃	
10月初	84銭	売薬雑貨	可 秋野支店
大正7年10月初	1円35銭	魚代	イ 魚 店
〃	25銭	鉄	㊀ 荒谷商店
	56銭	下駄緒掛ゴム	石鹸商店
10月初	2円26銭	八白屋物払	缶 化粧
大正7年10月分	5円37銭	菓子麩及便箋	介 佐々木
7年10月	2円24銭	書籍文房具款	(2枚) 隣貴堂
10月初	18銭	押 ゴム	㊦ 桶屋
10月29日	1円80銭	俥賃及便賃	北 車屋
大正7年10月25日	1円57銭	文房具代	太華堂
大正7年10月初	51銭	シャツ洗濯代	刃 橋橋次郎
10月初	55銭5厘	コーヒー ビロウド代他	㊥ 店
大正7年10月5日	20銭	梱 1メ目	余 江本商店
10月初	1円81銭	洗濯代	乙 中沢洗濯店

855

大正7年10月分	諸払証 (2)	11枚	
大正 年10月初	金3円10銭	菓子代	於楊屋菓子店
10月初	1円05銭	ビフテキ	札幌南1条9 一建亭
大正7年10月31日	1円08銭	老ケ年分会ヒ	札幌中正会
10月初	金13円50銭	表装代	南2条8丁目 平盛堂 佐藤清一郎
大正7年10月初	30銭	10月分	北海 旭新聞社
	50銭		㊀ 阿部洋服店
	20銭	9月分雑誌代	北海報知社
大正7年10月27日	40銭	大輪菊	細木商店
	40銭	10月分	私設火災予防組合事務所
大正7月10月	金円98銭	牛乳代 おみき台	精乳舎
	47銭	八白屋もの	栗畠

856

10月6日	金5円61銭	領収証	可 庄内理
〃	金1円11銭	〃	㊂ 横中 △丁

	10月12日	金1円86銭	記	領証 池田屋
857		大正7年11月同遊家渡払請求欠ね書類	31枚	
	7年11月	2円04銭	牛乳代 3ヶ月分	道庁北門前 牛乳舎
	〃	65銭	菜代他	北1条8 秋野呉服店
	〃11月分	20銭		北海旭新聞社
	〃	6円20銭	革舟・下駄3	㊀ 治
	〃	25銭	ハト代	北海時報社
	〃	58銭	さつき	傘
	〃	3円22銭		仝 杉山
	〃	40銭	湯たんぽ	南2条3 金 荒谷
		25銭	靴裏ゾーリ 1	北陸商店
		60銭	洋手ゾーリ 3	南2西4 仝 石崎
		1円40銭	皮張り	南大通り東9丁目 洋久
		1円也	押ゴタ他	㊀ 洋服屋
		1円59銭	駄菓子数	南1条4 北福屋かしや
		1円20銭	御帛紗1片	南1条2 (茶)坂部呉服店
		50銭	雑品雑貨	(中)
		20銭	せんたく代	刃 せんたくや
		1円22銭	〃	北1条7 乙 市沢せんたくや
		9円35銭	煙突取替取付	佐野煙突屋
		2円35銭	八角屋もの代	北3条8 四方商会
		52銭	下駄	北1条8 月星
		92銭	洋服釦・ダイヤモンド	富貴堂
		3円91銭	八角尻	上円化粧商店
		3円96銭	親子他ソバ数	仝 花月
		6円03銭	重る数	仝 佐々木
	11月30日	×3円92銭	俥迎い迎 及便賃	仝 車屋
	〃	金1円70銭	ニット裏付	土2条2 薬地洋服店
	〃	〃20円70銭	洋達ヤエる殿遣	南4条1 林歯科医院
		50銭	〃 サダ子殿	〃
	〃	金15円35銭	庭掃丸太他	南1東3 (本)山田木材店
		10銭	釘代	南1条7 (3)徳田金物店
		50銭	盛花代	南7条6 佃木花屋
858		大正7年慕諸払	束(り)22枚	
	大正7年10月27日	金4円18銭	電燈料金領収証	札幌水力電気株式会社
	7年12月	25銭	11月購売料	北海之実業社
	〃	60銭	12月新聞代	北海タイムス会社
	〃	40銭	12月分	才28大災予防組合事務所
	〃	40銭	12月新聞代	北門日報社
	大正7.12.19	10銭	郵便物	夢の陸郵
	大正7年12月7日	1円也	弘告料	北海時報社
	7年11月	25銭	10月購読料	道民社
		25銭	11月分	北海報知社

大正7年12月	25束	12月分		北海時報社
〃	25束	11月分		順民社
大正7年12月19日	1円也	年賀広告料		北海報知社
〃 14日	1円也	〃		順民社
大正7年11月26日	45円也	広告入院料	11.29－12.5	仔連たか殿 札幌区以入往 作ロ本忠太郎
12月3日	27円60束	布団一組他		河村支店 木下万次郎
7年6月1日	3円也	小為替組		
7年12月6日	1円也	新年号		札幌区 拓殖新聞社
〃	1円也	〃		旭川 北海日々新聞社
〃	1円15束	国民、小樽、12月分		森新聞店
大正7年12月23日	1円06束	牛乳代 1升8合		精乳店
	4円18束。	12月号大型料 内訳表		札幌水力電気株式会社
大正7年12月13日	12束	雪下履料		横野辰蔵

859 大正7年慈済払 束 (二) 25通

大正7年12月31日	金8円10束	(内松1組7円50木銭預り60束計)	丸山公園集楽園
12日	18円60束	玉井 3ヶ	於函館陳子治
大正7年12月30日	30束	遠治郎代	篠田嵩弁護士
〃 6月25日	46束	水菓 和子松方	野崎医院
12月31日	2円也	仔服直し代	阿部呼服店
12月30日	27円02束	餅 物代	小 店
大正7年12月	30束	12月分北海旭新聞代	旭 札幌支社
〃 12月30日	10円40束	廊下模様特長振替ヶ設備	石塚恵吉
12月切	89束	八百屋	佐藤商店
〃	50束	切り取 1	水島武力店
〃	25束	11月分	北海之実業社
〃	25束	12月分	〃
12月26日	10円33束	御菓子代ヶ	細谷
28日	3円50束	便 代	北 津屋
12月切	78束	洗濯代	河橋福次郎
〃	75束	下駄代	丁本田商店
〃	2円40束	紅茶白鶴	菊 阪部
〃	92束	たばこ代	拳
12月23日	2円05束	雑誌代	當 貴臺
大正7年12月切	11円35束	筆、墨、紙代代 (2枚)	大畑商店
12月切	1円38束	洗濯代	市沢洗濯店
	8円77束	そば代 (2枚)	分 元月
大正7年12月切	10円37束	下駄、足駄代	小乃崎商店
〃	2円51束	米代ヶ他	田中
〃	1円40束	煙突	佐野煙突屋

860 大正8年2月払 銭収納り 15通

大正8年2月3日	金3円也	満州軍慰問品銭収証	札幌区北 阿部宇之八
〃 1月31日	金5円也	電話 三代ヶ	北野家 土川常松
〃 2月6日	1円15束	国民、小樽分南 1月分	森新聞店

大正8年2月8日	9円38銭	1月屋根料金	札幌水力電気株式会社
8年1月	25銭	1月分横流料	北海之実業社
大正8年2月9日	18銭	郵便料	横野元造
〃 2月5日	13銭	〃	三井銀行
〃	22銭	〃	駒崎進次
7年1月	60銭	朝日 1月分	中外新聞社
8年2月11日	10銭	郵便料	吉田左右郎
8年2月	25銭	1月分	北海報知社
大正8年1月9日	1円0	小為替永井竹吉番料	
8年1月	40銭	1月分	北門日報社
1月9日	30銭	手紙1足	㊗ 宇井呉服店
大正7年12月31日	1円86銭	牛乳代 3件1缶	精乳舎

861 大正8年2月切支払文書 (二) 30通

2月5日	1円53銭		工務
大正8年1月	金2円80銭		㊗ ソバヤ本店
大正7年12月31日	40銭		綱木花屋
1月切	2円04銭		〃 支店
8年1月31日	3円46銭	北一西七	武林 支店
8年1月	1円86銭		精乳舎
1月26日	50銭		ニコニコ食店
8年1月	50銭		報知。新聞社
〃	30銭		北海旭新聞
〃	9円也	井戸工風	井野政三郎
〃	2円80銭		能登新屋
〃	1円94銭		小石崎商店
	2円10銭		四方商店
8年1月	58銭		日本田下駄屋
8年1月25日	41銭		太華堂文房具屋
8年1月	76銭		荒谷商店
1月	1円30銭		㊗ タバコ屋
1月	1円47銭		市沢セメント店
	2円80銭		花月そばや
1月	2円56銭		松福屋かしや
1月	1円50銭		西佐藤商店
8年1月	18銭		小林モイカ店
〃	33銭		可椿洗濯店
1月29日	1円72銭		中根製帽工場
7年12月21日	1円20銭		梅沢時計店
8年1月	4円19銭		富貴堂
	7円62銭		金車屋
	2円21銭		小松田
大正8年1月	40銭	下28	役所事務所
2月12日	95銭		松畑

862	大正8年2月28日	金1円86銭	ラムネ1台		精乳舎
	元旦切	70銭	オヤキ		
		60銭	2月分		北海タイムス
		70銭			ニッく洋食店
	2月	1円22銭			〆市民談話店
	〃	15銭			一の支店
	8年2月切	7円85銭	洗張り	券2ヨウ7丁目	司尾崎染物店
	〃	35銭	2月分		北海旭新社
	2月28銭	48銭	仏度他		日本四商店
	8年2月切	2円00	雑誌類		書肆臺
	〃	9円55銭			丸車屋
	2月切	7円60銭	あられ他		日之出屋
	大正8年2月	2円49銭	名刺、紙	北1203 (畑)	大畑商店
		1円18銭	そばや		〆花月
	2月切	64銭	八百屋物		吉住織
	〃	25銭	小刀名刺直し		(ト)桶屋
	大正8年2月25日	1円32銭	半紙他	券1206	古華臺
	〃 2月切	1円68銭			角〆荻谷商店
	8年	50銭	2月分		報知新聞社
	大正8年2月切	15銭	ヒトエ洗張		河崎勝次郎
		4円36銭	かし代 (二枚)		不明
	〃	2円20銭			(本)阪部支店
	〃	9円也	折詰生菓子		かにや菓子店
	大正8年2月	16銭		25枚	(井)宇井書物店

863 大正8年2月中支払（券封共）10枚

大正8年2月28日	金 22銭			小樽区八百屋 七右川
〃 末2月	12銭			(サ)沢屋
〃 〃	26銭	804－816号＝13枚分		函館新聞
〃 2月	12銭	小袖	1	个
〃 2月25日	7銭			廿
〃 2月	24銭			十
〃 2月28日	金7円20銭也	紙代		(キ)
〃 2月	40銭			林
〃 2月28日	38銭	かし代		(ハ)
〃 〃	金2円77銭也			呉服店
〃 2月	金2円12銭			(ニ)

864 大正8年3月分支払い訳収書綴り 1－22枚

2月切	49銭	菓子代	可支店
大正8年3月	40銭	3月分	北2B 火災予防事務所
〃	金2円50銭	かすとら	かにや菓子店
〃	2円95銭	洗張	司尾崎染物店
〃 3月31日	3円12銭	牛乳代 5件分	精乳舎
〃 3月27日	1円20銭	梅、梅、各1	綱本花屋

大正8年3月切	金 3円65銭	ビフテキ 他		ニコく洋食店
	〆1円98銭	乾物、果実等	北ノ2の8	(三) 四方商会
3月	33銭			〆 市伏洗濯店
大正8年3月切	1円47銭	メリヤス洗濯		河 橋福次郎
〃	28銭	名刺		(有) 宇井食物店
大正8年3月25日	30銭	筆紙		右華堂
大正8年3月切	3円60銭	座蒲団 5ツ 3人前		東亜庵
3月切	〆1円18銭	親子そば 他		分 花月
〃	20銭	ハタやもの		店 佐藤
〃	30銭			合 荒谷商店
〃	1円43銭	ト敷ルセ 他		刀本四商店
〃	60銭	敷為		分 /
29日	〆1円15銭	俥又便		金 車
大正8年3月切	77銭ノ生	仁茶 他		(茶) 阪部
〃	〆1円32銭	足 ト敷 敷		今 乃崎商店
3月	〆1円87銭	かし 敷		於福屋かし舗
3月	〆80銭	アルコール 2本代		南仁富士仁乃
866	大正8年4月支払 領収證 (〆26長)			
大正8年4月30日	3円36銭	雑誌 敷領収証 2枚		富貴堂
4月切	61銭	アゲ・トーフ 敷〆		井
〃	20銭	洋品洗濯代	〆	市伏洗濯店
4月30日	1円80銭	牛乳 3升		精乳舎
4月切	90銭			佐野
4月30日	3円36銭	白衣、エプロン 他	北ノ2の7ノ2	阿部洋服店
4月切	20銭	茶、ホータイ		可 秋野支店
〃	50銭	梅酢 漬り代	円山公園入口	小林鉄工部
〃	65銭	洗張 代	北ノ2の7丁目	黄金屋
〃	35銭	特五ノ及 陽画し代		司尾崎染物店
〃	50銭			ニコく洋食店
4月30日	6円40銭	炭かす 8俵	土建請負	石塚惣吉
4月29日	2円也	アミアゲ靴 /		木本靴店
4月切	98銭	ソバ 代		分 花月
〃	2円50銭	かし 代		かに や菓子舗
〃	2円40銭	俥と便 代		金 車屋
〃	1円10銭	筆、墨、紙 共		金 荒谷商店
〃	15銭	押ふた		○ 桶屋
4月25日	20銭	筆 代		太華堂
4月切	1円20銭	自転車修理代	南ニ2の三	小柳商店
〃	1円57銭5厘	茶、紅茶代		(茶) 阪部支店
〃	1円88銭	下駄箱 代		今 乃崎
〃	20銭	傘打直し	南ニ2の4	(大) 中根
〃	25銭	洗濯 代		河 橋福次郎
〃	2円20銭	帳面 他	北ノ2の3	大 工田

以上 封1枚 但新聞を送はした筈封であろう ／26裏。

867 大正8年4月 支拂金受書一括 25枚

4月26日	金3円70銭		南7西6	仙岡木花尼
5月29日		運動靴1足	南1西3	木本靴店
5月31日	金3円20銭	小使服代他	北1西3	阿部洋服店
	95銭	薬・ホータイ他	北1西8	秋野西支店
	金1円80銭	名刺 300枚	北1西3	大畑商店
	1円86銭	牛乳 3升1缶	北4西6	精乳舎
	80銭	ストーブ作つけ		佐野
	金2円18銭	羽布染法	北1西7	黄金屋
	金10円40銭	蒲焼他 2枚		康南庵
	30銭	大阪		㊥宮本
	1円12銭	ゾバ代他	北1西8	花月
	20銭	花イケホシ	南1西3	泰水島
	8円05銭	大滝運送他車代		金庫屋
	金1円01銭	硯・筆代	南1西6	太華堂
	金1円65銭5厘	雑誌代	南1西3	高貴堂
	1円20銭	芝月分	南2西3	小柳自転車商会
	金7円36銭5厘	青果物 3枚	北1西8	四方商会
	2円85銭	洋品代	北4西7	司株原次郎
	金2円70銭	畳表替え他	南7西9	㊥西村屋
	2円67銭	茶代	南1西2	㊥阪部
	金3円05銭	英和辞典他	南1西4	維新堂
	44銭		北1西8	吉佐商店
	金1円75銭	酒		㊥西尾商店
	1円30銭	かし代	南1西4	松栄堂かし店
	1円23銭	下駄草り代	北1西8	月寒田商店

868 大正8年6月分 支払領収書（1） 拾枚

金25銭	雑誌 6月分	北海時報社
金1円15銭	55銭国民新聞6月分	
	60銭小樽新聞〃	森新聞店
83銭	下駄代	本田商店
金1円也	染抜張	黄金屋
88銭		傘
金1円05銭	柵干他	伊藤漬物店
10銭		市沢洗張店
金 80銭		高貴屋
40銭	靴直し	木本靴店
金2円85銭		ニコく洋食店

869 大正8年6月分 支払領収証（2） 拾枚

金3円45銭	茶代	阪部支店
〃1円35銭	花器	泰水島商店

		金 35銭	漆下駄	哥 若狭商店
		〃 1円94銭	紙代	㊗ 大垣商店
		〃 5円70銭		三国屋本店
		40銭	6月分	和田領収証
		〃 85銭	薬代	一の上 秩野池支店
		〃 1円08銭		佐藤商店
		〃 2円40銭	牛乳 6月分	立方北门 精乳舎
850		〃 2円06銭		㊍ 宮本店
		大正8年6月切 支払領収書 (3)		(10枚)
	大正8年6月28日	金2円70銭		青木写真館
		〃 3円35銭		於福屋菓子舗
		〃 5円19銭	(2枚)	㊐ 四方商会
		〃 1円12銭	洗濯代	弓橋福次郎
		〃 21円20銭5厘		小松田
		〃 2円68銭	下駄代	今乃峰商店
		〃 1円68銭	ソバ代他	井元店
		〃 3円50銭	俥代便賃	金亀屋
		20銭	夕年代	㊂方
	大正8年6月26日	〃 1円85銭		細木花屋
21				
	3月29日	2円32銭5厘	領収証	(15.5×24.5(M)) 魁陽亭
		68銭	領収証	(16.2×26.5(M)) 千秋庵
872	3月中	金7円30銭也	硝子代	メ特印 ㊦ がらす店
	3月26日	花大玉?	記	中幸
	3月30日	金1円26銭5厘	荒物雑貨店物	メ特印 (本)

年月日不明の分の

873	8月20日	(文化13年東)ハぶれど不確実 私永年脚気にて昆布にて養生食といたし居り候には拙手数ては加賀能登辺に出廻り居り候2、3丈にて昆紙の如く長たる昆布両3年程相廻し頂き度き書筒 (16.2×90.7cm) 包紙共	江戸神田紺屋町 伊達林右衛門様	川村伝右衛門
874	申2月9日	金30両也 当年中皆済にて返金可致候	伊達林右衛門殿	下国平助之助
875	申11月29日	金3両也 借用書付之事 (包紙共16.1×29cm)	伊達左兵衛殿	下国源吉
876	10月朔日	金千50両 内用にて借用依頼書面 (58cm) 小封筒入 表記(当内用)	林右衛門様 伊達林右衛門様	下国 大川様
877	申3月朔日	金200両也 米・松子渚入費前借	伊達が伐木したのは 左兵衛は隣辺地村名主	御城下又御出様 隣辺地村綱屋長兵衛
878	3月29日	金4両也 借用証 包紙共 (巾5cm)		伊達臣淀八殿 当サ多蔵
879	酉 7月	金30両也 借用証文 (16.5×42cm) 伊達林右衛門殿 小林牛吉 小林宅ノ(3) 包紙及内容表示小単衣共 (3通)(No.79、No.136と共通)		
880	未5月23日	金40両也 借用証 (16×32.0cm) 伊達定吉様 梅井小膳 梅井来ノ(1) 小より共		
881	申 極月28日	金7両也 当座借用証書	半田久蔵様 手土郎様	梅井小膳
882	酉4月17日	金6両也 当座借用証書 (18.1×34cm) 半田久蔵様 梅井事ノ(3) (包紙共)		櫻井小膳
883	亥5月朔日	金15両也 借用証 (16.8×39.8cm) 伊達内 梅井来ノ(4) (包紙共)	山本久蔵様	櫻井小膳
884	亥11月13日	外より場所来春1,000石目迄船積取云々に書出候一本之事 (16.2×34cm) 包紙共	伊達臣喜三郎様	越前屋甚三郎(印)
885	戌5月6日	金壱両弐歩也 受取候証	又市印	京円寺世話方
886	戌5月15日	金30両1歩ト永130文ノ方 通弱綱代預り綱は右崎屋より受取海下迄可送 戌6月5日 金30両1歩ト銭929文 通弱綱代金不残令収ニは桝屋伝次郎殿に書状可申候 右之通入包紙	七市印 戌印	松前 桝屋伝次郎 七白鳥

887 戌11月20日 秋横刀売振 金46両にて売渡候 伊達領記控
売主 柴田屋甚平治 仲人 佐沢屋九七郎

888 亥12月24日 金2両也 借用証 伊達林右衛門様 松前船脚 高森久右衛門

889 卯10月6日 金3両也 包紙入 借用証 伊達林右衛門殿 今井良左衛門

890 10月25日 暮支払金30両 借用証書面
封筒入 (16.5×52.6cm) 伊達左右衛様 法源寺

891 4月28日 村岡屋敷46両にて売脚の見込には多右衛門引渡には35両出金可然
との書面 (包紙共) (10.1cm) 伊達林右衛門様 大阪屋源太夫

892 酉20日 当新地岡本屋一条にはこの家中御給等御内意の程申報
工藤市作様 深見屋甚六
工藤市作(幸政卿伊達家支配人であった市作か)

893 正月27日 金2両也 借用受取書 包紙の表 ×3矢 伊達宗真八殿 岡本甚蔵

894 戌2月25日 御直捌鴨窓売買取調手当覚 (27.8cm)
御用番 御崎鑿監 様

895 戌5月20日 塩干俵差送り候代金他諸掛り覚
(34.6cm) 公 御印 マツマイ
X 御印 A 能登屋

896 午 3月 金7両也 借用證書 (包紙共) 伊林右衛門殿 水枝梅子
柏屋①

897 戌6月23日 金46両3歩2朱と銭864文也 惟風書引覚
柏屋② (伝=御殿通帳すき参之々の書込)
柏屋へもこの通書おすと断りあり。 公 御印 土弐
入包紙(柏屋為替書付入 域)の表書

898 11月1日 一寸御手改したるなれど御取込の節子にて御新申兼候間、直談申度
御左寄の御日限の有無御一報有之度 云々 (封筒入 6cm)
元左衛様 新井田周治

899 丑10月26日 金2両也 借用申に松前表にて可返済致覚
(16.0×24.3cm) 伊達林右衛門殿 斉藤正然有

900 丑正月25日 10両3歩 積金の階層 覚
丑正月26日 〃 要文(この分は朱なり) 船番覚 覚
(中略) 東にありたれど不確実。

901　　寅6月　諸才より預り金之1ヶ月調 分牢 8丁綴り　　仮右 市右衛門

902　　3月朔　豚山在留中の謝辞及江戸より帰国の節は精十郎に手生まで見送られ
之々の礼状 封筒入（19.2×9.8クレル）　伊達林右ヱ門様　　市助
（内容とお口か）－（封筒表）　平山謙二郎様 船津量平

903　　卯8月1日　ほつち船 老艘 売渡 一札事　　×伊達御右 山上町
屋15両也　　手林屋弥惣吉

904　　己2月　金5両也 包紙入 借用覚　　伊達林右衛門殿
（16×34.3(ル)）　　山下達次郎

905　　10月　札髪村 漁場入用品藏入領収 覚　（26(ル)）
米二口沼田屋善兵衛より入 覚 又 金30両 棟梁右左衛門前受（15(ル)）

906　　借用金 人ノ4金9モ．請負人ノ方5金1モ　（公私の割已別）
（一方特運上金1.000両時代－即出務制度前の－）

907　　未7月3日 函館の次八殿荷物・筒鮭・鮑・自子・＝粕等司丸他三艘に船積送覚。
①　沿八組．忠右衛門両人方との引書あり．（44.2(ル)）
伊達御右　　ハヤマ(ケ)運上家

908　　未7月3日 川原町友之助殿 荷物・胴鮭・雑粕他書留 美国丸他4艘に船積
②　送り出し候 通知（54.2(ル)）　伊達御右　　ハヤマ(ケ)運上家．

909　　未7月3日 箱館奉行衛門殿代清助荷物．鮑白味粕 粕子等司丸他4艘＝積込通知．
③　（49.4(ル)）　伊達御右　　ハヤマ(ケ)運上家

910　　午11月 俵物代．魚油屋．干鮑合金294両永193文
入帳覚（17×47(ル)）　×御印　△岩崎御用

911　　岩崎御用俵物買入高及代金仕切覚
（　〃　）　（16.5×24.7(ル)）　×御印

912　　卯11月　奉書上一札之事（追跡又ハ二八取り）（22(ル)）
在マレケたて跡漢御免判につき仕法相守可申一札
伊達市作殿　　江差茂尾町 三之丈

913　　右中(員)送人足役手当　（7(ル)）
伊達文書No.17（安政3辰年6－9月中に採録）

914　　場所人足取 書出 覚

915　　魔越年 書手御人数帳 御手賄 覚　（49cm）
俵物買次以下 32名分

○	916	已ノ2月	御詰合板江差上候品	扣 (58cm)	濱 マヒケ
○	917	3月	幕府役人への付届書上覚	(69cm)	坂治 マヒケ運上家
○	918	3月	幕府より差下りし役人への贈り物覚 又金 25両3朱	(46cm)	マヒケ出方より
○	919	4月15日	御詰合板物帰国に差遣進物扣	(95cm)	
○	920	25日	引移通知の及八郎右衛門方へ 残留物申送り (灰色15×55cm)	使用中	鶴田文之助 松の鳥居二郎 陣内一一郎
~~○~~	~~921~~		~~古写地図~~ 破損使用不可能		
○	922		秋田家献上鷹・数の子外役々土産物積込の事並仰付られ候長谷賀人に 付支度金300両前貸願上候他之々 (剪紙 24cm)		
○	923		江戸とクナしり場所との階層覚 (書き) 殊扣) (61cm) 表一子年分 仮印 (大鳴屋久作との関連)		

コクヨ シヨー10 (45×23)

924　未7月11日　金200両　取替金之内請取候也　X 御治　代官頭用上田

925　未7月19日　金25両也　御長屋修繕代外ニテ受取
　　〃　之証文証　1枚
　　（包紙共ニ）　1枚　今下町地守
　　旦那寺　豊岡甚平

926　未8月26日　金7両也　吉村三社大明神宮造之為進双紙仕候（度）
　　伺旦那寺　米様代外小跡　三之亟

927　未12月19日　地主トシテ松前居住被露度（16.2×50.5cm）
　　費用惣〆高拾八両三分七百七拾貳文也
　　（地主後見清十郎とは同人清十郎か）

928　申8月　金150両也　内63両2分1朱340文は廻船登り次才　福富屋恒三殿
　　より取立返納残金も追て返済可及也（18cm×25.5cm）
　　X 御治　天神丸　甘蔵吉

929　子3月13日　金130両ト永10文之分（17.7×29cm）
　　久しり利岡代260両ト永214文之分の内金ト引換領収残金は越前屋
　　甚五郎殿へ請取可被度書　越後宮川
　　伊達晋五郎殿　板屋宇次郎

○ 930　丑正月22日　金40両ト6…市皮・麻田存度　伊達御治右
　　（足）鹽竈島白鉾町　大木野屋弥位門

○ 931　卯8月　金50両也　濱マヽヶ庭遍引請証文
　　（200石目売付分）　仮請印　X 治

932　卯12月　海中場所貸分金度　（伊達）御治　佐マヽヶ

~~933　戌午　城西寺持借金当午年明年方返済の方　松崎屋久作~~
~~元午（嘉永3庚戌1850）？　都合五更ニ延期願（和）　吉田屋伝八郎~~

933　正月11日　親父勘助殿御逝去への悔み　松山指治及姉（三郎左衛）矢嶋・田中
（クスリ場所迄ト再入札ヲ）　伴助・露木・梁川小膳・新次（中番請入）等ヘを指付にての近
況報告文（半紙6枚継）　伊達林右衛門様　乗保
遠藤見八様　書き部

934　9月23日　長防所置有之毒尾勘様紀州様御上京、京師にて御預りとの噂他国流他は天
（元治元甲子か）　通様次第にて等ヘ幕末の勢毒報告の文（6丁cm）
将軍淀川下り大坂城入り松前候崇廃、更宦帰国を命ぜられたる様子
にて帰るに先立ち、大坂にて陸地解散して徒歩にて江戸帰りせる旗本達
の混乱の様子等ヘ。　伊達衛門様

935	3月26日	精十郎殿東京大阪ヘ登られ候趣に候へ共 未だ御出なく手紙御届申上候. 高正徳丸、新潟着 面し定て下方の商用 当秋は正徳丸 司丸共八册許にて十方の御手両已御引上厚見上候 他事節伺等（它紙入 94.7(m)） 伊達徳蔵妹 西嘉平花江門
936	4月13日	精十郎消息及び州との往来他自方の事何報告書面 它紙共（18×5.2(m)） 伊達徳蔵妹 京東 井上直之助
937	5月19日	盛運丸共三右船にて注文品種延 1090品 小包 1口 精込報知他各商用要細書込添書面（7.9(m)）他它紙共壱袋 1枚 伊達徳蔵妹 御治殿中様 敦賀 金船屋治左衛門
938	子4月	蝦夷地御用に見ん諸侯回元荷物西館送りの為 運上所公主手借被仰付罷在候が 預け入親元を伊達家へ御預いせしも御断りにて矛盾野へ転入ることに致し候云々（実濃大判2丁綴り） 伊達清吉妹 鳥崎市右郎
939	丑4月27日	残金精算五100両御済（道の後片のみか） △ 諸用借物 松前問屋
940		堀モ右ヘ宗谷郡. 利尻郡. 場所場所へ得書（手紙4帖綴り）
941	寅6月10日	〆金六両2歩2朱ト11匁5100文也 陣羽織. 大事頭巾他26点納入覚 （16.×102.5(m)） ×御印 松前 石屋. 利右衛門
942	子10月2日	明丑年石組工事料内金に11屠因米5俵受取申候 覚 （24.4×23.7(m)） ×御治郎 石工 岩松 〃 萬吉
943	戌8月20日	引合勘定書（後半） 二口合〆622両3歩1匁694文 差引残金 227両3歩1匁700文 ×御印 能登屋 日向屋
944	2月14日	米廻に船に地心酒預け手形の件及び緑壱樽引取の件（4.8(m)） 越後酒10樽預り手形（1枚） 濱マツケ 栄四郎殿 代り座治 ミソ醤油、辰隊 分（1枚） 代り座御治 ハママツケ 御治場 ×3束 代り座御治 ハマ 栄四郎
945	7月8日 — 10	神連丸入着白子壱艘分 千歳丸に積入被下候云々他（2.3(m)） 若永丸御米御用船の件 船内に病人発出候に付 壱艘就き壱両弐分つつ3艘分. 若栄丸御蔵船. 宝栄丸文治郎船. 虎福丸徳松殿船へ拝借被下置候書面（5.0(m)） 川崎船注文被仰下候件及び秋味船下り迄つなぎの件越年中台船の件 被執計成候云々（3.2(m)） 御治 マツケ運上家

946　6月21日　剪紙　2枚

○ 947　いたみ文書 固り　2通

○ 948　いたみ文書 固り　~~1通~~

○ FPの文書はすごいたみ激しく修復後でなしては人に見せてはならない。若し開けば破と散失いとなふ恐れがある。

949　2月19日　物法文の推葺妙力丸吉松殿乗船にて物送申上候 銅に鍋は、下取人なく後れ正徳丸にて物送は可申 本俵(からむし麻)もず足 正徳丸に可積込 書簡(15.9×48.7cm)　×物治　清吉様　妙栄丸吉吉

(文久年間か)

○ 950　妙栄丸 積荷覚

951　12月　代金07両1分と263文也 納入末代 覚　図 物 印　小阿乃次郎

952　㊀ 請取書　㊁ 納入 7通

子 12月28日　金112両也　当月迄の利息 請取覚　× 物印　(末201)

寅 11月朔日　金144両也　丑8月より寅7月迄利足受取覚　× 物印　㊀ 治

卯12月2日　金208両也　右の通物引合被下度 覚　× 物印　㊀ 治

辰 11月12日　金 60両也　当正月より10月迄1割2歩利足 請取覚　林右仁門殿　松前屋 治

巳12月29日　金84両也　600両辰11月より巳の極月(12) 迄利足受取覚　林右衛門 殿　松原栄八

未 5月18日　金5両1分65文　受取覚　伊達屋=郎殿　㊀ 治

酉 8月 3日　金 7両也　外=20両(2ヶ月分) 右1,500両の内金 受取覚　林右仁門 殿　書五郎殿　松屋理左 半助

953　七番丁 ヲタルマナイ出稼所　所有物概略調　手紙横二つ折 6丁綴り

954　案右 又はマシケ漁場計算で瀧蔵と話合が必要にせまられた書面でめろうか・後半1枚を欠いて居るらしい。

955　3月23日　㊁ 手船通吉丸便=初のマシケ場所 辰七年 報告書 (半紙 8枚 つづき)

956　松前町 居住 左の人名 符　4丁

957　8月20日　12月22日迄 山崎政之助 国向 覚　水色便箋(10×23cm)　法源寺にて 一

958 9月13日 送られて来れ封金売朱不足の件 他お役somにての種々報知也
(15.7×10.2cm) 佐々屋専助状
〃 夢太郎状 伊達手作

959 3月31日 豊昌丸小太郎殿に地にて ——— 船中手当百尺相違の廉目録に照心御取調御越、尚船玉迄の件及び午御注文預り品 寿丸破船漂流之不明には豊昌丸にて両注文積遣候 上野勇右衛門状 栄栄丸
書簡 (45.3cm) 福角菊右仁門状 吉五仁

960 7月2日 先月16日)21に福山何ヶ出立の人一組の処 藤蔵状御立との事 行違を恐れ押願に不及候間 委細藤蔵より御聞取御下渡尚彌吉生前同状直敷御引立願上候 繁栄丸・盛運丸等々の名あり.
封筒ノ(48.6cm) (上野)勇右衛門状 萱原ふじ

961 3月31日 御勘の(寸)事件談合候も同人当午金為調達行届兼候には何卒包重にて証書返却願い度き状申届り当惑仕り居候云々他書と百沢より宣敷くとの伝言の書簡 (37.6cm) 〆御治勇太郎状 囚治山田文蔵

962 4月5日 住宿町に於て借請申す借家之事
包紙共 〆御印状 本人 山本屋喜七仁
受人 横山屋嘉吉

963 巳10月 別紙入(1) 里吉住居津軽内沢町奥地に建家改造書面を以配慮方奉上帰候(口上書)
包紙入(40cm) 伊達市作状 棚口善右エ門
7月11日 記裏五受取書包紙1枚 棚口善右エ門殿 (伊達丸うら入)分

964 酉 3月 漁場用品仕入(武、漕丸)覚 正徳丸御船 北前 吉右エ門

965 9月8日 七嶋苞 壱つ 内油缶包にキズ少々有之候 伊達林右エ門状 当州秋田関
他書状共迄改 末永(とう)藏状御渡 紙屋政右仁門

966 4月30日 棟梁前次郎殿を以大要請切御被仰付難有く、直段向は精々算盤の上大々御相談可申上候いづれ参上の節委細詳しく可申述云々書簡
包紙入(16.2×7.0cm) 〆御印状 従津軽十三湊 尾田忠左エ門

967 申 4月 転人作料取覚の事 (楮 14.1×36.7cm) 伊達御治 転人棟梁 中山作蔵

968 7月25日 7月26日 断片 1通(30cm) 商品に何か苦情のおこり売掛の銭を支払つ居るので向達の旨ゞ苦情と処理に答えしいとの書簡であろうか.
相手方及び事件の真相不明

969 7月2日 季候挨拶及び長栄丸深太郎船にて仕入積 黒沢尻
差送り候 書面 (半紙) 伊達藤蔵状 直右仁門

970 7月6日 快晴御同慶に奉存候 陳者 此の御の新之藏処之義には御談事申上度候間 〆御苦労御来治被下度奉存候也 〆御治雄太郎状 (当番年)

No. 94

971　五10月　子年造酒方より借財之内返済には両治松御出金繰情より調書
半紙 1丁綴り　市右衛門・喜四郎（両人署名印）

972　1月2日　年始状（スCML）、　紙入、封筒入　伊豆郡代　松前御廻船御用
（姉と妹の言葉あり隠居大人の事か）　相田多郎衛門

973　1月3日　年始状及新年相場表　封筒入り　伊達林右衛門様　松前亀吉郎

~~2月16日　1昨年秋堀毛場所にて金弐八三郎様御注文の千石積弐ノ八ノ箱左内型つみ船~~
~~弁財八郎左衛門殿積りにて君に送り候~~
~~半紙1、包紙1、共（15.9×31.8cm）~~　~~伊達林右衛門様御届~~　~~羽後国由利御掘越~~
~~須田善助 母より~~

974　11月12日　仙々文輔殿 陸行に地12
大阪治より入まなく前の分手両下着と共に甚だ不都合、これには福山治も成行不能
に付至急御登りの上整理をなす書簡 封筒入
朱色本刷罫紙1、　福山伊達御治 函館 上野寅右衛門

975　4月13日　大阪治改革に就ての現地よりの意見具申書簡
（三井飛行便箋 3枚）封筒入　伊達林右衛門様　松山来三郎

976　常磐丸沖船頭常吉乗譲渡証紙片1（灰色32cm）
大阪・名護屋借財には常磐丸名護屋井上善右衛門殿へ引渡ずくの紙片1
（灰色35cm）

977　5月8日　高松店本月5日引揚12~6月分にて120円渡し候　阪神表天教丸（不吉）は井上氏
と手談（禁錮）割合にて福岡、小笠原諸島迄延期、先月28日出帆、常磐丸
も乗組せしも不分明、新宮屋に託に成運丸、昌運丸、保田丸（平太郎）と荷
積出帆致し候事情等取調報告　伊達林右衛門様
（三井飛行用箋 4枚）　木元郎、松山来三郎

978　電報下書及井上、新宮取引分控 2枚　松山来三郎、上野滝蔵両人宛
大阪石町松屋町通東入二丁目郵便会社裏に伊達林右衛門

979　5月17日　東京上方廻り両全丸大時化に会い災難の件、今年度堺毛屋売渡の桐子
①　他場所情況報知書簡（27cm）包紙共
留主居所　堺毛店

980　②　玉川演治方より返済の八四五谷吉良衛方より借金渕、並に為替手形の内調
置候間 照合されたしとの（43cm）　留主居所　滝蔵殿　林右衛門

981　11月11日　大阪表にて用立致候分の内松前孝吉殿他より借用金につき勇右衛門迄送金若くは
正算の方への記帳方談じ置かれ度云々（封筒共 27cm）
木綿問屋仮殿　伊達の3"

982　1月2日 年賀書状（実濃大二つ折）　伊達侍治中様 森平右衛門

983　正月16日 場所ニ取掛る注意及他船々ニ付 治の取仕切方ニ付 他一通り認置候ニ付可然御取計相成度云々　"川岸"三郎様
（1/35 cm）　"前田"千太郎様 瀧 藏

984　1月21日 吉田米藏方年賀金受明ノ為 訴訟公ニ可及ニ付 一件書類取揃御送ハ下エれ度云々（封筒入 11.7 cm）伊達箱記様 川岸利三郎

985　2月17日 金30円也　旅籠茶湯料収受　各務作左衛殿
金伏八三郎殿 福口傳作

986　4月2日 米10ヶ 書紙売用 預書　万誼
上里与男吉分 勧解願書　上野勇右郎殿 兵右衛門

987　4月7日 庄田病気ノ為中ニつき出頭見合中なるも歩廉次才右掛可申 尚手間の件（11月迄ノ年以降）（　）大事ニ付御注意肝要云々（10月迄ノ年後云々とあり）
封筒入（23.3 cm）　伊達旦那様 木本成三

988　5月5日 来仙格通知書簡（29.5 cm）　X様方様 太田市左衛門

989　5月22日 馬ヒ借用の便に託せし手紙 包紙共　上野勇右（利平）
（どんたくの言葉あり）　（柿崎屋治兵衛と署名す）

990　5月24日 柿崎利平お詫申の礼及福口氏（儀作）帰郷ノ後約定書制定可致他七席を追具の件仙村台 書簡　伊達林右衛門様 必簡三井組
（封筒入 20.3 cm）　上里平治三様 麻田作左衛門

991　7月4日 村借願ノ元家の造作及ビの返し代お重依頼書面．
青色柔き書筒紙（15×52.5 cm）反古書 封筒入
上里勇右郎様 木本村

992　7月6日 木材借用御承知被下感謝仕候 明朝大工参り候ニ付申上書るか一人が居ない為に若い衆に持参為致下さる様取計い度云々
（水色書筒紙 46.7 cm）　上野様 木本村

993　7月10日 頂見副主に入主確定の教詞待居候
封筒共（本版半紙）　上野勇右郎様 柿崎利平

994　福口儀作修理を解任し、村田、吉田両人の力添を頼みに工事の改革を断行すべく云々の決意書面 下書 及断片（茶色 40 cm）

995　7月12日 西村と申す人参り候ニ付一件依頼説明の為足労願上候
（24.4×34.7 cm）　上野様 川岸

996 途中に御村に参り候も不法申つのり請取不申に付扱所にて吟味の歎出せんの書面（39.5cm）　上野林　川守

997 東幹造に行逢い同道にて直接御治に伺いし一件に就ての事情他　上野大吉　川岸輝

998 7月13日 東幹造殿より五三郎殿より證書戻方催促に及び"不調なれば"委任状取戻の為御手方へ差出べき林進ぜし書面（5.5×5cm）　木村林郎扱　上野勇太郎

999 7月29日 今朝より御出待居と仰せもいた書筒（36.5cm）　上野・川守扱　伊右衛門

1000 ―― 林者病気に付川岸利三郎を代理とての委任状（八書）
宮保忠三郎為替金延滞一件処理に就て ――――
伊達林右衛門方通勤　上野勇太郎

1001 7月28日 林右衛門殿より頼まれて認め入候一條限迄きにつき各々方に於て至急御相談の上御返事有之度書筒。（風色 25cm）　久佐　山田小次郎扱　上野勇太郎扱　棟梁弥一郎

1002 閏1日 佐入来の節の儀定により念書差入るべく御待申居り候処御出無之如何相成しや いずれにても御返事為に御下でしれた書筒（茶色 15.6×39cm）　上野勇太郎扱　一也　田

1003 8月5日 屋地御蔵荷売払値段書上申し候（110cm）書筒封筒入
穀品売札　米毛1300石クハ930俵（蝉柏）高値160石555円　酒中残品小船手735石迄買入・昆布俵下230円より50円と相成り当夜手持品天救丸へ150石目255円に取極候。他留崩・包混・力□・昔前穀品3500石入れクハ450俵にて前品と共に別紙定左仕切落札その名儀の分は小樽牧仁氏買人のよし他諸々
上野龍蔵扱　川岸立三郎

1004 3月-8月 新聞号 つけ書　封筒付（20.8cm）　伊達在任中　木本林

1005 借用中の新聞紙20枚続了したので返納申上候 尚其後の方読んだ後で拝借これいとの依頼状
上野勇太郎扱　久保田□馬

1006 10月7日 裁判の進行状況の見通し 東京店・大阪店一件片付き方・他店事向雑事等書筒
（罫紙3枚）　伊達林右衛門扱・木本城造扱　松山来三郎

1007	11月30日	三井銀行よりの許訟、伊達林右仁門と打合の上要情他各情況委細報告して処置を仰ぐ書面 半紙(5枚半) (痛事取調に対しての答心得等認ム)	上野勇右郎殿	本本成三 上野滝蔵
1008	12月3日	青森表出張好者除にて大安心 東京出京の儀御断の由云々 (30cm) 太嶋久作様 前田千右郎、川斉立三郎		
1009	来1月25日 (10月ヒ)	1,140.19也 成文作来午京坂出迄12借掛 金1318.38ネ2ヒ6毛 作成済ム入置 表外階に書附有り (横中版 ホグシ 1枚)	5019 福松より受取	儀作 木本盛三扱
1010	子9月13日	金30円 祈精料 手納証(包紙入)	伊達林右仁門様 善宝寺 役僧	
1011	3月4日 ①	堤も告吉 津軽領黒石にて人夫集め中に出会い一件。ブランデー3升探して遣はす事。三井組永四氏支店の件。精十郎。手船川上京及八木六五仁云々書面 (53cm)		
	②	西村1ヶ年9月30日迄への賃金25円に関し山本精許訟一件(26cm)	大野右へ(上野)勇右郎	
1012	4月20日	20日新潟入船模様 司丸彦右仁門使より国取船下荷、俵平20両の之替金天精丸丁吉様より受取金利他後日甚促被下度他書面封筒入(52.5cm)	山田幸治郎様 (贈州) 上野勇右郎様 (申)鈴木浮三	
1013	2日 (栃)ふ突台	安井様氏被修話台中音来あり且に預ヶ処は何も不申却中何とかの御返辞可相之と申ス此候 云々 (37cm)	大御治地御取 (栃)村	
1014	丑	金467円也 常盤丸代 1250円の内579円 昨子年渡残借用証文 下書 (165×27.2cm)	木村秋郎殿	
1015	6月1日	松枝縄 老改御無人申上候 (40.5cm)	大御治 小次郎様 嶋崎房三郎	
1016		支払一覧(14建) (86cm)		
一ノ17欠		罫紙及ホグシ新片等一台献納 書取 11枚		
1018	6月13日	11日(栃)と打合 当方分荷 恐取揚高(鯡)積引3歩369070. (栃)屋は366020両天候さにて手揚心配致候間、且御迫日余り不可為思、11日150070 金590円にて小林吉三郎と約定取極仕候 他云々 封筒入(16.5×9.4cm)	芽丸曩尺様	川斉立三郎

1019	2月3日	玄武丸にて積送候間引合入帳奉願上候（横長 5丁綴）	X御印 伊達商輔	函館仁右衛門 留吉
1020	2月7日	昨年分3千弗円入金難有入帳仕候．洋草梅苔ノ箱ヲ而永ノ書上候内 御笑納被下落云々（封筒入 24.8cm）	柳原北在江門杯 伊達林右江門杯	東京 第地屋行 （株）一銀行
1021	2月18日	用立金利子他不明滞居藏杯ヨリ貴方より書面にて拙宅まで御報知の筈相下落云々（32cm）	上野勇右ヱ杯	柴田
1022	3月9日	塀を近頃場を見て廻る次手に小樽着大雪に驚きたる杯ヲ林留学先に知らせる書簡（封筒共 46.5cm）		林右江門（筆）
1023	3月10日	西回戦争---10年西南の役か 中国地方商内不況 戦争勃発の恐ろしき情況 報告（21cm）下部欠落．	？ ㊀侍主若杯	上野 勇右衛門
1024	3月13日	季節見舞及セリが漬売樽進上書簡（封筒入 x 35cm）	上野漬職杯	東浮川松川町 三河屋 万吉
1025	4月9日	熊太郎殿御気ヲ象好御帰郷につき粗末なれど羽織月同ウ上進仕候 書面（封筒入 34cm）	伊達林右ヱ門殿	山崎 良助
1026	4月29日	4月20日御出発なれば是非御待受申候件他亀谷氏より書状にて若杯病気ヲシ宛御快方との事にて御喜び申上ゲ候事 従二位杯ノ取りヲシ方及水谷山に会った話 夏物（着物）のこと他委々（鉛筆にて洋罫紙にうとす）	伊達関杯	キヽ（芳子）拝
1027	5月5日	杉山名前の訴訟示談の件・八三分地面の件・名義関係も公義を仰ぎたくなし、いずれも自分が行って何とか始末なすべく 福島・山形も遠々行なる積り等々（封筒入 36.4cm）	上野勇太郎杯	渡辺 發々
1028	5月14日	婚姻の節への禮言及びせる土産の通知書状 奉書之簡紙（16.1cm x 10.5）（吉也ハ手ヌ）	階場御中	伊達登喜 〃 吉也
1029	5月	酬二箇籍ノ100石塘毛3350の大豊漁にて予算外の純益も6.7万弗有との報告書簡（18.3 x 12.2cm）	御文上杯	行平
1030	6月2日 午后3時	追而非の情況報知文（5.2cm） 封筒入	留主居所 上野滝造殿	塘毛表
1031	6月9日	藪々と共に上京記芸法（後の芸記）を習ひ15日次迄に帰国の予定・一人にて上京両親への気苦又は留守宅病気等への心配 他為心しばり書翰．（封筒なし）	起美殿	林右江門

1032 25日 玉浦丸に敷物ほか差送候旨書 16日の
とり伝えと（4.3cm） 伊達船子松 伊達（林）

1033 （上野）富右郎 宛之通 他
6月13日 代り木番頭丸 利風行 積込方（極）へも転電候には 云々
仰状のもの下積にて相成兼候には一面目中にも罷出お指申上べく云々
人名メモ 小片 1

1034 6月13日 醐大望綱好結果の模様、主と懇迫及（極）へ報告の事情書簡、
封筒共（16.3×61.5cm） 上野滝蔵殿
堺モ X治

1035 6月24日 母親（いの）よりの消息・親（亮助）来通した時への謝辞
封筒入（65.5cm） 在東京 林右衛門 松子 山崎いの

1036 7月3日 本年和相場百石650円位ての先高見込、買入船も2.3艘も決舟して居るも
買手のみにて売手なしの有様、塩醐も過日中に落く150石の見込にて先
限百石590円に売約の処 種も3.4束の見込、誠に残念 とも先高
にて670円に上つた等々の報告 詳細は渡辺氏が行かれるので聞た
様にいい等 云々（165.6cm） 留守居所宛 堺モ X治

1037 メモ数 3片 故大上野富右郎松 襲々

の 4日 外出までに同家（極）？の証書持参された

② 7月5日 今日中に埒明けたく手形の事故口約束には相不済、仲裁懇願と候

③ 如斯しても重ね得るか覚束なく云々3日休息これ有、規則書一読つと御通
却願いたき件等々簡。

1038 7月5日 去れずに切めんの丈、ハコ2.3束買つて帰つて悠くりとの手紙
白封書紙共 2 西諸 上野富右郎松 妻 より

1039 7月6日 西東X和（治）預り証 半紙1枚 B東豪則殿 堺モ杜寄留
雲沢多右衛門 伊達林右衛門 預り方 伊達林右ヱ門

1040 7月7日 本年醐漁存外の荒漁にて トマリ・舌鮃・ホンナイ 3ヶ所にて揚298束 袖引238束
122、越後船 幸徳丸約束200石も覚束なく前金200円も多少戻金改すべき
松子報告書簡（封筒入 65cm） 留主居所 上野滝蔵殿 堺モ X治

1041 7月13日 堺モ漁場醐、酢端堺期の報告書簡 封書共 2（42cm）
脇山伊達留主居所 上野滝蔵殿 堺モ X治より

1042 7月14日 6月29日函館着1日夕井野丸乗船4日朝小樽着・順越、仝 翁丸に2
9日出立 12日朝 堺モ入港・鮭荷物 凡そ100石 675円以上となり。大船26.

コクヨ S-1-10 (45×23)

7朗要繋留中にて昆布積取の工几中前代未聞の事也，林右仁門帯留中後理八谷理与仁福山行の粋子 委細被聞済ン（二信ヲ片付）
（110.4cm） 帰主居所 上野右 芽丸 鑿 尺

1043 7月17日 虎貴丸権太郎殿船及(ス)手船廣福丸山本九右仁門殿荷 15石 屑船，荷揚機材及送啓波辺米着の事．（封筒入 57.6cm）
帰主居所 上野滝造殿 堪毛 X 治

1044 7月20日 上野停車場1日発福島長泉寺及山崎家（林右仁門生家）訪門，粋子．15日．東京那山間 鉄路開通．来午木までには仙台迄開通之より蒸気船に乗換之とに汽車，汽船賃 5円の来 一横浜一箱館間船賃 5円僅か20余で旅行なる1日1昼夜短縮さる事，及食事に気を配りて養生されたき粋との書状 封筒共 青淡色（26.5cm）
行達 旦那粋 鑿 尺

1045 7月23日 本月12日(オ)印より出火，12.3に類焼には見舞状書おく候事他 封筒入（行達治便箋1枚）
帰主居所 上野龍蔵粋 土堂毛都 X 治

1046 7月23日 金の内貸10円では貸過に付5円たすべき事 病院にて前田徳右郎にも5円丈渡し置候事．鰐渡大下源 積引50石は殊念至極，旦那戸は堪毛122元気罷々（赤線書簡紙にて封筒入 61cm）
堪毛泊港
帰主居所 上野龍蔵粋 渡辺鑿々

1047 7月24日 晴栄丸嘉蔵乗ん2番人（堪毛．利風）貸付未着迄り候書簡（粒）二通（54.7cm）
(イ) 大佐久之助殿 会 市蔵殿 帰ゑ中 X 治
(ロ) 西谷之治殿 帰留守宅 X 治

1048 7月30日 金沢屋及木ノ下との重鉄確執についての情勢報告（98.5cm）
添書 福川荘二郎同道にて罷越候分支払方等申ス（14.5cm）
封筒入 福山留守居 上野滝蔵粋 堪毛にて 渡辺藁々

1049 8月6日 長運丸也日出帆の模粋 委細源蔵に申し候ニ付封筒入（54cm）
上野滝蔵粋 堪毛 X 治

1050 8月7日 堪毛回船前佐孫左之助造 白丁飽4行入 毎ニ君上被下候ニ々
長運丸源蔵殿に申ニ書簡 封筒入（55cm） （川崎左之助）
上野滝造殿 堪毛 X 治

1051 8月17日 堪毛地方1日盆の粋子．雇人進退等報知
広福丸幸便に申ニ 封筒共（95cm） 上野滝造粋 鑿 尺

1052 8月23日 病治迄参上申活申上たき也方ニ不快にて伏屋に候まゝ 自分宿まで帰出臣書
被下度書面 金子定吉粋 会所町49 三上方 芳丸 拝

1053	六9月6日	帳風呂引越願の打合せ及船行都合書面 封筒入（9.2×7cm）	上野勇右郎様	繁栄丸佐一郎
1054	9月9日	經塚寺境内辻江氏所有地・伊達林右仁門と話合にて解決さるべき書面（55cm）	鳴 御主君	藏尺
1055	9月14日	帳合何加筆無之様別紙に認て申越され度旨 赤松野紙（34.2cm）追記（20cm）（封筒共）	留主居所 上野滝造殿 林右仁門	赤松野紙 追而 藏尺
1056	10月2日	昆布小樽都桂氏より千石目の取組希望あり、百石につき（金400円）にて契約最引き和旨 依きたる10月4樽ハ半又ハ荷つ位の通書に候との報告 封筒入り（16.5×7.1cm）	留守居所 上野滝造殿	增毛×治
1057	子10月9日	気候何い乗近況報告（封筒入20.5cm） 御使者情には伊達家か上野家か）添状共	×御店中	函館大町 73 上野勇右郎様 同上野誠吉（弟）
1058	10月22日	中田萬藏よりの精算書（16.3×33.5）	增毛×帳場宛	
	10月28日	金26円50銭 中田万藏薬礼及道中路用等を控置 記	增毛×御店御中	小樽郡 キキ商店
1059	11月7日	越後綿屋に10日相渡 又松代屋来り新宮甚七の件話あり、お雛様預ケ金の心配は御無用、又滝藏氏10月24日書状の件、木本氏の件等子ハ私参上可然取計い可申云々（青罫縦書筒紙に2封筒入16.9×5.8cm）	伊旦那様	藏尺
1060	11月4日	当秋マシケ賭相撲850石目 3年8.9分〜4本位よろしく御引立被上候 書簡及柿原引札（封筒入×3枚）（柿）が向屋と始めた年か）	伊達林右仁門様	東京四日市 柿原長右郎
1061	11月12日	土産物に対しての謝辞及景況挨拶 封書共（38cm）	伊達林右仁門殿	山崎喜右衛門 代筆三
1062	11月20日	品物納入 記（伊予）（伊達村方）	当用 滝藏様 林右仁門	
1063	11月27日	秋味買入代金不足に付証書持参為致候分拝借願上候他にも100円か200円借用願上候（封筒入20.7cm）	伊達勇太郎様	星野健三郎
1064	11月29日	みかきと共に送られた生鮭荷ごと手配積置候、旦那様は陸路御帰郷との事、貴方様も早く用を済ませ来月の御帰りを待ち居候。（半紙1、包紙共）	上野勇右郎様	母より。

1065 金3,534円99銭6厘 法源寺假本堂普請入用品納入記
諸入用4,000円と見て 1,333円は伊達治部殿の負記

1066 負債調（判紙8丁綴り） 1通 ナシ2956円63銭0タモ此
（内2万5千円 松原小太郎殿 より借用 （芽丸と改名前）
（ 6千911円 ホタ生6モ 〃 ）
伊達代 渡辺藜々

1067 此下一件に付更に年賦延お歎願と被存候には田よりの12月入金にて何分の御方御何に候や 御書簡片
宛名、日附、後半なし

1068 船賃米り面代金附帳 （通場必要品他 商品か）
和55丁綴 最後頁に2行15枚分上部半を欠く

1069 1月22日 東京為換1,500円渡辺勝之助へ20日渡済の電報有之候間
渡辺林 松岡保

1070 1月31日 又男より来翰 极藏一件(ク)印より依頼により売払の場合双方かれと思い御周施申上候も思も不寄仔細と相成早速自分未熟よりのことに付赤面の至りに御座候 以上 （40.7cm） 渡辺林 吉

1071 3月2日 金洋1個送達とその運賃の件、絵の具紋付羽織の件、娘りつ女事1月1日より女工練習生枝（教師フランス女子）に英語の外洋裁並縫物、舞踏、洋服、洗濯法等も教授致し呉るとの件等々（封筒入）
水色書簡紙 （30cm） 伊達旦那林 芽丸藜々

1072 3月27日 「とヨ」此26日午前九の次木報告、南本家より来る旅行品、当方より南本へ遣したる品目、他人々の贈物品目、戸籍の件等依頼書簡 （108.2cm）
添書（12.2cm）は 封筒共 上野滝造林 渡辺藜々

1073 6月5日 30円郵便為替送金、松代屋書状売、山本通信行等々 — 赤色書簡紙に2（49.3cm） 伊達旦那林 芽丸藜々

1074 6月11日 筒鯡代内金25円差上申候之末金は明日下拙参上仕候定可仕候
× 御詰 谷脇清一郎

1075 7月21日 上野氏上京金作の件竹刺殿預り置候品物の件返答及宿名等申上。
（明治20年次か） らせ指下度書簡（封筒入12.7×19.6cm）
伊達林左仁門林 山崎良助

1076 亀藏への貸金未た返金なくばうるさく申て取立小遣に可為致候
た栗子 林左仁門

1077　1月10日　金5円　屋鰐子　領収
〃　金12円　学物代　鉄収
松山堂

1078　4月20日　法隆寺維持積立金郵便貯金の為預り通帳お預け被下度云々
法隆寺内　小林

1079　12月15日　三井組荷物為積登方掛口儀作差添候ニ付　頓数御面取願上候　尚種々混雑の際御尽ニ相納り誠に感謝仕り候也云々　（草稿）
波辺晴亘郎様　伊達林右衛門

1080　1月31日　年始賀状（5.6cm）　封筒入　伊達林右衛門殿
正三位子爵　梅園実紀

同封にて　6付下川
福山ノ寄留の件届ニ付云々
水色書簡紙にて　赴美殿　林右衛門

1081　11月29日　積毋竹の口及ロ（キセルの雁首竹がパイプ）送られ謝状、産物多く贈られ云々（父）
松おより並び他8月よりの胃病見舞（49.5cm）　竹内　松　従五位
（同封たてか）
色々と多分の産物贈られたる謝辞幷病気見舞、従五位も胃病にて苦労のこと、
お信殿よりも美事なる昆布贈られたる謝辞（46.5cm）
きみ子殿　梅園　三位

1082　7月23日　記法法未だ習い不申洋算を習い居り候　木大銀行の鞍人病気手愉次才習い覚え梅保小林右衛門殿へ頼30両借用10日過には帰国致すべき心得に候（書簡 93.8cm）　赴美殿　林右衛門

1083　7月26日　24日函館出立上京の積りの処芳丸東風の通知にて風会のと当地の様子を打合せ下旬改て上京のつもり留守中不和なく宜敷くとの書面。
封筒なし（49cm）　赴美殿　林右衛門

1084　芳丸との談合好都合にて下遠芳丸函館下りその節福山にも立寄り促の面にと談とはり受れるとのこと、私も安心、実家へ3日程立寄り帰福の積りた候間留守中の心得等申送り書簡　日付、封筒なし　不明（58cm）
喜美へ　林右衛門より

1085　恙なく御着京の由なにより御目出法く存候　鹿来仁らこの函御帯届しのみに御使い下され法云々（大奉書横二つ折）
竹内信郎　芳野より

1086　紅葉の季物園家梅本家及若葉村に修学院拝観の記及中園家と富仁家代言人を立ての争い事等々　便り（55.5cm）
（宛名、日付なし）

1087　1月22日　新年賀詞　垂髪中見舞状　紅色書簡紙（50cm）
祖父よりの年始状　特記筆中には云々
伊達行季殿　梅園実師
行季とは箱記に贈られた他土方の筆道名であろうか
送らば（No-1034）の5月付　多磨墓地よりの飯倉報告の拝文と
称宛　行安とは子供であろうか。

1088　10月、住先なし　梅園従五位及祖父三位卿箱館来訪への謝辞及その折子を報知
に化菓子と足袋を送りたる等々書簡（235cm）
従三位夫人より我姉のきみ子（紀子）への書簡であろう、修尾引かれ
ず10月）

○ 1089　明治七年　漢マル建綱目（仮ミ濁し）
（白石文書へ混入　選み出す㊇）

1090　細帳　土佐土　家族連署

1091　飛弾國吉城郡高原郷吉田村　半紙二ツ折　（名札か）
畑田屋喜助（今年48才）

1092　戯歌　読人不知　（24.7×33.5）
三ヶ伊達よし　心翁記なれなれば
宝り合ふぞ　豚の神に

1093　7月30日　熊本縣に大地震のあつた年
100円ヲ為換行荷にて差上候他近況及入用仕方書簡
（64.5cm）　伊達林右衛門様　但生母　芳丸藥々

1094　随身誓約書　半紙八、伊達御旦那様　大場源次郎

1095　7月25日　金13円10銭也　小料理覚記（45.7cm）
伊達旦那様　囲　次

1096　6月26日　洋品仕入　入日記（23.5cm）　野沢行吉
(1)　雑貨仕入帳ホグし〃（半紙八）
〃（半紙七）

1097　6月26日　入日記　水香・スポンヂ数（42cm）　灰色書簡紙
(2)　6月27日　〃　莨・ハトメ等（36.8cm）　〃
6月26日　記　赤インキ・香地他（45cm）　〃　野沢尾卯之吉
〃　ハンドバック引合入記方（29cm）　〃　幄実尾卯之吉

1098 6月26日 香水・香油インク 入日記 (3.86cm) (41.4cm)
6月28日 蓑 半合 入帳 (41.4cm) X林 堀美屋

1099 9月7日 洋品仕入物納入請求書 東京中傳馬小路町
(半紙二つ折横3丁綴り) 伊達林右仁内林 堀美屋卯之吉洋物店

1100 支払い受取 雑則帳記 金24円74銭也
(23.4cm)

1101 10月24日 金187円69銭4厘 他=8円29銭 運賃
仕込品請求書 (半紙二つ折横3丁綴り) 伊達林右仁内林 野・伏組

1102 11月18日 商品仕入・支払払 玄収証類 (収入印紙貼用) 東京ニ
金4千疋 (〃) 古林惣左仁
金132円87銭7厘 (半横二つ折3枚) 堀美屋卯之吉
金12円75銭 堀留町 小 林
金 90銭 (髪通貨入) 伊七屋庚左仁
金15円09銭 大傳馬町 (ヨ) 美濃弥幾
芽丸彰右衛門林 (×6通1袋り)

1103 11月22日 金319円25銭 塩3俵26貫分 納入記 X佐治林 小伝町 (三)

1104 12月6日 入日記 (10.7cm) 伊達林佐治中林 堀美屋卯吉

1105 12月15日 請取記 金119円15銭 明石渡 杜

1106 品物仕入又ハ賣入屋中仮ホグし 横二つ折6枚
書類件名整理覚 横二つ折 1枚

1107 炭鉱便宜 帳尻払 (7月分)
第二四8、13、番地 壱608 伊達

1108 ノート一冊、 中央学校尋大 ニ 伊達秀弘。

1109 地図 タバビル・堺屯内 鉄道線豫測縦断面図 (19.7×110.4cm)

1110 地図 堺屯地図 (未完か) 白紙4枚 (15cm×23.7cm) 筆写画

伴遠文書 — 神符（祈祷大麻歟）他及古麻史

No. 106

1111	明治10年代　封筒及消印1　7枚
1112	天照皇大神宮御倉板供進　祈祷大麻
1113	当代風信水山鎮守　羽黒神社　御祈祷守符 （神饌未包共）
1114	官幣大社　札幌神社　神符　1 郷社　三吉神社　〃　1 金刀比羅大神　参拝村自作　1
1115	無量珍宝不求自得　（15.2×44.5cm） 寿年遍歳徳玉女天守護　（神符）
1116	釈伽三尊絵姿　大方2枚
1117	伴遠黄門政宗公　御像　包紙入り
1118	孫子　写本　（21丁綴り）
1119	循環奏をさせ給ふ西妃殿下　（附　白絵） 雑誌　加川慶次　等、
1120	書損じ及包紙不分明　断片（こより）　48枚
1121	剪紙　意匠片　故人法名記入あり
1122	包紙　他
1123	印刷物　断片　村警捕人NO80　他
1124	明治21年7月5日　包紙、封筒　10枚（物品出納係）
1125	番請建築　ヌサ紙型
1126	破紙及及古断
1127	破紙
1128	こまごま　紙片　1/4上